

## 力だめしテスト〈小数のかけ算①〉

Ⅰ 次の計算をしましょう。(各3点・30点)

① 
$$\begin{array}{r} 6.7 \\ \times 8 \\ \hline \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 7.9 \\ \times 9 \\ \hline \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 1.2 \\ \times 4.4 \\ \hline \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 8.1 \\ \times 6.2 \\ \hline \end{array}$$

⑤ 
$$\begin{array}{r} 2.3 \\ \times 8.7 \\ \hline \end{array}$$

⑥ 
$$\begin{array}{r} 2.8 \\ \times 6.3 \\ \hline \end{array}$$

⑦ 
$$\begin{array}{r} 5.5 \\ \times 3.2 \\ \hline \end{array}$$

⑧ 
$$\begin{array}{r} 3.7 \\ \times 4.6 \\ \hline \end{array}$$

⑨ 
$$\begin{array}{r} 29.3 \\ \times 7.4 \\ \hline \end{array}$$

⑩ 
$$\begin{array}{r} 6.9 \\ \times 28.5 \\ \hline \end{array}$$

Ⅱ 次の□に、あてはまる数を書きましょう。(各4点・10点)

①  $3.6 \times 5.7 + 3.6 \times 4.3 = \square \times 10 = \square$

②  $5.2 \times 3.5 - 5.2 \times 2.7 = 5.2 \times \square = \square$

③ 1周が、2.7kmの池があります。かずお君は、6周走りました。かずお君は、何km走ったことになるでしょう。

(式)

答え \_\_\_\_\_

④ 1mの重さが、24.7gのはり金があります。このはり金7.6mの重さは、何gでしょう。

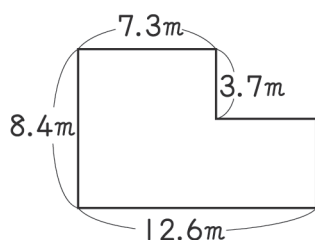
(式)

(式、答え各10点・20点)

答え \_\_\_\_\_

⑤ 下の図のような土地があります。面積を求めましょう。(式、答え各10点・20点)

(式)



答え \_\_\_\_\_

算

5年

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

月 日

てん

## 力だめしテスト〈小数のわり算①〉

1 次の□に、あてはまる数を書きましょう。(各5点・10点)

①  $56 \div 2.8 = 56 \times \square \div (2.8 \times \square) = 560 \div \square = \square$

②  $7.2 \div 2.4 = 7.2 \times \square \div (2.4 \times \square) = \square \div 24 = \square$

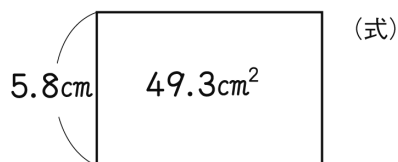
2 次の計算をしましょう。(各3点・15点)

①  $8 \overline{) 21.6}$  ②  $2.5 \overline{) 42.5}$  ③  $3.6 \overline{) 68.4}$  ④  $4.5 \overline{) 94.5}$  ⑤  $5.4 \overline{) 24.3}$

3 次のわり算の商を整数で求め、<sup>あま</sup>余りも出しましょう。(各3点・15点)

①  $9.3 \overline{) 67.3}$  ②  $4.6 \overline{) 97.5}$  ③  $2.7 \overline{) 86.5}$  ④  $2.9 \overline{) 96.1}$  ⑤  $3.5 \overline{) 89.9}$

4 下の図の長方形の、横の長さを求めましょう。(式、答え各10点・20点)



答え

5 2.4mの鉄のぼうの重さは、15.6kgです。この鉄のぼう1mの重さを求めましょう。

(式)

(式、答え各10点・20点)

答え

6 85Lのしょう油を、0.7Lずつ小びんに分けます。0.7Lの小びんは、何本できるでしょう。また、何L余るでしょう。

(式、答え各10点・20点)

(式)

答え

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト  
力だめしテスト〈小数のかけ算①〉月 日  
てん

① 次の計算をしましょう。(各3点・30点)

$$\begin{array}{r} 6.7 \\ \times 8 \\ \hline 53.6 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 7.9 \\ \times 9 \\ \hline 71.1 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1.2 \\ \times 4.4 \\ \hline 4.8 \\ 48 \\ \hline 52.8 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 8.1 \\ \times 6.2 \\ \hline 16.2 \\ 486 \\ \hline 502.2 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2.3 \\ \times 8.7 \\ \hline 16.1 \\ 184 \\ \hline 200.1 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2.8 \\ \times 6.3 \\ \hline 8.4 \\ 168 \\ \hline 17.64 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 5.8 \\ \times 3.2 \\ \hline 11.6 \\ 174 \\ \hline 18.56 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3.7 \\ \times 4.6 \\ \hline 22.2 \\ 148 \\ \hline 17.02 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2.9.3 \\ \times 7.4 \\ \hline 11.72 \\ 205.1 \\ \hline 216.82 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 6.9 \\ \times 2.8.5 \\ \hline 34.5 \\ 55.2 \\ 138 \\ \hline 196.65 \end{array}$$

② 次の□に、あてはまる数を書きましょう。(各5点・10点)

①  $3.6 \times 5.7 + 3.6 \times 4.3 = \square \times 10 = \square$

②  $5.2 \times 3.5 - 5.2 \times 2.7 = 5.2 \times \square = \square$

③ 1周が、2.7kmの池があります。かずおは、6周走りまわりました。かずおは、何km走ったことになるでしょう。

(式)

$$2.7 \times 6 = 16.2$$

答え 16.2km

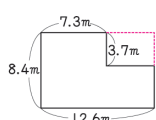
④ 1mの重さが、24.7gのはり金があります。このはり金7.6mの重さは、何gでしょう。

(式)

$$24.7 \times 7.6 = 187.72$$

答え 187.72g

⑤ 下の図のような土地があります。面積を求めましょう。(式、答え各10点・20点)



大きい長方形から、右上の長方形の面積をひく  
 $8.4 \times 12.6 = 105.84$   
 $3.7 \times (12.6 - 7.3) = 19.61$   
 $105.84 - 19.61 = 86.23$

答え 86.23m<sup>2</sup>

## — 解 説 —

①は、小数のかけ算の筆算です。計算のやり方は、整数どうしのかけ算と同じですが、答えに必ず小数点をつけてください。①～⑤は、小数点以下のけたが1つしかないの、答えの小数点は、右から数えて1番目と2番目の数字の間に小数点をつけます。⑥～⑩は、かける数とかけられる数に小数点以下のけたが1つずつあるので、右から数えて2番目と3番目の数字の間に小数点をつけます。

②の①は、 $3.6 \times (5.7 + 4.3)$  の式になります。②は、 $5.2 \times (3.5 - 2.7)$  の式になります。

③は、2.7kmの6倍の長さを求めたいので、かけ算の式になります。

④は、7.6m分の重さを求めたいので、かけ算の式になります。答えの小数点の位置に注意しましょう。

⑤は、やり方が2つあります。全体を大きい長方形に見立てて、そこから右上の欠けた部分の面積をひくやり方と、2つの長方形に分けてそれぞれの面積を求め、それを合わせて全体を求めるやり方です。

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト  
力だめしテスト〈小数のわり算①〉月 日  
てん

① 次の□に、あてはまる数を書きましょう。(各5点・10点)

①  $56 \div 2.8 = 56 \times \square \div (2.8 \times \square) = 560 \div \square = \square$

②  $7.2 \div 2.4 = 7.2 \times \square \div (2.4 \times \square) = \square \div 24 = \square$

② 次の計算をしましょう。(各3点・15点)

$$\begin{array}{r} 2.7 \\ 8 \overline{) 21.6} \\ \underline{16} \phantom{0} \\ 56 \\ \underline{56} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1.7 \\ 2.5 \overline{) 42.5} \\ \underline{25} \phantom{0} \\ 175 \\ \underline{175} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1.9 \\ 3.6 \overline{) 68.4} \\ \underline{36} \phantom{0} \\ 324 \\ \underline{324} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2.1 \\ 4.5 \overline{) 94.5} \\ \underline{90} \phantom{0} \\ 45 \\ \underline{45} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 4.5 \\ 5.4 \overline{) 24.3} \\ \underline{21} \phantom{0} \\ 330 \\ \underline{270} \\ 60 \\ \underline{60} \\ 0 \end{array}$$

③ 次のわり算の商を整数で求め、余りも出しましょう。(各3点・15点)

$$\begin{array}{r} 7 \\ 9.3 \overline{) 67.3} \\ \underline{65} \phantom{0} \\ 230 \\ \underline{222} \\ 80 \\ \underline{81} \\ -10 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2.1 \\ 4.6 \overline{) 97.5} \\ \underline{92} \phantom{0} \\ 55 \\ \underline{54} \\ 10 \\ \underline{9} \\ 10 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3.2 \\ 2.7 \overline{) 86.5} \\ \underline{81} \phantom{0} \\ 55 \\ \underline{54} \\ 10 \\ \underline{9} \\ 10 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3.3 \\ 2.9 \overline{) 96.1} \\ \underline{87} \phantom{0} \\ 91 \\ \underline{87} \\ 40 \\ \underline{39} \\ 10 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2.5 \\ 3.5 \overline{) 89.9} \\ \underline{70} \phantom{0} \\ 199 \\ \underline{175} \\ 240 \\ \underline{237} \\ 30 \end{array}$$

④ 下の図の長方形の、横の長さを求めましょう。(式、答え各10点・20点)



(式)

$$49.3 \div 5.8 = 8.5$$

答え 8.5cm

⑤ 2.4mの鉄のぼうの重さは、15.6kgです。この鉄のぼう1mの重さを求めましょう。

(式)

$$15.6 \div 2.4 = 6.5$$

答え 6.5kg

⑥ 85Lのしょう油を、0.7Lずつ小びんに分けます。0.7Lの小びんは、何本できるでしょう。また、何L余るでしょう。

(式)

$$85 \div 0.7 = 121 \text{ 余り } 0.3$$

答え 121本できて0.3L余る

## — 解 説 —

①の①は、 $56 \div 2.8$ が、 $560 \div 28$ と同じ答えになることを表しています。②は、 $7.2 \div 2.4$ が、 $72 \div 24$ と同じ答えになることを表しています。わられる数とわる数に10をかけて計算しても、答えはもとの数のわり算と同じです。

②は、小数のわり算の問題です。②～④の答えには、小数点がつきません。わる数とわられる数の小数点を同じけた数だけ右にうつし、わる数を整数に直して計算しましょう。

③は、余りのある小数のわり算です。余りの小数点は、わられる数のもとの小数点と同じところになります。

④は、面積をたての長さでわると、横の長さを求めることができます。

⑤は、重さを長さでわると、1mあたりの重さを求めることができます。

⑥は、余りが出ます。あまりの小数点の位置に注意しましょう。





## 力だめしテスト〈分数と小数②〉

1 次の□に、あてはまる数を書きましょう。(各4点・24点)

①  $2 \div 5 = \frac{2}{\square}$       ②  $4 \div 3 = \frac{\square}{6}$       ③  $3 \div \square = \frac{1}{2}$

④  $\frac{5}{8} = 5 \div \square$       ⑤  $\frac{2}{3} = 4 \div \square$       ⑥  $2\frac{3}{4} = \square \div 4$

2 次の分数を、小数に直しましょう。また、小数は、分数に直しましょう。(各4点・24点)

①  $\frac{4}{5}$       ②  $\frac{3}{2}$       ③  $2\frac{1}{4}$

④ 0.7      ⑤ 0.47      ⑥ 1.63

3 次の( )の中の数の大小を比べて、大きい順に書きましょう。(各6点・12点)

①  $\left(\frac{3}{10}, \frac{1}{3}, 0.33\right)$       ②  $\left(\frac{2}{5}, 0.3, \frac{1}{3}, 0.5, \frac{1}{4}, 0.6\right)$

答え

答え

4 次の分数のうちで、0.3より大きく、0.7より小さい分数を全部見つけて、○で囲みましょう。

$\frac{1}{2}$   $\frac{1}{3}$   $\frac{2}{3}$   $\frac{1}{4}$   $\frac{2}{4}$   $\frac{3}{4}$   $\frac{1}{5}$   $\frac{2}{5}$   $\frac{3}{5}$   $\frac{4}{5}$   $\frac{1}{6}$   $\frac{2}{6}$   $\frac{3}{6}$   $\frac{4}{6}$   $\frac{5}{6}$

(10点)



5 分母が9で、 $12 \div 15$ のあたりに最も近い分数は何でしょう。(10点)  
(考え方)

答え

6 15を分母とする分数のうち、 $\frac{1}{4}$ に最も近い分数は何でしょう。(10点)  
(考え方)

答え

7 分母が15の分数で、小数で正確に表せる分数を、小さいほうから順に4つ書きましょう。  
(考え方)

(10点)

答え

算

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

5年

力だめしテスト〈分数と小数①〉

月 日  
てん

① 次の□に、あてはまる数を書きましょう。(各4点・12点)

$$\textcircled{1} \frac{2}{3} = \frac{4}{6} = \frac{8}{12} \quad \textcircled{2} \frac{3}{7} = \frac{6}{14} = \frac{15}{35} \quad \textcircled{3} \frac{18}{30} = \frac{6}{10} = \frac{3}{5}$$

② 次の分数と同じ大きさの分数を、分母の小さいほうから2つずつ書きましょう。(各5点・10点)

$$\textcircled{1} \frac{3}{4} \quad \text{答え} \quad \frac{6}{8}, \frac{9}{12} \quad \textcircled{2} \frac{5}{9} \quad \text{答え} \quad \frac{10}{18}, \frac{15}{27}$$

③ 次の計算をしましょう。(各4点・36点)

$$\textcircled{1} \frac{3}{7} + \frac{2}{7} = \frac{5}{7} \quad \textcircled{2} \frac{3}{5} + \frac{4}{5} = \frac{7}{5} = 1\frac{2}{5} \quad \textcircled{3} \frac{3}{6} + \frac{1}{6} + \frac{5}{6} = \frac{9}{6} = 1\frac{3}{2}$$

$$\textcircled{4} \frac{8}{9} - \frac{4}{9} = \frac{4}{9} \quad \textcircled{5} \frac{7}{10} - \frac{5}{10} = \frac{2}{10} = \frac{1}{5} \quad \textcircled{6} \frac{9}{7} - \frac{2}{9} + \frac{7}{9} = \frac{10}{9} = 1\frac{1}{9}$$

$$\textcircled{7} \frac{9}{8} - \frac{7}{8} = \frac{2}{8} = \frac{1}{4} \quad \textcircled{8} 1 - \frac{3}{4} = \frac{4}{4} - \frac{3}{4} = \frac{1}{4} \quad \textcircled{9} \frac{3}{10} + \frac{6}{10} - \frac{7}{10} = \frac{2}{10} = \frac{1}{5}$$

④ 今日、たかさんは $\frac{4}{5}$ L、お父さんは $\frac{2}{5}$ L、お母さんは $\frac{3}{5}$ Lのお茶を飲みました。3人合わせて、何Lのお茶を飲んだのでしょうか。(式、答え各7点・14点)

$$\frac{4}{5} + \frac{2}{5} + \frac{3}{5} = \frac{9}{5} = 1\frac{4}{5} \text{ L} \quad \text{答え} \quad 1\frac{4}{5} \text{ L}$$

⑤ 重さ $\frac{5}{8}$ kgの入れ物に、 $\frac{7}{8}$ kgのさとうを入れました。今日、さとうを $\frac{3}{8}$ kg使いました。さとうと入れ物の重さは、何kgになったでしょうか。(式、答え各7点・14点)

$$\frac{5}{8} + \frac{7}{8} - \frac{3}{8} = \frac{9}{8} = 1\frac{1}{8} \quad \text{答え} \quad 1\frac{1}{8} \text{ kg}$$

⑥ 秋子さんは、家で2日前に $\frac{5}{6}$ 時間、昨日 $\frac{3}{6}$ 時間、今日 $\frac{4}{6}$ 時間、勉強しました。秋子さんは、3日間に何時間勉強したでしょうか。(式、答え各7点・14点)

$$\frac{5}{6} + \frac{3}{6} + \frac{4}{6} = \frac{12}{6} = 2 \quad \text{答え} \quad 2 \text{ 時間}$$

— 解 説 —

①は、同じ大きさの分数を考える問題です。①と②は右にいくほど、分母と分子の数が大きくなっています。分母が2倍になったときは、分子も2倍になります。③は右にいくほど分母の数が小さくなっています。分母が3分の1になったときは、分子も3分の1になります。

②は、もとの分数の分母を2倍した場合と、3倍した場合の数を求めます。分子と分母に同じ数をかけると、同じ大きさの分数になります。

③は、分数のたし算とひき算です。⑧は、1を $\frac{4}{4}$ とおきかえると、計算できます。

④は合わせた量を求めるので、たし算になります。問題文に分数が出てきても、整数と同じ考え方で文章題を解くことができます。

⑤は、はじめに入れ物の重さとさとうの重さをたします。そのあと、使ったさとうの重さをひきます。

⑥は、答えの書き方に注意しましょう。 $\frac{6}{6}$ 時間が1時間なので、 $\frac{12}{6}$ 時間は2時間を表しています。

算

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

5年

力だめしテスト〈分数と小数②〉

月 日  
てん

① 次の□に、あてはまる数を書きましょう。(各4点・24点)

$$\textcircled{1} 2 \div 5 = \frac{2}{5} \quad \textcircled{2} 4 \div 3 = \frac{8}{3} \quad \textcircled{3} 3 \div \frac{6}{2} = \frac{1}{2}$$

$$\textcircled{4} \frac{5}{8} = 5 \div \frac{8}{5} \quad \textcircled{5} \frac{2}{3} = 4 \div \frac{6}{2} \quad \textcircled{6} 2\frac{3}{4} = \frac{11}{4} \div 4$$

② 次の分数を、小数に直しましょう。また、小数は、分数に直しましょう。(各4点・24点)

$$\textcircled{1} \frac{4}{5} = 0.8 \quad \textcircled{2} \frac{3}{2} = 1.5 \quad \textcircled{3} 2\frac{1}{4} = 2.25$$

$$\textcircled{4} 0.7 = \frac{7}{10} \quad \textcircled{5} 0.47 = \frac{47}{100} \quad \textcircled{6} 1.63 = \frac{163}{100} = 1\frac{63}{100}$$

③ 次の( )の中の数の大きさを比べて、大きい順に書きましょう。(各6点・12点)

$$\textcircled{1} \left( \frac{3}{10}, \frac{1}{3}, 0.33 \right) \quad \text{答え} \quad \frac{1}{3}, 0.33, \frac{3}{10}$$

$$\textcircled{2} \left( \frac{2}{5}, 0.3, \frac{1}{3}, 0.5, \frac{1}{4}, 0.6 \right) \quad \text{答え} \quad 0.6, 0.5, \frac{2}{5}, \frac{1}{3}, 0.3, \frac{1}{4}$$

④ 次の分数のうちで、0.3より大きく、0.7より小さい分数を全部見つけて、○で囲みましょう。(10点)

$$\left( \frac{1}{2}, \frac{1}{3}, \frac{2}{3}, \frac{1}{4}, \frac{2}{4}, \frac{3}{4}, \frac{1}{5}, \frac{2}{5}, \frac{3}{5}, \frac{4}{5}, \frac{1}{6}, \frac{2}{6}, \frac{3}{6}, \frac{4}{6}, \frac{5}{6} \right)$$

⑤ 分母が9で、12÷15のあたりに最も近い分数は何でしょうか。(10点)

$$12 \div 15 = 0.8 \quad \frac{1}{9} = 0.111\ldots \quad \frac{7}{9} = 0.777\ldots \quad \frac{8}{9} = 0.888\ldots \quad \text{答え} \quad \frac{7}{9}$$

⑥ 15で分母とする分数のうち、 $\frac{1}{4}$ に最も近い分数は何でしょうか。(10点)

$$\frac{1}{4} = 0.25 \quad \frac{3}{15} = 0.2 \quad \frac{4}{15} = 0.266\ldots \quad \text{答え} \quad \frac{4}{15}$$

⑦ 分母が15の分数で、小数で正確に表せる分数を、小さいほうから順に4つ書きましょう。(10点)

$$\left( \frac{1}{15} = 0.066\ldots, \frac{2}{15} = 0.133\ldots, \frac{3}{15} = 0.2, \frac{4}{15} = 0.266\ldots, \frac{5}{15} = 0.3, \frac{6}{15} = 0.4, \frac{7}{15} = 0.466\ldots, \frac{8}{15} = 0.533\ldots, \frac{9}{15} = 0.6, \frac{10}{15} = 0.666\ldots, \frac{11}{15} = 0.733\ldots, \frac{12}{15} = 0.8, \frac{13}{15} = 0.866\ldots, \frac{14}{15} = 0.933\ldots \right) \quad \text{答え} \quad \frac{3}{15}, \frac{6}{15}, \frac{9}{15}, \frac{12}{15}$$

— 解 説 —

①は、わり算と分数の関係を考える問題です。わる数が分母になります。⑥は、帯分数を仮分数に直すと、わり算の式にすることができます。

②は、分数と小数の関係を考える問題です。分数を小数に直すときは、分子を分母でわります。小数は、分母が10、100、1000などの分数で表すことができます。

③は、分数と小数の大きさをくらべる問題です。分数を小数に直すと、大きさをくらべることができます。

①の $\frac{1}{3}$ を小数に直すと、0.333…になりますが、これは0.33よりも大きい数です。

④は、分子を分母でわって小数に直すと、大きさを見分けることができます。

⑤は、最初に、12を15でわります。その答えが、0.8になるので、 $\frac{1}{9}$ から $\frac{9}{9}$ までの分数を小数に直して、0.8にいちばん近い数を見つけます。

算

5年

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

月 日

てん

## 力だめしテスト〈平行四辺形と三角形の面積①〉

1 次の□に、あてはまることばを書きましょう。(1つ5点・20点)

① 三角形の面積 = □ × 高さ ÷ 2

② 平行四辺形の面積 = 底辺 × □

③ 台形の面積 = (上底 + □) × □ ÷ 2



2 次の形の面積を求めましょう。(式、答え各5点・20点)

① 底辺が12cm、高さが8cmの三角形  
(式)

答え \_\_\_\_\_

② 底辺が6cm、高さが10cmの平行四辺形  
(式)

答え \_\_\_\_\_

③ 底辺12cm、面積42cm<sup>2</sup>の三角形の、高さを求めましょう。(式、答え各10点・20点)  
(式)

答え \_\_\_\_\_

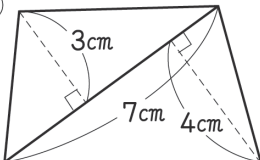
④ 底辺10cm、高さ14cmの三角形で、面積を変えずに底辺を7cmにすると、高さは何cmになるでしょう。  
(式)

(式、答え各10点・20点)

答え \_\_\_\_\_

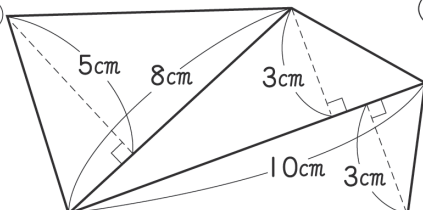
5 次の図形の面積を求めましょう。(式、答え各5点・20点)

① (式)



答え \_\_\_\_\_

② (式)



答え \_\_\_\_\_

算

5年

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

月 日

てん

## 力だめしテスト〈平行四辺形と三角形の面積②〉

- 1 下の図で、角Aは直角、ADは辺BCに垂直です。辺BCの長さは、何cmでしょう。

(式、答え各10点・20点)

(式)

答え

- 2 左の図で、四角形ABCDは平行四辺形で、その面積は $56\text{cm}^2$ あります。三角形AEDの面積を求めなさい。

(式、答え各10点・20点)

(式)

答え

- 3 下の図のように、平行四辺形ABCDの辺CDをのばした線上に点Eがあります。

- ① 平行四辺形ABCDの面積を求めましょう。(式、答え各5点・10点)

(式)

答え

- ② 三角形ABFと面積の等しい三角形を3つ見つけましょう。(10点)

答え

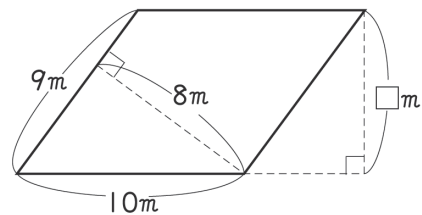
- 4 左の図のような四角形ABCDの面積を求めましょう。(式、答え各10点・20点)

(式)

答え

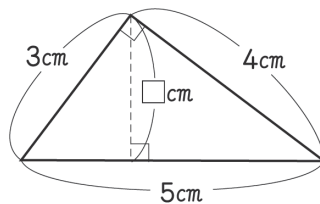
- 5 次のそれぞれの図で、□にあてはまる数を求めましょう。(式、答え各5点・20点)

①



(式)

②



(式)



答え

答え

算

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

力だめしテスト〈平行四辺形と三角形の面積①〉

月 日  
年

① 次の□にあてはまることを書きましょう。(1つ5点・20点)

① 三角形の面積 = 底辺 × 高さ ÷ 2

② 平行四辺形の面積 = 底辺 × 高さ

③ 台形の面積 = (上底 + 下底) × 高さ ÷ 2

② 次の形の面積を求めましょう。(1点・答え5点・20点)

① 底辺が12cm、高さが8cmの三角形  
(式)

$$12 \times 8 \div 2 = 48$$

答え 48cm<sup>2</sup>② 底辺が6cm、高さが10cmの平行四辺形  
(式)

$$6 \times 10 = 60$$

答え 60cm<sup>2</sup>③ 底辺12cm、面積42cm<sup>2</sup>の三角形の、高さを求めましょう。(式、答え10点・20点)

$$42 \times 2 \div 12 = 7$$

答え 7cm

④ 底辺10cm、高さ14cmの三角形で、面積を2倍し、底辺を7cmにすると、高さは何cmになるでしょう。(式、答え10点・20点)

$$\text{面積 } 10 \times 14 \div 2 = 70$$

$$\text{高さ } 70 \times 2 \div 7 = 20$$

答え 20cm

⑤ 次の図形の面積を求めましょう。(式、答え5点・20点)

① (式)  $7 \times 3 \div 2 = 10.5$   
 $7 \times 4 \div 2 = 14$   
 $10.5 + 14 = 24.5$ 答え 24.5cm<sup>2</sup>② (式)  $8 \times 5 \div 2 = 20$   
 $10 \times 3 \div 2 \times 2 = 30$   
 $20 + 30 = 50$ 答え 50cm<sup>2</sup>

— 解説 —

①は、面積の求め方の公式です。三角形と平行四辺形の面積の求め方は、しっかり覚えておきましょう。

②は、面積を求める問題です。数字を①の公式にあてはめましょう。三角形の面積を求めるときは、底辺と高さをかけたあと、その答えを2でわります。答えには、面積を表す単位をつけましょう。

③は、三角形の高さを求める問題です。高さを□として、三角形の公式に問題文の数字をあてはめると、「 $12 \times \square \div 2 = 42$ 」という式になります。□を求める式は、 $\square = 42 \div 12$  (面積)  $\times 2 \div 12$  (底辺) になります。

④は、はじめに三角形の面積を求めます。そのあと、③と同じ考え方で高さを求めます。

⑤の①は、底辺が7cmで高さが3cmの三角形と、底辺が7cmで高さが4cmの三角形の面積を求めて、その面積の合計を出します。②は、底辺が10cmで高さが3cmの三角形が2つあるので、その面積を2倍します。

算

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

力だめしテスト〈平行四辺形と三角形の面積②〉

月 日  
年

① 下の図で、角Aは直角、ADは辺BCに垂直です。辺BCの長さは、何cmでしょう。(式、答え10点・20点)

(式) 面積  $9 \times 12 \div 2 = 54$   
辺BC  $54 \times 2 \div 7.2 = 15$   
答え 15cm② 左の図で、四角形ABCDは平行四辺形で、その面積は56cm<sup>2</sup>あります。三角形AEDの面積を求めなさい。(式、答え10点・20点)(式) 辺DE  $56 \div 8 = 7$   
面積  $8 \times 7 \div 2 = 28$   
答え 28cm<sup>2</sup>

③ 下の図のように、平行四辺形ABCDの辺CDをのびした線に点Eがあります。

① 平行四辺形ABCDの面積を求めましょう。(式、答え5点・10点)  
(式)  $12 \times 8 = 96$   
答え 96cm<sup>2</sup>

② 三角形ABEと面積の等しい三角形を3つ見つけましょう。(10点)

答え ABD、BCD、BCF

④ 左の図のような四角形ABCDの面積を求めましょう。(式、答え10点・20点)

(式) 三角形ABDとBCDの面積は同じ  
 $12 \times 9 \div 2 \times 2 = 108$   
答え 108cm<sup>2</sup>

⑤ 次のそれぞれの図で、□にあてはまる数を求めましょう。(式、答え5点・20点)

① (式) 面積  $9 \times 8 = 72$   
 $\square = 72 \div 10 = 7.2$   
答え 7.2m② (式) 面積  $3 \times 4 \div 2 = 6$   
 $\square = 6 \times 2 \div 5 = 2.4$   
答え 2.4cm

— 解説 —

①は、底辺の長さを求める問題です。はじめに、底辺が9cm、高さが12cmの三角形の面積を求めます。その面積を2倍し、辺ADの長さの7.2でわると、三角形の底辺にあたる辺BCの長さを求めることができます。

②は、辺DEが平行四辺形ABCDの高さになっていることに気づくと、解くことができます。平行四辺形の面積を底辺の長さにあたる8でわると、辺DEの長さを求めることができます。

③の②は、辺ABが三角形ABEの底辺になっています。辺ABと辺CEは平行です。そのため、三角形ABEと三角形ABDは底辺を共有しているの、高さも同じ長さになることがわかります。

④は、BからDに直線をひいて、四角形を2つの三角形に分けます。角Aと角Cが直角なので、それぞれの辺を底辺と高さにあてはめることができます。

算

5年

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

月 日

てん

力だめしテスト〈ひゃくぶんりつ百分率わりあい（割合）〉

1 次の□に、あてはまる数を書きましょう。(5点・50点)

- ① 936gは、5.2kgの□%。 ② 12dLの□わり割は、4.8dL。
- ③ 1.6mの75%は、□cm。 ④ 1600円の37%は、□円。
- ⑤ 38kgの4割5分は、□kg。 ⑥ 650円の3割6分は、□円。
- ⑦ □人の6割5分は、78人。 ⑧ □kgの18%は、72kg。
- ⑨ □人は、150人の24%。 ⑩ □mは、2.5kmの1割4分。

2 1辺0.6mの正方形の面積の45%は、何cm<sup>2</sup>でしょう。(式、答え各5点・10点)

(式)

答え

3 100g500円の肉を2割びきで売ると、1gで何円安くなるでしょう。(式、答え各5点・10点)

(式)

答え

4 かずお君の小学校の今年の子どもの数は、468人です。これは、昨年より4%増えています。昨年の子どもの数は、何人だったでしょう。(式、答え各5点・10点)

(式)

答え

5 ある品物に原価げんかの20%の利益りえきをみこんで、定価600円で売りました。この品物の原価は、いくらでしょう。(式、答え各5点・10点)

(式)

答え

6 30%の食塩水50gと、25%の食塩水20gとを、30gの水に混ぜると、何%の食塩水ができるでしょう。(式、答え各5点・10点)

(式)

答え



算

5年

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

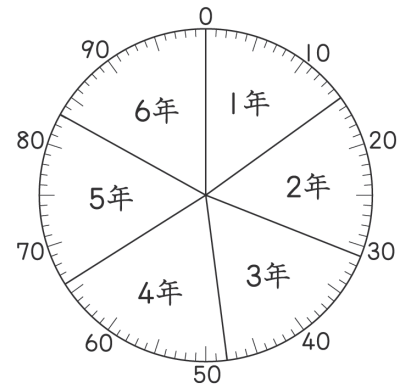
月 日

てん

## 力だめしテスト〈百分率とグラフ〉

- 1 右の円グラフは、桜小学校の各学年の児童数の内わけを表しています。割合を読みとり、児童数を求めて、表に表しましょう。(20点)

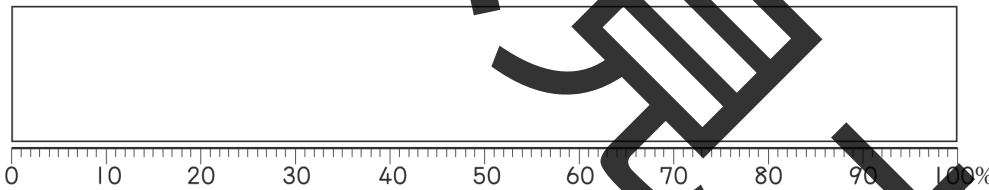
学年	1	2	3	4	5	6	合計
児童数(人)							500
百分率(%)							100



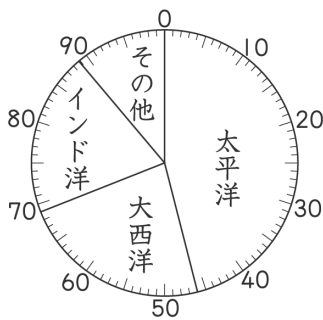
- 2 右の表は、ある年の日本のみかんのしゅうかく量を調べたものです。

- ① 百分率を計算して、表の中に書きましょう。(10点)
- ② しゅうかく量の割合を、下の帯グラフに表しましょう。(10点)
- 〈日本のみかんのしゅうかく量の内わけ〉

県名	しゅうかく量 (千t)	百分率 (%)
愛媛	250	
和歌山	225	
静岡	153	
熊本	138	
長崎	127	
その他	662	
合計	1555	



- 3 下の円グラフは、地球上の海の広さを表したものです。



- ① 太平洋は、大西洋の約何倍でしょう。(式、答え各10点・20点)

- ② インド洋は、約7340万km<sup>2</sup>です。太平洋と大西洋は、約何万km<sup>2</sup>でしょう。(式、答え各10点・20点)

(式)

答え

答え 太平洋

大西洋

- ③ 長さ20cmの帯グラフにかくとき、インド洋の割合の長さは、何cmでしょう。(式、答え各10点・20点)

(式)

答え



算 ●5年生の実力を確認する——まとめのテスト  
5 年 力だめしテスト〈百分率（割合）〉

1 次の□にあてはまる数を書きましょう。(5点・50点)

① 936gは、5.2kgの **18** %。 ② 12dLの **4** 割は、4.8dL。

③ 1.6mの75%は、**120** cm。 ④ 1600円の37%は、**592** 円。

⑤ 38kgの4割5分は、**15.1** kg。 ⑥ 650円の3割6分は、**234** 円。

⑦ **20** 人の6割5分は、78人。 ⑧ **400** kgの18%は、72kg。

⑨ **36** 人は、150人の24%。 ⑩ **350** mは、2.5kmの1割4分。

2 1辺0.6mの正方形の面積の45%は、何cm<sup>2</sup>でしょう。(式、答え各5点・10点)

(式)  $0.6\text{m} = 60\text{cm}$   $60 \times 60 \times 0.45 = 1620$  答え **1620cm<sup>2</sup>**

3 100g500円の肉を2割びきとると、何gで何円安くなるでしょう。(式、答え各5点・10点)

(式)  $500 \times 0.2 \div 100 = 1$  答え **1円**

4 かずお君の小学校の今年の子どもの数は、468人です。これは、昨年より4%増えています。昨年の子どもの数は、何人だったでしょう。(式、答え各5点・10点)

(式)  $468 \div (1 + 0.04) = 450$  答え **450人**

5 ある品物に原価の20%の利益をみこんで、定価600円で売りました。この品物の原価は、いくらでしょう。(式、答え各5点・10点)

(式)  $600 \div (1 + 0.2) = 500$  答え **500円**

6 30%の食塩水50gと、25%の食塩水20gとを、30gの水に混ぜると、何%の食塩水ができますでしょう。(式、答え各5点・10点)

(式) 塩の量  $50 \times 0.3 + 20 \times 0.25 = 20$   
割合  $20 \div (50 + 20 + 30) \times 100 = 20$  答え **20%**

## — 解 説 —

①は、単位をそろえたり、百分率や割合を小数に直してから計算しましょう。③は、1.6mを160cmに、75%を0.75に直します。⑤は、4割5分を0.45に直します。⑦と⑧は、わり算で「もとにする量」を求めます。⑨と⑩は、かけ算で「くらべる量」を求めます。

②は正方形の面積を求めたあと、0.45をかけます。

③は、500円の2割は100円。2割びきしたあとの値段は400円です、100gで100円安くなったことがわかります。

④は、昨年の人数が「もとにする量」です。「くらべる量」にあたる今年的人数を1.04でわると、昨年の人数を求めることができます。

⑥は、はじめに、食塩水の中にくまれる食塩の量を求めます。食塩水の量に割合をかけると、食塩の量が出ます。次に、食塩の量(20g)を、全体の食塩水の量(50g+20g+30g=100g)でわると、食塩水に入っている食塩の割合を求めることができます。

算 ●5年生の実力を確認する——まとめのテスト  
5 年 力だめしテスト〈百分率とグラフ〉

1 右の円グラフは、桜小学校の各学年の児童数の内わけを表しています。割合を読みとり、児童数を求めて、表に表しましょう。(20点)

学年	1	2	3	4	5	6	合計
児童数(人)	75	80	85	90	85	85	500
百分率(%)	15	16	17	18	17	17	100

2 右の表は、ある年の日本のみかんのしゅうかく量を調べたものです。

① 百分率を計算して、表の中に書きましょう。(10点)

② しゅうかく量の割合を、下の帯グラフに表しましょう。(10点)

(日本のみかんのしゅうかく量の内わけ)

県名	しゅうかく量(千t)	百分率(%)
愛媛	250	16
和歌山	225	14
静岡	153	10
熊本	138	9
長崎	127	8
その他	662	43
合計	1555	100

3 下の円グラフは、地球上の海の広さを表したものです。

① 太平洋は、大西洋の約何倍でしょう。(式、答え各10点・20点)

(式)  $46 \div 23 = 2$  答え **約2倍**

② インド洋は、約7340km<sup>2</sup>です。太平洋と大西洋は、約何万km<sup>2</sup>でしょう。(式、答え各10点・20点)

太平洋  $7340 \times (46 \div 20) = 16882$   
大西洋  $7340 \times (23 \div 20) = 8441$   
答え 太平洋 **約1億6882万km<sup>2</sup>** 大西洋 **約8441万km<sup>2</sup>**

③ 長さ20cmの帯グラフにかくとき、インド洋の割合の長さは、何cmでしょう。(式、答え各10点・20点)

(式)  $20 \times 0.2 = 4$  答え **4cm**

## — 解 説 —

①は、円グラフから割合を読みとる問題です。円グラフは、全体を円で表し、半径で区切って割合を表しています。円周に刻まれているめもりの1つ分が、1%を表しています。1年生の割合を円グラフから読みとると、15%です。全体の人数の500人に0.15をかけると、1年生の人数を求めることができます。

②は、帯グラフをかく問題です。各県のしゅうかく量を全体のしゅうかく量でわると、割合がでます。このとき、答えは、小数第三位以下を四捨五入しましょう。それぞれの県の割合を求めることができたなら、帯グラフの1めもりを1%として、帯グラフをかきましょう。

③の①は、円グラフから割合を読みとります。太平洋が46%、大西洋が23%なので、太平洋の割合を大西洋の割合でわると、太平洋が大西洋の何倍の大きさになるのかわかります。②は、インド洋の割合が20%ですから、太平洋と大西洋がインド洋の何倍の大きさになるのかわかれば、面積を求めることができます。



## 力だめしテスト〈数のしくみ（整数と小数）②〉

1 □ にあてはまる数を書きましょう。(各5点 25点)

①  $5996 = 1000 \times \square + 100 \times \square + 10 \times \square + 1 \times \square$

②  $274.3 = 100 \times \square + 10 \times \square + 1 \times \square + 0.1 \times \square$

③  $34.184 = \square \times 3 + \square \times 4 + \square \times 1 + \square \times 8 + \square \times 4$

④  $8.642 = \square \times 8 + \square \times 6 + \square \times 4 + \square \times 2$

⑤  $760.853 = \square \times 7 + 10 \times \square + \square \times 0 + 0.1 \times \square + \square \times 5 + 0.001 \times \square$

2 □ にあてはまる数を書きましょう。(各5点 20点)

①  $\square = 100 \times 5 + 10 \times 6 + 1 \times 7 + 0.1 \times 3$

②  $\square = 1000 \times 2 + 100 \times 3 + 10 \times 4 + 0.1 \times 2 + 0.01 \times 3$

③  $\square = 0.1 \times 6 + 0.01 \times 2 + 0.001 \times 4$

④  $\square = 0.001 \times 3 + 0.0001 \times 4$

整数や小数は色々な位の集まりなんじゃぞ。



3 □ には数を、○にはあてはまる計算記号を書きましょう。(各5点 25点)

①  $532.6 = \square \times 5 \bigcirc 10 \times 3 + 1 \bigcirc 2 + \square \times 6$

②  $8675.31 = 1000 \bigcirc 8 + \square \times 6 \bigcirc 10 \times 7 + \square \times 5 + \square \times 3 \bigcirc \square \times 1$

③  $0.745 = 0.1 \bigcirc 7 + \square \times 4 \bigcirc \square \times 5$

④  $28.017 = 10 \times \square \bigcirc 1 \times \square + 0.01 \bigcirc \square + 0.001 \bigcirc \square$

⑤  $0.0498 = \square \times 4 + \square \times 9 \bigcirc \square \bigcirc 8$

4 左の数の10倍、100倍の数や、 $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$ の数を( )に書きましょう。(各5点 30点)

①  $9.8 \cdots$  10倍( ) 100倍( ) 1000倍( )

②  $0.27 \cdots$  10倍( ) 100倍( ) 1000倍( )

③  $437.56 \cdots$   $\frac{1}{10}$ ( )  $\frac{1}{100}$ ( )  $\frac{1}{1000}$ ( )

④  $78 \cdots$   $\frac{1}{10}$ ( )  $\frac{1}{100}$ ( )  $\frac{1}{1000}$ ( )

⑤  $5387.6 \cdots$  0.1倍( ) 0.01倍( ) 0.001倍( )

⑥  $0.51 \cdots$  0.1倍( ) 0.01倍( ) 0.001倍( )

算

●5年生の実力を確認する——まどめのテスト

5 年

力だめしテスト〈数のしくみ（整数と小数）①〉

月 日  
年

① 次の問題に答えてください。(各3点 36点)

- ① 4.3の $\frac{1}{10}$ はいくつでしょう。0.43      ② 650の100倍はいくつでしょう。65000  
 ③ 0.28の10倍はいくつでしょう。2.8      ④ 5.7の $\frac{1}{100}$ はいくつでしょう。0.057  
 ⑤ 5500の $\frac{1}{10}$ はいくつでしょう。550      ⑥ 397.6の $\frac{1}{1000}$ はいくつでしょう。0.3976  
 ⑦ 0.018の1000倍はいくつでしょう。18      ⑧ 7.5の100倍はいくつでしょう。750  
 ⑨  $3.14 \times 10 = 31.4$       ⑩  $0.009 \times 1000 = 9$   
 ⑪  $8543 \div 100 = 85.43$       ⑫  $23450 \div 1000 = 23.45$

② 2, 4, 6, 8の数字を1回ずつ使って、□に数字をあてはめて、一番大きな数と一番小さな数をつくりましょう。(各5点 10点)

大きな数 8 6 . 4 2      小さな数 2 4 . 6 8

③ 0, 1, 2, 3, 4の数字を1回ずつ使って、□に数字をあてはめて、一番大きな数と一番小さな数をつくりましょう。(各5点 10点)

大きな数 4 3 2 . 0 1      小さな数 1 0 2 . 3 4

④ 0, 1, 5, 9の数字を1回ずつ使って、□に数字をあてはめて、一番大きな数と一番小さな数をつくりましょう。(各5点 10点)

大きな数 9 . 5 0 1      小さな数 0 . 1 5 9

⑤ 3, 4, 5, 6の数字と小数点を1回ずつ使って、一番大きな数と一番小さな数をつくりましょう。(各5点 10点)

大きな数 654.3      小さな数 3.456

⑥ 0, 3, 5, 7, 9の数字と小数点を1回ずつ使って、一番大きな数と一番小さな数をつくりましょう。(各5点 10点)

大きな数 9750.3      小さな数 0.3579

⑦ 0~9の数字の中から5つの数字と小数点を1回ずつ使って、一番大きな数と一番小さな数をつくりましょう。(各7点 14点)

大きな数 9 8 7 6 . 5      小さな数 0 . 1 2 3 4

## — 解 説 —

①は整数や小数を10倍、100倍、1000倍、または $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$ 、 $\frac{1}{1000}$ にしたときの数を答える問題です。10倍、100倍、1000倍するときは小数点を0の数だけ右へ移動し、 $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$ 、 $\frac{1}{1000}$ にするときは、0の数だけ小数点を左に移動します。

②～⑦は指定された数字で一番大きな数と一番小さな数を作る問題です。③、④、⑥、⑦は、数字の中に0が入っているので、大きな数を作る際、小数点以下の末尾の数に0を持っていくことができません。一番小さい小数を求めるときは、小数点より上の一番小さな位である一の位に0をもってきましょう。

算

●5年生の実力を確認する——まどめのテスト

5 年

力だめしテスト〈数のしくみ（整数と小数）②〉

月 日  
年

① □にあてはまる数を書きましょう。(各5点 25点)

- ①  $5996 = 1000 \times 5 + 100 \times 9 + 10 \times 9 + 1 \times 6$   
 ②  $274.3 = 100 \times 2 + 10 \times 7 + 1 \times 4 + 0.1 \times 3$   
 ③  $34.184 = 10 \times 3 + 1 \times 4 + 0.1 \times 1 + 0.01 \times 8 + 0.001 \times 4$   
 ④  $8.642 = 1 \times 8 + 0.1 \times 6 + 0.01 \times 4 + 0.001 \times 2$   
 ⑤  $760.853 = 100 \times 7 + 10 \times 6 + 1 \times 0 + 0.1 \times 8 + 0.01 \times 5 + 0.001 \times 3$

② □にあてはまる数を書きましょう。(各5点 20点)

- ① 567.3 =  $100 \times 5 + 10 \times 6 + 1 \times 7 + 0.1 \times 3$   
 ② 2340.23 =  $1000 \times 2 + 100 \times 3 + 10 \times 4 + 0.1 \times 2 + 0.01 \times 3$   
 ③ 0.624 =  $0.1 \times 6 + 0.01 \times 2 + 0.001 \times 4$   
 ④ 0.0034 =  $0.001 \times 3 + 0.0001 \times 4$

③ □には数を、○にはあてはまる計算記号を書きましょう。(各5点 25点)

- ①  $532.6 = 100 \times 5 + 10 \times 3 + 1 \times 2 + 0.1 \times 6$   
 ②  $8675.31 = 1000 \times 8 + 100 \times 6 + 10 \times 7 + 1 \times 5 + 0.1 \times 3 + 0.01 \times 1$   
 ③  $0.745 = 0.1 \times 7 + 0.01 \times 4 + 0.001 \times 5$   
 ④  $28.017 = 10 \times 2 + 1 \times 8 + 0.01 \times 1 + 0.001 \times 7$   
 ⑤  $0.0498 = 0.01 \times 4 + 0.001 \times 9 + 0.0001 \times 8$

④ 左の数の10倍、100倍の数や、 $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$ の数を( )に書きましょう。(各5点 30点)

- ①  $9.8 \cdots$  10倍(98) 100倍(980) 1000倍(9800)  
 ②  $0.27 \cdots$  10倍(2.7) 100倍(27) 1000倍(270)  
 ③  $437.56 \cdots$   $\frac{1}{10}$ (43.756)  $\frac{1}{100}$ (4.3756)  $\frac{1}{1000}$ (0.43756)  
 ④  $78 \cdots$   $\frac{1}{10}$ (7.8)  $\frac{1}{100}$ (0.78)  $\frac{1}{1000}$ (0.078)  
 ⑤  $5387.6 \cdots$  0.1倍(538.76) 0.01倍(53.876) 0.001倍(5.3876)  
 ⑥  $0.51 \cdots$  0.1倍(0.051) 0.01倍(0.0051) 0.001倍(0.00051)

整数や小数は色々な位の集まりなんじゃぞ。



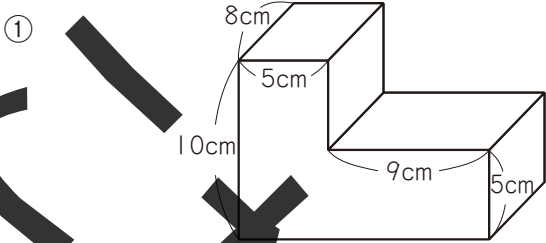
## — 解 説 —

①と②は、それぞれの位がどれだけ集まっているかを求める問題です。①は数を位に分解した式で、②は逆に分解した式から数を求める問題です。

③は、分解した式の記号や数をうめる問題です。各位×いくつ分をたす式だということを理解して、○×△+□×☆の式にしていきましょう。

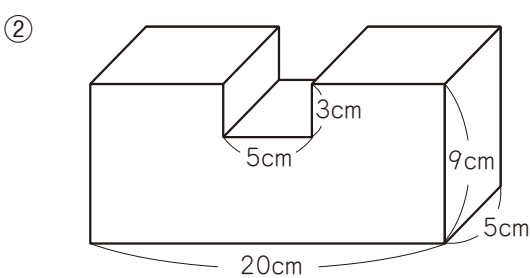
④は1つの数を10倍、100倍、1000倍、 $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$ 、 $\frac{1}{1000}$ 、0.1倍、0.01倍、0.001倍にした数を求める問題です。 $\frac{1}{10}$ と0.1倍、 $\frac{1}{100}$ と0.01倍、 $\frac{1}{1000}$ と0.001倍は同じ意味を持ちます。

I 次の立体の体積をくふうして求めましょう。 (各20点 40点)



(式)

答え



(式)

答え

2 右の図のように、直方体のたての長さ、横の長さを変えないで、高さを1cm、2cm・・・と増やしていきます。次の問題に答えましょう。

① 高さを□cm、体積を○cm<sup>3</sup>として、体積を求める式を書きましょう。 (5点)

(式)

② 高さを1cm、2cm、3cm・・・と変えていくと、体積はどうなるでしょう。下の表にあてはまる数を書きましょう。 (各5点 30点)

高さ□(cm)	1	2	3	4	5	6
体積○(cm <sup>3</sup> )						

③ 上の表のように、□(高さ)を2倍、3倍・・・すると、それにもなって○(体積)も2倍、3倍・・・となる関係を何というでしょう。 (15点)

答え

の関係

## 力だめしテスト〈直方体と立方体の体積③容積〉

1 次の容積をかさの単位で表しましょう。(各5点 30点)

①  $7000\text{cm}^3 = (\quad) \text{L}$

②  $450\text{cm}^3 = (\quad) \text{mL}$

③  $10000\text{cm}^3 = (\quad) \text{L}$

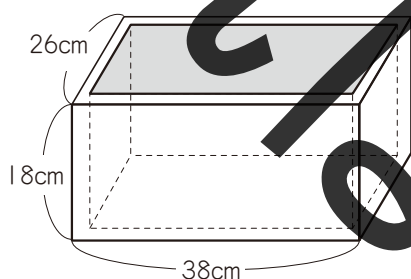
④  $100\text{cm}^3 = (\quad) \text{dL}$

⑤  $6800\text{cm}^3 = (\quad) \text{L} (\quad) \text{dL}$

⑥  $52040\text{cm}^3 = (\quad) \text{L} (\quad) \text{mL}$

2 次の容積は何 $\text{cm}^3$ でしょう。(各20点 40点)

① 厚さ2cmの板を使った器の容積



内のりのたての長さ

(式)

内のりの横の長さ

(式)

内のりの底の深さ

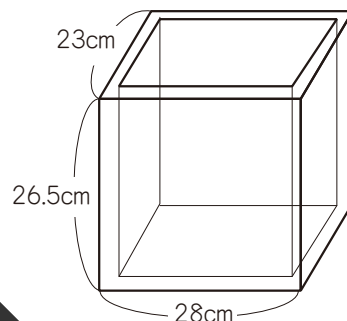
(式)

容積の計算

(式)

答え

② 厚さ2.5cmのガラスを使った器の容積



内のりのたての長さ

(式)

内のりの横の長さ

(式)

内のりの底の深さ

(式)

容積の計算

(式)

答え

3 厚さ1.5cmのガラスを使った右のような器があります。  
この器の容積は、何 $\text{L}$ でしょう。(30点)

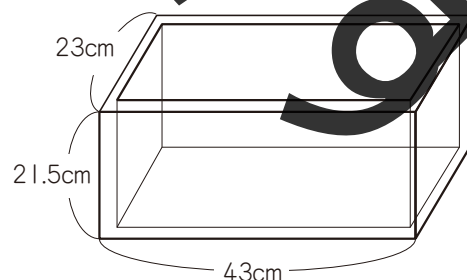
内のりのたての長さ (式)

内のりの横の長さ (式)

内のりの底の深さ (式)

容積の計算 (式)

容積の計算( $\text{cm}^3$ を $\text{L}$ に) (式)



答え



算

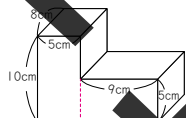
●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

5 年

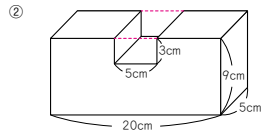
力だめしテスト〈直方体と立方体の体積②体積〉

月 日  
年

① 次の立体の体積をくふうして求めましょう。(各20点 40点)



$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & 8 \times 5 \times 10 = 400 \\ & 8 \times 9 \times 5 = 360 \\ & 400 + 360 = 760 \end{aligned}$$

答え  $760\text{cm}^3$ 

$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & 5 \times 20 \times 9 = 900 \\ & 5 \times 5 \times 3 = 75 \\ & 900 - 75 = 825 \end{aligned}$$

答え  $825\text{cm}^3$ 

② 右の図のように、直方体のたての長さ、横の長さを変えずに、高さを1cm、2cm・・・と増やしていきます。次の問題に答えましょう。

① 高さを□cm、体積を○ $\text{cm}^3$ として、体積を求める式を書きましょう。

$$\text{(式)} \quad 6 \times \square = \bigcirc$$

② 高さを1cm、2cm、3cm・・・と変えていくと、体積はどうなるでしょう。下の表にあてはまる数を書きましょう。(各5点 30点)

高さ□(cm)	1	2	3	4	5	6
体積○( $\text{cm}^3$ )	6	12	18	24	30	36

③ 上の表のように、□(高さ)を2倍、3倍・・・すると、それとともなって○(体積)も2倍、3倍・・・となる関係を何というでしょう。

答え 比例 の関係

## — 解 説 —

①は複雑な形の体積を求める問題です。①は2つの直方体に分けて、それぞれの体積を求めて足します。②は大きな直方体から中のくりぬいた分を引けば求められます。それぞれ別の求め方もあるので、いろいろ考えてみましょう。

②は直方体の体積の高さが2倍、3倍・・・と変化すると、それとともなって体積も2倍、3倍・・・に変化することをつかむ比例の問題です。高さで体積の関係を、□と○を使った比例の式で表し、そこから表の数を求められるようになりましょう。

算

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

5 年

力だめしテスト〈直方体と立方体の体積③容積〉

月 日  
年

① 次の容積をかさの単位で表しましょう。(各5点 30点)

①  $7000\text{cm}^3 = ( 7 ) \text{L}$

②  $450\text{cm}^3 = ( 450 ) \text{mL}$

③  $10000\text{cm}^3 = ( 10 ) \text{L}$

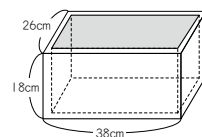
④  $100\text{cm}^3 = ( 1 ) \text{dL}$

⑤  $6800\text{cm}^3 = ( 6 ) \text{L} ( 8 ) \text{dL}$

⑥  $52040\text{cm}^3 = ( 52 ) \text{L} ( 40 ) \text{mL}$

② 次の容積は何 $\text{cm}^3$ でしょう。(各20点 40点)

① 厚さ2cmの板を使った器の容積



内のりのたての長さ

$$\text{(式)} \quad 26 - 2 - 2 = 22$$

内のりの横の長さ

$$\text{(式)} \quad 38 - 2 - 2 = 34$$

内のりの底の深さ

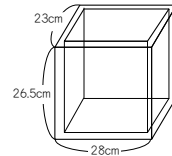
$$\text{(式)} \quad 18 - 2 = 16$$

容積の計算

$$\text{(式)} \quad 22 \times 34 \times 16 = 11968$$

答え  $11968\text{cm}^3$ 

② 厚さ2.5cmのガラスを使った器の容積



内のりのたての長さ

$$\text{(式)} \quad 23 - 2.5 - 2.5 = 18$$

内のりの横の長さ

$$\text{(式)} \quad 28 - 2.5 - 2.5 = 23$$

内のりの底の深さ

$$\text{(式)} \quad 26.5 - 2.5 = 24$$

容積の計算

$$\text{(式)} \quad 18 \times 23 \times 24 = 9936$$

答え  $9936\text{cm}^3$ 

③ 厚さ1.5cmのガラスを使った右のような器があります。この器の容積は、何Lでしょう。(30点)

内のりのたての長さ (式)  $23 - 1.5 - 1.5 = 20$

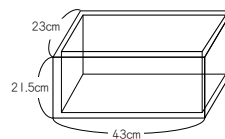
内のりの横の長さ (式)  $43 - 1.5 - 1.5 = 40$

内のりの底の深さ (式)  $21.5 - 1.5 = 20$

容積の計算 (式)  $20 \times 40 \times 20 = 16000$

容積の計算( $\text{cm}^3$ をLに) (式)  $16000 \div 1000 = 16$

答え 16L



## — 解 説 —

①は $\text{cm}^3$ をかさの単位であるL、dL、mLに直す問題です。 $1\text{L} = 1000\text{cm}^3$ なので、1Lの $\frac{1}{10}$ である $1\text{dL} = 100\text{cm}^3$ です。また、 $1\text{L} = 1000\text{mL}$ なので、 $1\text{mL} = 1\text{cm}^3$ になります。

②は容積を求める問題です。内のりのたてと横の長さは、容器自体のたてと横の長さから、板の厚さを2回ひいた数になります。高さは底しかないのので、板の厚さを1回だけひきます。③も同じように、内のりの長さを求めてから体積を計算しましょう。何Lかと求められているので、 $\text{cm}^3$ で求めた答えを1000でわってLに直しましょう。



## 力だめしテスト〈小数のかけ算②〉

Ⅰ 次の計算を筆算でしましょう。(各5点 60点)

①  $0.5 \times 7.68$

②  $46 \times 0.27$

③  $6.84 \times 70$

④  $3.08 \times 6.09$

⑤  $0.09 \times 6.57$

⑥  $1.26 \times 5.32$

⑦  $0.48 \times 8.95$

⑧  $5.42 \times 6.39$

⑨  $5.6 \times 1.202$

⑩  $4.4 \times 3.236$

⑪  $8.96 \times 0.067$

⑫  $0.02 \times 0.943$

Ⅱ ② あかねさんの身長は138.6cmです。あかねさんのお父さんの身長はあかねさんの1.25倍です。お父さんの身長は何cmでしょう。(20点)

(式)

答え

③ 犬小屋を作るのに、1mの重さが2.805kgの材木が12.4m必要です。何kgの材木を用意すればいいでしょう。(20点)

(式)

答え

## 力だめしテスト〈小数のわり算②〉

1 次の計算を筆算でしましょう。⑨～⑫は商を $\frac{1}{10}$ の位まで求め、あまりも出しましょう。(各5点 60点)

①  $73.32 \div 94$

②  $17.55 \div 4.5$

③  $26.04 \div 2.8$

④  $45.65 \div 5.5$

⑤  $64.86 \div 6.9$

⑥  $12.58 \div 1.7$

⑦  $14.413 \div 2.9$

⑧  $551.25 \div 22.5$

⑨  $847 \div 26$

⑩  $94.05 \div 3.7$

⑪  $230.89 \div 7.6$

⑫  $364.86 \div 13.6$

2 ゆうかさんの体重は34.4kgです。ゆうかさんのお父さんの体重は、63.64kgで、お母さんの体重は58.14kgです。次の問題に答えましょう。(各20点 40点)

① ゆうかさんの体重をもとにすると、お父さんの体重はゆうかさんの何倍になるでしょう。

(式)

答え

② お母さんの体重をもとにすると、ゆうかさんの体重はお母さんの何倍になるでしょう。

$\frac{1}{10}$  の位までのがい数で答えましょう。

(式)

答え

算

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

5 年

力だめしテスト〈小数のかけ算②〉

月 日

年

① 次の計算を筆算でしましょう。(各5点 60点)

①  $0.5 \times 7.68$

$$\begin{array}{r} 0.5 \\ \times 7.68 \\ \hline 40 \\ 30 \\ 35 \\ \hline 3.840 \end{array}$$

②  $46 \times 0.27$

$$\begin{array}{r} 46 \\ \times 0.27 \\ \hline 322 \\ 92 \\ \hline 12.42 \end{array}$$

③  $6.84 \times 70$

$$\begin{array}{r} 6.84 \\ \times 70 \\ \hline 478.80 \end{array}$$

④  $3.08 \times 6.09$

$$\begin{array}{r} 3.08 \\ \times 6.09 \\ \hline 2772 \\ 1848 \\ \hline 18.7572 \end{array}$$

⑤  $0.09 \times 6.57$

$$\begin{array}{r} 0.09 \\ \times 6.57 \\ \hline 45 \\ 54 \\ \hline 0.5913 \end{array}$$

⑥  $1.26 \times 5.32$

$$\begin{array}{r} 1.26 \\ \times 5.32 \\ \hline 252 \\ 378 \\ 630 \\ \hline 6.7032 \end{array}$$

⑦  $0.48 \times 8.95$

$$\begin{array}{r} 0.48 \\ \times 8.95 \\ \hline 240 \\ 432 \\ 384 \\ \hline 4.2960 \end{array}$$

⑧  $5.42 \times 6.39$

$$\begin{array}{r} 5.42 \\ \times 6.39 \\ \hline 4878 \\ 1626 \\ 3252 \\ \hline 34.6338 \end{array}$$

⑨  $5.6 \times 1.202$

$$\begin{array}{r} 5.6 \\ \times 1.202 \\ \hline 112 \\ 112 \\ 56 \\ \hline 6.7312 \end{array}$$

⑩  $4.4 \times 3.236$

$$\begin{array}{r} 4.4 \\ \times 3.236 \\ \hline 264 \\ 132 \\ 88 \\ \hline 14.2384 \end{array}$$

⑪  $8.96 \times 0.067$

$$\begin{array}{r} 8.96 \\ \times 0.067 \\ \hline 6272 \\ 5376 \\ 069632 \\ \hline 0.601886 \end{array}$$

⑫  $0.02 \times 0.943$

$$\begin{array}{r} 0.02 \\ \times 0.943 \\ \hline 1886 \\ 01886 \end{array}$$

② あかねさんの身長は138.6cmです。あかねさんのお父さんの身長はあかねさんの1.25倍です。お父さんの身長は何cmでしょう。

(式)  $138.6 \times 1.25 = 173.25$

答え 173.25cm

③ 犬小屋を作るのに、1mの重さが2.805kgの材木が12.4m必要です。何kgの材木を用意すればいいでしょう。

(式)  $2.805 \times 12.4 = 34.782$

答え 34.782kg

## — 解 説 —

① 小数のかけ算は、最初は小数点がないものとして、整数と同じように右に数字をそろえて筆算式をたて、計算します。積に小数点をうつ際は、かけられる数とかける数の小数点以下のけた数の和の分だけ、右から数えてうちましょう。例えば①は、かけられる数の小数点以下のけた数が1、かける数は2なので、積の小数点は右から3つ目のところにうちます。②と③は小数のかけ算の文章題です。②は小数第一位×小数第二位なので右から3つ目のところに、③は小数第三位×小数第一位なので、積の右から4つ目のところに小数点をうち、どちらも末尾の0は消します。

算

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

5 年

力だめしテスト〈小数のわり算②〉

月 日

年

① 次の計算を筆算でしましょう。④～⑫は商を $\frac{1}{10}$ の位まで求め、あまりも出しましょう。(各5点 60点)

①  $73.32 \div 94$

$$\begin{array}{r} 0.78 \\ 94 \overline{) 73.32} \\ \underline{658} \\ 752 \\ \underline{752} \\ 0 \end{array}$$

②  $17.55 \div 4.5$

$$\begin{array}{r} 3.9 \\ 4.5 \overline{) 17.55} \\ \underline{135} \\ 405 \\ \underline{405} \\ 0 \end{array}$$

③  $26.04 \div 2.8$

$$\begin{array}{r} 9.3 \\ 2.8 \overline{) 26.04} \\ \underline{252} \\ 84 \\ \underline{84} \\ 0 \end{array}$$

④  $45.65 \div 5.5$

$$\begin{array}{r} 8.3 \\ 5.5 \overline{) 45.65} \\ \underline{440} \\ 165 \\ \underline{165} \\ 0 \end{array}$$

⑤  $64.86 \div 6.9$

$$\begin{array}{r} 9.4 \\ 6.9 \overline{) 64.86} \\ \underline{621} \\ 276 \\ \underline{276} \\ 0 \end{array}$$

⑥  $12.58 \div 1.7$

$$\begin{array}{r} 7.4 \\ 1.7 \overline{) 12.58} \\ \underline{119} \\ 68 \\ \underline{68} \\ 0 \end{array}$$

⑦  $14.413 \div 2.9$

$$\begin{array}{r} 4.97 \\ 2.9 \overline{) 14.413} \\ \underline{116} \\ 281 \\ \underline{261} \\ 203 \\ \underline{203} \\ 0 \end{array}$$

⑧  $551.25 \div 22.5$

$$\begin{array}{r} 24.5 \\ 22.5 \overline{) 551.25} \\ \underline{450} \\ 1012 \\ \underline{900} \\ 1125 \\ \underline{1125} \\ 0 \end{array}$$

⑨  $847 \div 26$

$$\begin{array}{r} 32.5 \\ 26 \overline{) 847.0} \\ \underline{78} \\ 67 \\ \underline{52} \\ 150 \\ \underline{130} \\ 20 \\ \underline{20} \\ 0 \end{array}$$

⑩  $94.05 \div 3.7$

$$\begin{array}{r} 25.4 \\ 3.7 \overline{) 94.05} \\ \underline{74} \\ 200 \\ \underline{185} \\ 155 \\ \underline{148} \\ 0.7 \end{array}$$

⑪  $230.89 \div 7.6$

$$\begin{array}{r} 30.3 \\ 7.6 \overline{) 230.89} \\ \underline{228} \\ 289 \\ \underline{228} \\ 0.61 \end{array}$$

⑫  $364.86 \div 13.6$

$$\begin{array}{r} 26.8 \\ 13.6 \overline{) 364.86} \\ \underline{272} \\ 928 \\ \underline{816} \\ 1126 \\ \underline{1088} \\ 0.38 \end{array}$$

② ゆうかさんの体重は34.4kgです。ゆうかさんのお父さんの体重は、63.64kgで、お母さんの体重は58.14kgです。次の問題に答えましょう。(各20点 40点)

① ゆうかさんの体重をもとにすると、お父さんの体重はゆうかさんの何倍になるでしょう。

(式)  $63.64 \div 34.4 = 1.85$

答え 1.85倍

② お母さんの体重をもとにすると、ゆうかさんの体重はお母さんの何倍になるでしょう。

(式)  $34.4 \div 58.14 = 0.59$

答え 約0.6倍

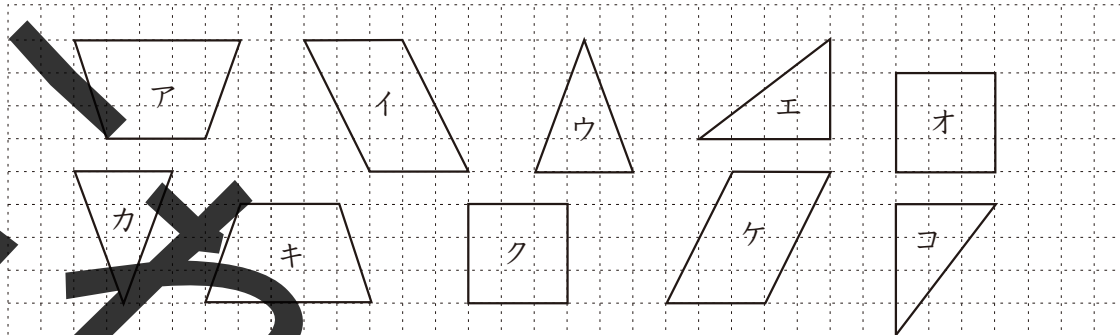
## — 解 説 —

① われる数が小数の場合は、まず小数点を右に移動して整数にします。その際、わられる数の小数点も同じだけ右に移動します。計算方法は整数のわり算の筆算と同様ですが、商の小数点はわられる数の移動した小数点にそろえてうつこと、あまりの小数点は、わられる数の移動する前の小数点にそろえてうつことに気をつけましょう。

② は、小数倍を求めるわり算の問題です。①はゆうかさんの体重をもとにしているので、お父さんの体重÷ゆうかさんの体重。②はお母さんの体重をもとにしているため、ゆうかさんの体重÷お母さんの体重になります。

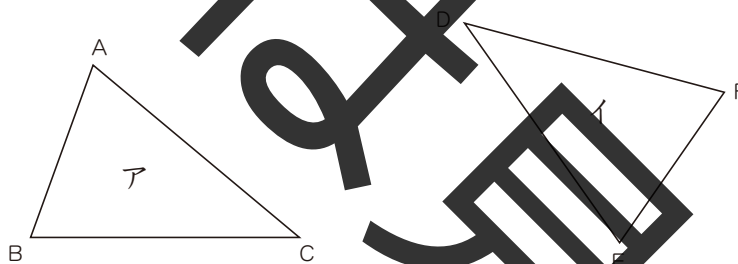
## 力だめしテスト〈合同な図形①〉

1 合同な図形を見つけて( )に記号を書きましょう。(各8点 40点)



(      と      )(      と      )(      と      )(      と      )(      と      )

2 下の2つの三角形は合同です。次の問いに答えましょう。(各10点 30点)



向きがちがっても同じ形で同じ大きさなら合同じゃぞ。



① アの三角形のそれぞれの頂点<sup>ちようてん</sup>に対応するイの頂点<sup>たいおう</sup>を答えましょう。

・頂点A (      )

・頂点B (      )

・頂点C (      )

② 下の辺に対応する辺を答えましょう。

・辺AB (      )

・辺BC (      )

・辺DE (      )

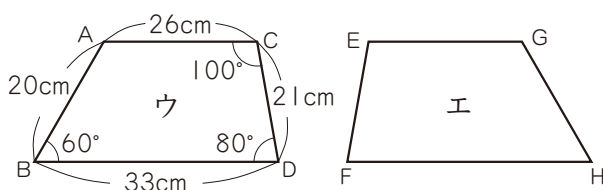
③ 下の角に対応する角を答えましょう。

・角B (      )

・角C (      )

・角E (      )

3 下のウとエの四角形は合同です。次の問題に答えましょう。(各5点 30点)



① 辺ABに対応する辺はどれでしょう。(      )

② 角Dに対応する角はどれでしょう。(      )

③ 辺EFの長さは何cmでしょう。(      )

④ 角Hの大きさは何度でしょう。(      )

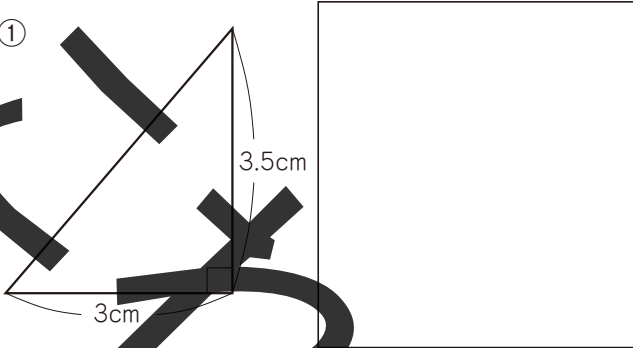
⑤ 辺FHの長さは何cmでしょう。(      )

⑥ 角Gの大きさは何度でしょう。(      )

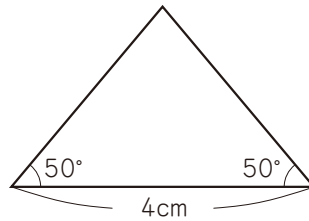
## 力だめしテスト〈合同な図形②〉

1 下の三角形と合同な三角形を、の中にかきましょう。(各15点 30点)

①

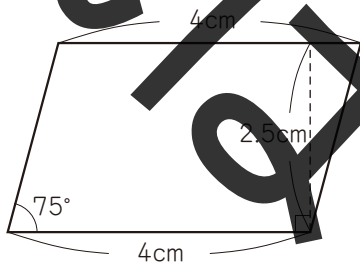


②

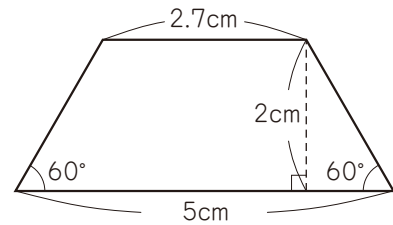


2 下の四角形と合同な四角形を、の中にかきましょう。(各15点 30点)

①



②

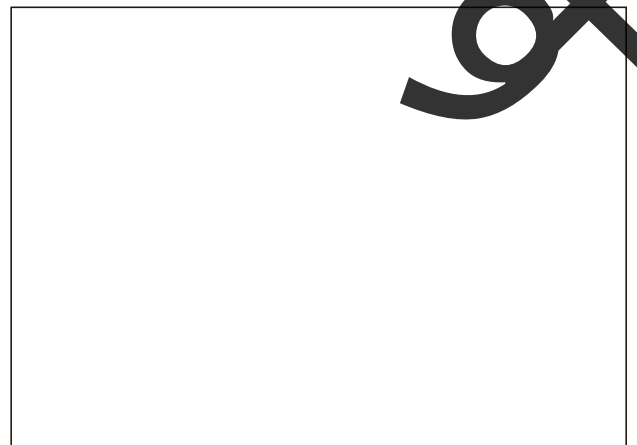


3 次の図形をかきましょう。(各20点 40点)

① 2つの辺の長さが4.5cmと6cmでその間の角が $80^\circ$ の平行四辺形



② 2つの辺の長さが4cm、5cmで、その間の角が $75^\circ$ の三角形



算

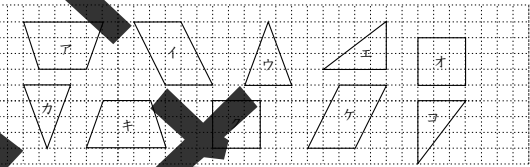
●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

5年

力だめしテスト〈合同な図形①〉

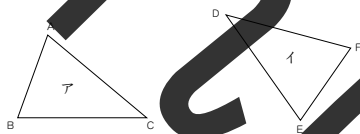
月 日  
年

① 合同な図形を見つけて( )に記号を書きましょう。(各8点 40点)



(ア と イ) (イ と ウ) (ウ と カ) (エ と コ) (オ と ク)

② 下の2つの三角形は合同です。次の問いに答えましょう。(各10点 30点)



向きがちがっても同じ形で同じ大きさなら合同じゃぞ。

① アの三角形のそれぞれの頂点にイの頂点に答えましょう。

・頂点A ( 頂点E ) ・頂点B ( 頂点F )

・頂点C ( 頂点D )

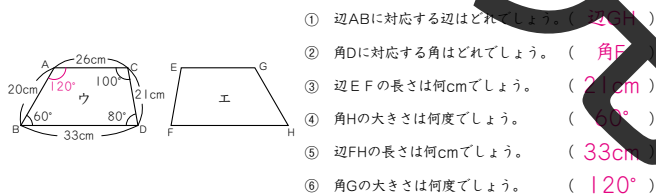
② 下の辺に対応する辺を答えましょう。

・辺AB ( 辺EF ) ・辺BC ( 辺FD ) ・辺AC ( 辺CA )

③ 下の角に対応する角を答えましょう。

・角B ( 角F ) ・角C ( 角D ) ・角A ( 角E )

③ 下のウとエの四角形は合同です。次の問題に答えましょう。(各5点 30点)



① 辺ABに対応する辺はどれでしょう。( 辺GH )

② 角Dに対応する角はどれでしょう。( 角F )

③ 辺EFの長さは何cmでしょう。( 21cm )

④ 角Hの大きさは何度でしょう。( 60° )

⑤ 辺FHの長さは何cmでしょう。( 33cm )

⑥ 角Gの大きさは何度でしょう。( 120° )

## — 解 説 —

①は合同な図形を探す問題です。裏返しにしてもぴったり合さる図形も、合同であるといいます。

②は、合同な図形の対応する頂点、辺、角を調べる問題です。アとイの三角形をよく見て、どの頂点、辺、角が対応しているかを正確に答えましょう。

③は、合同な図形の対応する辺の長さや角の大きさは等しいことを確かめる問題です。ウとエの図形は、ちょうど裏返しになっていますので、対応する辺、角がどれなのかを探しましょう。⑥は、四角形の内角の和が $360^\circ$ であることから計算で求めましょう。

算

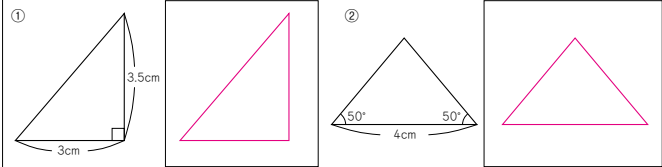
●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

5年

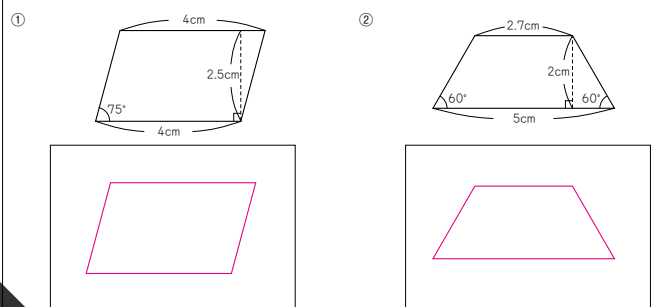
力だめしテスト〈合同な図形②〉

月 日  
年

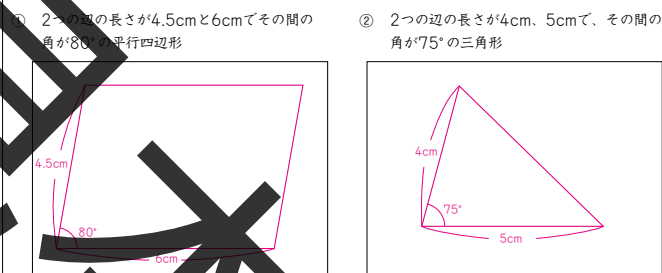
① 下の三角形と合同な三角形を、□の中にかきましょう。(各15点 30点)



② 下の四角形と合同な四角形を、□の中にかきましょう。(各15点 30点)



③ 次の図形をかきましょう。(各20点 40点)



## — 解 説 —

①と②は辺の長さを計って作図しましょう。三角形や四角形をかくときは、定規やコンパスや分度器を使います。①の三角形の①はコンパスを、②は分度器を使うと書きやすいです。②の①は、まず4cmの底辺をかき、そのはしから $75^\circ$ の線をのばし、高さが2.5cmになるところで底辺に平行な線をかいてつなげましょう。②は下底の両はしから $60^\circ$ のななめの線をひき、下底に垂直になるように2cmの位置を測って、そこに下底と平行な線をひきましょう。

## 力だめしテスト〈単位量あたりの大きさ①〉

- 1 1ふくろ360円のキャンディを買いました。中にはキャンディが18個入っています。キャンディの1個あたりのねだんはいくらでしょう。

(15点)

(式)

答え

- 2 かなさんは、1月4回のレッスンで1か月に8400円かかるピアノ教室に通っています。1回あたりのレッスン料はいくらになるでしょう。

(15点)

(式)

答え

- 3 のぞみさんは1週間で30さつの本を読みました。1日あたり、何さつの本を読んだことになるでしょう。 $\frac{1}{10}$ の位までのがい数で答えましょう。

(10点)

(式)

答え

- 4 6個入りのたまごパックは123円で、10個入りのたまごパックは198円でした。1こあたりのねだんが安いのはどちらで、いくら安いでしょう。

(20点)

6個パック (式)

10個パック (式)

(式)

答え

- 5 図のように、公園に15本のイチョウの木が植えてあります。次の問題に答えましょう。

(各20点 40点)

- ① イチョウ1本あたりの面積は、何 $\text{m}^2$ になるでしょう。

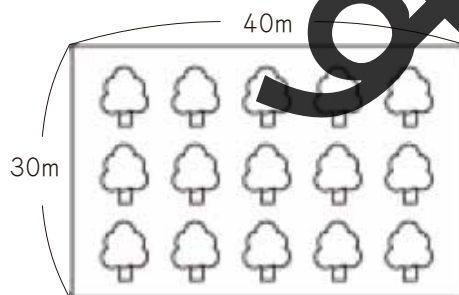
(式)

答え

- ② 公園1 $\text{m}^2$ あたりのイチョウは、何本になるでしょう。

(式)

答え





算

5 年

●5年生の実力を確認する—— まとめのテスト

月 日

てん

## 力だめしテスト〈単位量あたりの大きさ②〉

- 1 1人あたりの料金が3500円のレストランがあります。4人で行くと、1人分が無料になるサービスをしています。4人で行き、合計額を全員でしはらうと、1人あたりの料金はいくらになるでしょう。

(20点)

(式)

答え

- 2 Aの店では、プリンが16個で2400円です。Bの店では、8個で1240円です。プリン1個あたりで考えると、どちらの店がどれだけ高いでしょう。

(20点)

Aの店 (式)

Bの店 (式)

(式)

答え

- 3 12Lのガソリンで180km走る自動車Aと、24Lで336km走る自動車Bがあります。ガソリンの使用量のわりに長く走るのは、どちらでしょう。

(20点)

自動車A (式)

自動車B (式)

答え

- 4 花火大会があり、Aの会場では1時間に310発、Bの会場では、1時間半に420発、Cの会場では、2時間15分で675発打ち上げました。1時間あたりの花火の数で考えた場合、多く打ち上げた会場の順番にならべましょう。

(20点)

Bの会場 (式)

Cの会場 (式)

答え

- 5 4人でお金を出し合って、ある金額のプレゼントを買うことにしました。1人あたりの出費は350円だったのですが、あとでお金を出し合う人が1人増えました。1人あたりの出費はいくらになったでしょう。

(20点)

(式)

答え

算  
5 年

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

力だめしテスト〈単位量あたりの大きさ①〉

月 日  
年

- ① 1ふくろ360円のキャンディを買いました。中にはキャンディが18個入っています。キャンディの1個あたりの値段はいくらでしょう。(15点)

$$(式) 360 \div 18 = 20$$

答え 20円

- ② かなさんは、月4回のレッスンで1か月に8400円かかるピアノ教室に通っています。1回あたりのレッスン料はいくらになるでしょう。(15点)

$$(式) 8400 \div 4 = 2100$$

答え 2100円

- ③ のぞみさんは1週間で30さつの本を読みました。1日あたり、何さつの本を読んだことになるでしょう。1か月の日までのかい数で答えましょう。(10点)

$$(式) 30 \div 7 = 4.28 \dots$$

答え 約4.3さつ

- ④ 6個入りのたまごパックは123円で、10個入りのたまごパックは198円でした。1こあたりのねだんが安いのはどちらで、いくら安いでしょう。(20点)

$$6 \text{ 個パック } (式) 123 \div 6 = 20.5$$

$$10 \text{ 個パック } (式) 198 \div 10 = 19.8$$

$$(式) 20.5 - 19.8 = 0.7$$

答え 10個入りで0.7円安い

- ⑤ 図のように、公園に15本のイチョウの木が植えてあります。次の問題に答えましょう。(20点)

- ① イチョウ1本あたりの面積は、何㎡になるでしょう。

$$(式) 30 \times 40 = 1200$$

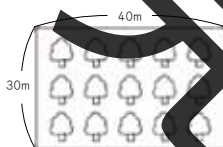
$$1200 \div 15 = 80$$

答え 80㎡

- ② 公園1㎡あたりのイチョウは、何本になるでしょう。

$$(式) 15 \div 1200 = 0.0125$$

答え 0.0125本



## — 解 説 —

単位量あたりの大きさは、ある量が1つのきまった量に対して、どれだけの量にあたるかを表したものです。ですので、「～あたり」と指定された単位の量でみると、単位量当たりの数を求めることができます。例えば①なら、360円のふくろにキャンディが18個入っていて、1個あたりの値段を求めたいので、式は  $360 \div 18 = 20$  (円) となります。④は単位量あたりの数を比べる問題で、⑤はもとにする単位が異なる問題です。指示された単位をもとにした式を作れるようになります。

算  
5 年

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

力だめしテスト〈単位量あたりの大きさ②〉

月 日  
年

- ① 1人あたりの料金が3500円のレストランがあります。4人で行くと、1人分が無料になるサービスをしています。4人で行き、合計額を全員でしはらうと、1人あたりの料金はいくらになるでしょう。(20点)

$$(式) 3500 \times 3 = 10500$$

$$10500 \div 4 = 2625$$

答え 2625円

- ② Aの店では、プリンが16個で2400円です。Bの店では、8個で1240円です。プリン1個あたりで考えると、どちらの店がどれだけ高いでしょう。(20点)

$$A \text{ の店 } (式) 2400 \div 16 = 150$$

$$B \text{ の店 } (式) 1240 \div 8 = 155$$

$$(式) 155 - 150 = 5$$

答え Bの店が5円高い

- ③ 12Lのガソリンで180km走る自動車Aと、24Lで336km走る自動車Bがあります。ガソリンの使用量のわりに長く走るのは、どちらでしょう。(20点)

$$\text{自動車A } (式) 180 \div 12 = 15 (1 \text{ Lあたり } 15 \text{ km})$$

$$\text{自動車B } (式) 336 \div 24 = 14 (1 \text{ Lあたり } 14 \text{ km})$$

答え 自動車A

- ④ 花火大会があり、Aの会場では1時間に310発、Bの会場では、1時間半に420発、Cの会場では、2時間15分で675発打ち上げました。1時間あたりの花火の数で考えた場合、多く打ち上げた会場の順番にならべましょう。(20点)

$$B \text{ の会場 } (式) 420 \div 1.5 = 280$$

$$C \text{ の会場 } (式) 675 \div 2.25 = 300$$

答え A → C → B

- ⑤ 4人でお金を出し合って、ある金額のプレゼントを買うことにしました。1人あたりの出費は350円だったのですが、あとでお金を出し合う人が1人増えました。1人あたりの出費はいくらになったでしょう。(20点)

$$(式) 350 \times 4 = 1400$$

$$1400 \div 5 = 280$$

答え 280円

## — 解 説 —

単位量あたりの大きさを求める問題の応用です。④の問題は、各会場で、1時間あたりに何発の花火が打ち上げられるかを求めましょう。Bの1時間30分のうち、30分を時間に直すと  $30 \div 60 = 0.5$  なので、1.5時間になります。Cも15分を時間に直すと、 $15 \div 60 = 0.25$  なので2.25時間ということになります。この時間でそれぞれの花火の数をわりましょう。⑤は最初にプレゼントの代金がいくらだったのかを求めてから5(人)でわりましょう。

Ⅰ 下の表は、中国地方の県庁所在地の面積と人口を表しています。

① それぞれの市の人口密度を求めましょう。答えは四捨五入して上から2けたのがい数で答えましょう。

(各10点 50点)

	面積(km <sup>2</sup> )	人口(万人)
鳥取市	766	20
松江市	532	20
岡山市	790	68
広島市	905	115
山口市	730	19

(出典:きつずジャポニカ)

鳥取市・・・  ÷  およそ  (人/km<sup>2</sup>)

松江市・・・  ÷  およそ  (人/km<sup>2</sup>)

岡山市・・・  ÷  およそ  (人/km<sup>2</sup>)

広島市・・・  ÷  およそ  (人/km<sup>2</sup>)

山口市・・・  ÷  およそ  (人/km<sup>2</sup>)

② 人口密度を比べて、面積のわりに人口が多い市を、順に3つ書きましょう。(20点)

答え

② A町の人口は8170人で、人口密度は86人/km<sup>2</sup>です。B町の面積は90km<sup>2</sup>で、人口密度は138人/km<sup>2</sup>です。この2つの町は、合ぺいする予定です。次の問題に答えましょう。(各10点 30点)

① A町の面積を答えましょう。

(式)

答え

② B町の人口を答えましょう。

(式)

答え

③ 合ぺいた町の人口密度を求めましょう。四捨五入して、整数で答えましょう。

(式)

答え

1 下の表はある3つの町の面積と人口を表しています。

	面積(km <sup>2</sup> )	人口(人)
A 町	128	15000
B 町	99	9800
C 町	228	22000

- ① それぞれ1km<sup>2</sup>あたり平均何人住んでいますか。答えは四捨五入して、上から2けたのがい数で答えましょう。(各5点 15点)

A 町 (式)

答え

B 町 (式)

答え

C 町 (式)

答え

- ② 1km<sup>2</sup>あたりに一番人が多く住んでいるのは、どの町でしょう。(15点)

答え

- 2 下の表は、各都道府県のおよその人口と面積、人口密度を表しています。空白の部分をうめて、表を完成させましょう。答えは四捨五入して、上から3けたのがい数で求めましょう。(各10点 70点)

	面積(km <sup>2</sup> )	人口(万人)	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
北海道	83400		66
秋田県		108	93
新潟県	12600	237	
東京都	2170		6000
大阪府		884	4700
広島県	8480	286	
福岡県	4980		1000

北海道 (式)

答え

秋田県 (式)

答え

新潟県 (式)

答え

東京都 (式)

答え

大阪府 (式)

答え

広島県 (式)

答え

福岡県 (式)

答え

算  
5 年●5年生の実力を確認する——まとめのテスト  
力だめしテスト〈人口密度①〉月 日  
てん

① 下の表は、中国地方の県庁所在地の面積と人口を表しています。

① それぞれの市の人口密度を求めましょう。答えは四捨五入して上から2けたのがい数で答えましょう。

(各10点 50点)

	面積(km <sup>2</sup> )	人口(万人)
鳥取市	766	20
松江市	532	20
岡山市	790	68
広島市	905	115
山口市	730	19

(出典:きっずジャゴニカ)

鳥取市・・・ $\frac{200000}{766}$  およそ  $\frac{260}{1}$  (人/km<sup>2</sup>)松江市・・・ $\frac{200000}{532}$  およそ  $\frac{380}{1}$  (人/km<sup>2</sup>)岡山市・・・ $\frac{680000}{790}$  およそ  $\frac{860}{1}$  (人/km<sup>2</sup>)広島市・・・ $\frac{1150000}{905}$  およそ  $\frac{1300}{1}$  (人/km<sup>2</sup>)山口市・・・ $\frac{190000}{730}$  およそ  $\frac{260}{1}$  (人/km<sup>2</sup>)

② 人口密度を比べて、面積のわりに人口が多い市を、順に3つ書きましょう。

答え 広島市 → 岡山市 → 松江市

② A町の人口は8170人で、人口密度は86人/km<sup>2</sup>です。B町の面積は90km<sup>2</sup>で、人口密度は138人/km<sup>2</sup>です。この2つの町は、合べいする予定です。次の問題に答えましょう。

(各10点 30点)

① A町の面積を答えましょう。

(式)  $8170 \div 86 = 95$ 答え 95km<sup>2</sup>

② B町の人口を答えましょう。

(式)  $90 \times 138 = 12420$ 

答え 12420人

③ 合べいた町の人口密度を求めましょう。四捨五入して、整数で答えましょう。

(式)  $(8170 + 12420) \div (90 + 95) = 111.2...$ 答え およそ111人/km<sup>2</sup>

## — 解 説 —

①は、都市の人口と面積のデータをもとに、人口密度を求める練習です。人口密度は、人口÷面積(km<sup>2</sup>)によって求めることができます。また上から2けたのがい数を求める際には、上から3けた目の数を四捨五入することも、ここで確認しておきましょう。②の③の、合べいた町の人口密度を求める問題は、2つの町の人口の合計を、2つの町の面積の合計でわり算して求めましょう。答えが整数で求めるがい数は、 $\frac{1}{10}$ の位まで計算して四捨五入します。

算  
5 年●5年生の実力を確認する——まとめのテスト  
力だめしテスト〈人口密度②〉月 日  
てん

① 下の表はある3つの町の面積と人口を表しています。

	面積(km <sup>2</sup> )	人口(人)
A町	128	15000
B町	99	9800
C町	228	22000

① それぞれ1km<sup>2</sup>あたり平均何人住んでいますか。答えは四捨五入して、上から2けたのがい数で答えましょう。

(各5点 15点)

A町 (式)  $15000 \div 128 = \text{約}117...$ 答え 約120人/km<sup>2</sup>B町 (式)  $9800 \div 99 = \text{約}98.9...$ 答え 約99人/km<sup>2</sup>C町 (式)  $22000 \div 228 = \text{約}96.4...$ 答え 約96人/km<sup>2</sup>② 1km<sup>2</sup>あたりに一番人が多く住んでいるのは、どの町でしょう。

答え A町

② 下の表は、各都道府県のおよその人口と面積、人口密度を表しています。空白の部分をうめて、表を完成させましょう。答えは四捨五入して、上から3けたのがい数で求めましょう。

(各10点 70点)

	面積(km <sup>2</sup> )	人口(万人)	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
北海道	83400	550	66
秋田県	11600	108	93
新潟県	12600	237	188
東京都	2170	1300	6000
大阪府	1880	884	4700
広島県	8480	286	337
福岡県	4980	498	1000

北海道 (式)  $83400 \times 66 = 5504400$ 

答え 約5500000人

秋田県 (式)  $1080000 \div 93 = 11612...$ 答え 約11600km<sup>2</sup>新潟県 (式)  $2370000 \div 12600 = 188.0...$ 答え 約188人/km<sup>2</sup>東京都 (式)  $2170 \times 6000 = 13020000$ 

答え 約13000000人

大阪府 (式)  $884000 \div 4700 = 1880...$ 答え 約1880km<sup>2</sup>広島県 (式)  $2860000 \div 8480 = 337.2...$ 答え 約337人/km<sup>2</sup>福岡県 (式)  $4980 \times 1000 = 4980000$ 

答え 4980000人

## — 解 説 —

①は1km<sup>2</sup>あたりに住んでいる人口を求める問題です。上から2けたのがい数を求められているので、3けた目まで計算して、3けた目を四捨五入しましょう。②の答えは、一番人口密度が高いA町ということになります。

②は日本の7つの都市の人口密度についての表をうめる問題です。けたが大きくなりますが、こちらは上から4けた目で四捨五入をして求めましょう。

## 力だめしテスト〈分数と小数、整数の関係①〉

1 次のわり算の商を分数と小数で求めましょう。(各4点 16点)

- ①  $9 \div 10$  分数( ) 小数( )      ②  $7 \div 5$  分数( ) 小数( )  
 ③  $8 \div 5$  分数( ) 小数( )      ④  $18 \div 10$  分数( ) 小数( )

2 次の分数を小数になおしましょう。(各4点 32点)

- ①  $\frac{2}{10} =$       ②  $\frac{4}{5} =$   
 ③  $\frac{9}{6} =$       ④  $\frac{7}{2} =$   
 ⑤  $\frac{3}{4} =$       ⑥  $\frac{9}{12} =$   
 ⑦  $\frac{6}{4} =$       ⑧  $\frac{1}{5} =$

3 次の分数のうち、小数で正確に表せるものはどれでしょう。正確に表せるものには( )に小数を、表せないものには×を書きましょう。(各3点 24点)

- ①  $\frac{6}{9}$  ( )      ②  $\frac{5}{9}$  ( )      ③  $\frac{14}{5}$  ( )  
 ④  $3\frac{3}{4}$  ( )      ⑤  $\frac{8}{3}$  ( )      ⑥  $2\frac{1}{3}$  ( )  
 ⑦  $\frac{1}{8}$  ( )      ⑧  $\frac{7}{5}$  ( )

4 次の分数を、四捨五入して $\frac{1}{100}$ の位までの小数で表しましょう。(各4点 28点)

- ①  $\frac{7}{6} =$       ②  $\frac{15}{11} =$   
 ③  $\frac{17}{19} =$       ④  $\frac{14}{36} =$   
 ⑤  $\frac{26}{88} =$       ⑥  $1\frac{11}{15} =$   
 ⑦  $2\frac{16}{18} =$

## 力だめしテスト〈分数と小数、整数の関係②〉

1 次的小数を分数になおしましょう。(各3点 24点)

①  $0.7 =$

②  $0.3 =$

③  $1.3 =$

④  $2.9 =$

⑤  $3.3 =$

⑥  $4.1 =$

⑦  $8.7 =$

⑧  $16.3 =$

2 次的小数を分数になおしましょう。(各3点 24点)

①  $0.01 =$

②  $0.03 =$

③  $0.71 =$

④  $0.53 =$

⑤  $1.29 =$

⑥  $2.47 =$

⑦  $25.63 =$

⑧  $38.27 =$

3 次の分数を整数になおしましょう。(各3点 24点)

①  $\frac{2}{1} =$

②  $\frac{14}{1} =$

③  $\frac{9}{3} =$

④  $\frac{15}{3} =$

⑤  $\frac{24}{6} =$

⑥  $\frac{36}{6} =$

⑦  $\frac{42}{6} =$

⑧  $\frac{90}{10} =$

4 次の整数を、1を分母とする分数になおしましょう。(各2点 8点)

①  $7 =$

②  $5 =$

③  $48 =$

④  $72 =$

5  にあてはまる等号、不等号を書きましょう。(各2点 20点)

①  $6.6 \square \frac{66}{10}$

②  $8.7 \square \frac{28}{4}$

③  $\frac{8}{10} \square 1.08$

④  $1.03 \square \frac{13}{100}$

⑤  $\frac{1}{2} \square 0.2$

⑥  $\frac{3}{4} \square 0.73$

⑦  $0.13 \square 1\frac{3}{10}$

⑧  $\frac{35}{7} \square \frac{25}{5}$

⑨  $\frac{25}{100} \square \frac{1}{5}$

⑩  $5\frac{3}{4} \square 5.75$



算

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

5 年

力だめしテスト〈分数と小数、整数の関係①〉

月 日  
年

① 次のわり算の商を分数と小数で求めましょう。(各4点 16点)

- ①  $9 \div 10$  分数  $\left(\frac{9}{10}\right)$  小数  $(0.9)$     ②  $7 \div 5$  分数  $\left(1\frac{2}{5}\right)$  小数  $(1.4)$   
 ③  $8 \div 5$  分数  $\left(1\frac{3}{5}\right)$  小数  $(1.6)$     ④  $18 \div 10$  分数  $\left(1\frac{4}{5}\right)$  小数  $(1.8)$

② 次の分数を小数になおしましょう。(各4点 32点)

- ①  $\frac{9}{10} = 9 \div 10 = 0.9$     ②  $\frac{4}{5} = 4 \div 5 = 0.8$   
 ③  $\frac{9}{6} = 9 \div 6 = 1.5$     ④  $\frac{7}{2} = 7 \div 2 = 3.5$   
 ⑤  $\frac{3}{4} = 3 \div 4 = 0.75$     ⑥  $\frac{9}{12} = 9 \div 12 = 0.75$   
 ⑦  $\frac{6}{4} = 6 \div 4 = 1.5$     ⑧  $\frac{1}{5} = 1 \div 5 = 0.2$

③ 次の分数のうち、小数で正確に表せるものはどれでしょう。正確に表せるものには( )に小数を、表せないものには×を書きましょう。(各3点 24点)

- ①  $\frac{6}{9}$  ( × )    ②  $\frac{5}{9}$  ( × )    ③  $\frac{14}{5}$  (  $2.8$  )  
 ④  $3\frac{3}{4}$  (  $3.75$  )    ⑤  $\frac{8}{3}$  ( × )    ⑥  $2\frac{1}{3}$  ( × )  
 ⑦  $\frac{1}{8}$  (  $0.125$  )    ⑧  $\frac{7}{5}$  (  $1.4$  )

④ 次の分数を、四捨五入して $\frac{1}{100}$ の位までの小数で表しましょう。(各4点 28点)

- ①  $\frac{7}{6} = 7 \div 6 = 1.166\cdots \nearrow$  約  $1.17$     ②  $\frac{15}{11} = 15 \div 11 = 1.363\cdots \nearrow$  約  $1.36$   
 ③  $\frac{17}{19} = 17 \div 19 = 0.894\cdots \nearrow$  約  $0.89$     ④  $\frac{14}{36} = 14 \div 36 = 0.388\cdots \nearrow$  約  $0.39$   
 ⑤  $\frac{26}{88} = 26 \div 88 = 0.295\cdots \nearrow$  約  $0.30$     ⑥  $1\frac{11}{15} = 26 \div 15 = 1.733\cdots \nearrow$  約  $1.73$   
 ⑦  $2\frac{16}{18} = \frac{52}{9} = 52 \div 9 = 5.777\cdots \nearrow$  約  $5.78$

## — 解 説 —

分数と小数、整数の関係が理解できているかのテストです。①はわり算を分数と小数に直す問題です。分数にするには、わられる数を分子に、わる数を分母にします。小数にするには、そのままわり算をして求めます。

②も同じく、分子÷分母の計算をして、小数に直しましょう。

③は、分子÷分母をして答えがわりきれない分数が、小数で正確に表すことができない分数です。

④は小数で正確に表せない分数を、小数のがい数で表します。 $\frac{1}{100}$ の位までのがい数で表すので、 $\frac{1}{1000}$ の位まで求めて四捨五入しましょう。

算

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

5 年

力だめしテスト〈分数と小数、整数の関係②〉

月 日  
年

① 次の小数を分数になおしましょう。(各3点 24点)

- ①  $0.7 = \frac{7}{10}$     ②  $0.3 = \frac{3}{10}$     ③  $1.3 = 1\frac{3}{10}$   
 ④  $2.9 = 2\frac{9}{10}$     ⑤  $3.3 = 3\frac{3}{10}$     ⑥  $4.1 = 4\frac{1}{10}$   
 ⑦  $8.7 = 8\frac{7}{10}$     ⑧  $16.3 = 16\frac{3}{10}$

② 次の小数を分数になおしましょう。(各3点 24点)

- ①  $0.01 = \frac{1}{100}$     ②  $0.03 = \frac{3}{100}$     ③  $0.71 = \frac{71}{100}$     ④  $0.53 = \frac{53}{100}$   
 ⑤  $1.29 = 1\frac{29}{100}$     ⑥  $2.47 = 2\frac{47}{100}$   
 ⑦  $25.63 = 25\frac{63}{100}$     ⑧  $38.27 = 38\frac{27}{100}$

③ 次の分数を整数になおしましょう。(各3点 24点)

- ①  $\frac{2}{1} = 2$     ②  $\frac{14}{1} = 14$     ③  $\frac{9}{3} = 3$     ④  $\frac{15}{3} = 5$   
 ⑤  $\frac{24}{6} = 4$     ⑥  $\frac{36}{6} = 6$     ⑦  $\frac{42}{6} = 7$     ⑧  $\frac{90}{10} = 9$

④ 次の整数を、1を分母とする分数になおしましょう。(各2点 8点)

- ①  $7 = \frac{7}{1}$     ②  $5 = \frac{5}{1}$     ③  $48 = \frac{48}{1}$     ④  $72 = \frac{72}{1}$

⑤ □にあてはまる等号、不等号を書きましょう。(各2点 20点)

- ①  $6.6 \square \frac{66}{10}$     ②  $8.7 \square \frac{28}{4}$     ③  $\frac{8}{10} \square 1.08$     ④  $1.03 \square \frac{13}{100}$   
 ⑤  $\frac{1}{2} \square 0.2$     ⑥  $\frac{3}{4} \square 0.73$     ⑦  $0.13 \square 1\frac{3}{10}$     ⑧  $\frac{35}{7} \square \frac{25}{5}$   
 ⑨  $\frac{25}{100} \square \frac{1}{4}$     ⑩  $5\frac{3}{4} \square 5.75$

## — 解 説 —

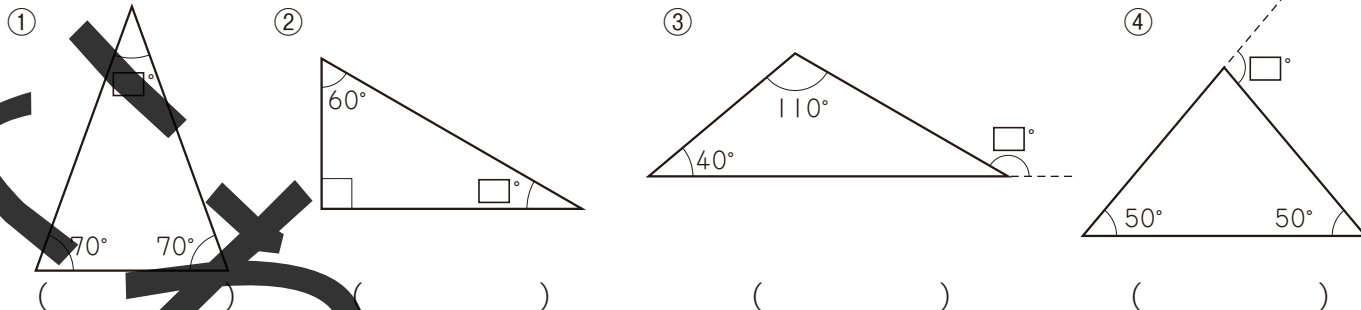
①は $\frac{1}{10}$ の位の小数ばかりなので、 $0.1 = \frac{1}{10}$ であることを利用して、整数部分はそのまま整数に、小数部分は分母を10にした分数に直しましょう。②は $\frac{1}{100}$ の位の小数なので、分母を100にします。

③の問題では、分母が1でなくても分子÷分母がわりきれれば整数になります。

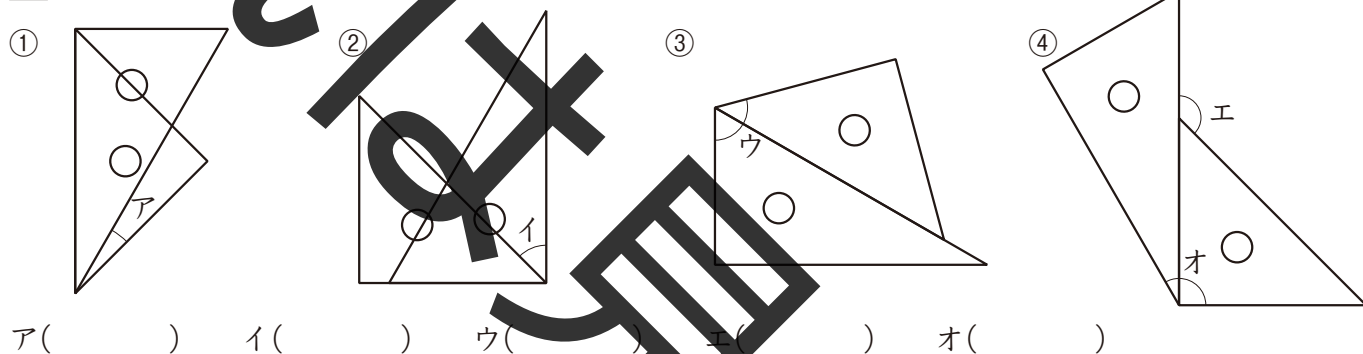
④は分母を1にして、整数の数をそのまま分子にしましょう。⑤の問題は、小数を分数に直して分数どうしを比べる方法と、分数を小数に直して比べる方法とありますが、小数にそろえた方が分かりやすいでしょう。

## 力だめしテスト〈図形の角①〉

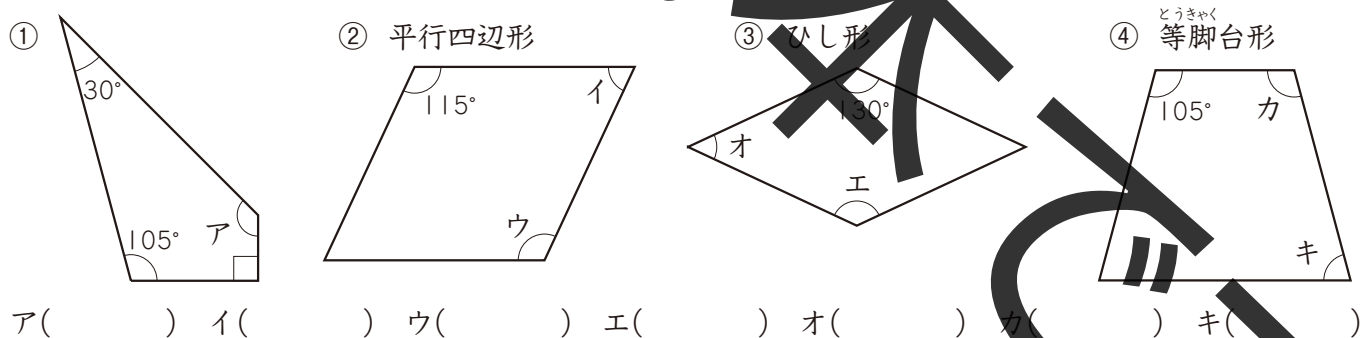
1 □ にあてはまる角度を計算で求めましょう。(各4点 16点)



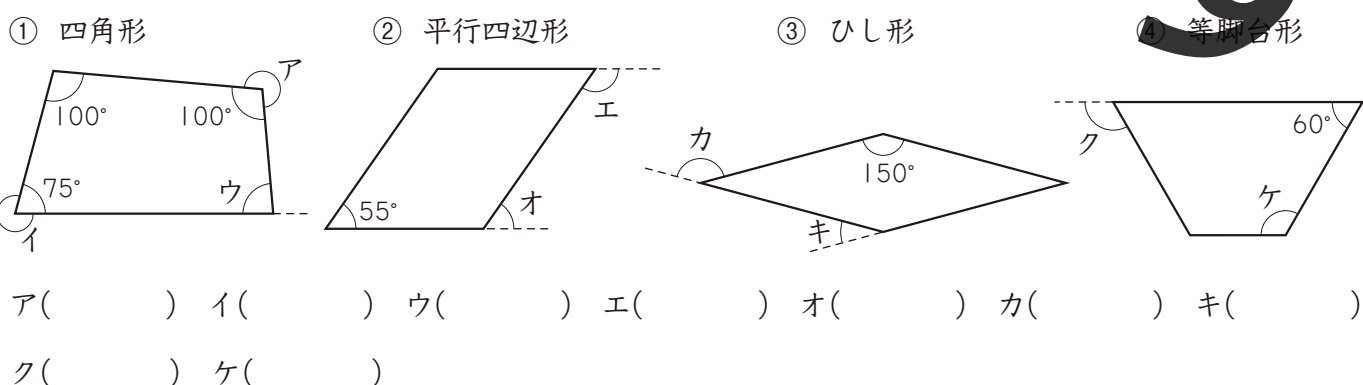
2 下の三角定規のつくる角ア～オの大きさを求めましょう。(各4点 20点)



3 ア～キの角度を求めましょう。(各4点 28点)

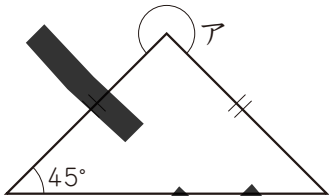


4 ア～ケの角度を求めましょう。(各4点 36点)

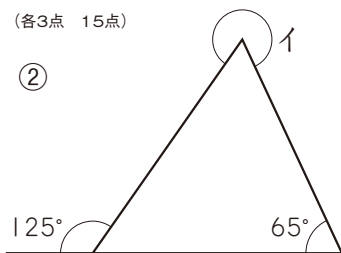


1 ア～オの角度を求めましょう。(各3点 15点)

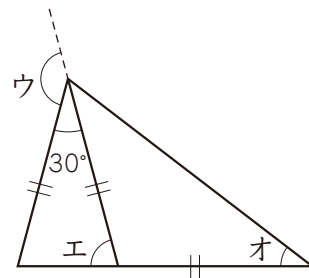
①



②



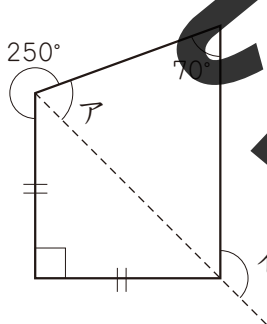
③



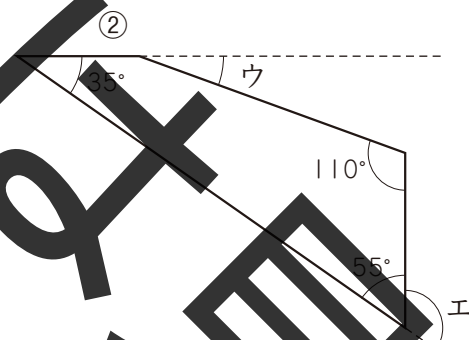
ア( ) イ( ) ウ( ) エ( ) オ( )

2 ア～キの角度を求めましょう。(各4点 28点)

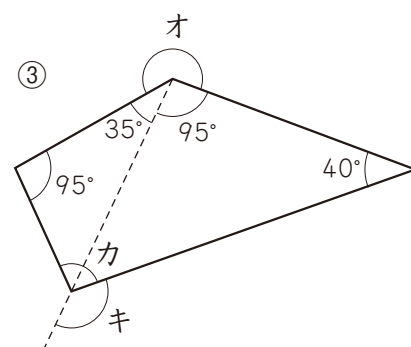
①



②



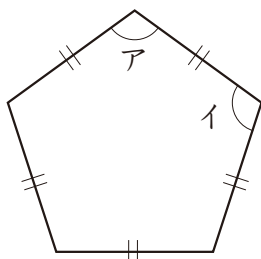
③



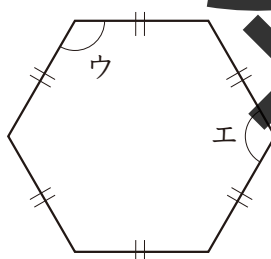
ア( ) イ( ) ウ( ) エ( ) オ( ) カ( ) キ( )

3 ア～カの角度を求めましょう。(1問9点 27点)

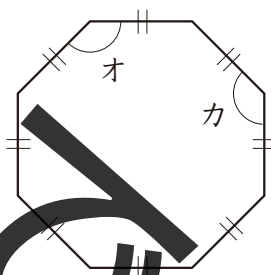
①



②



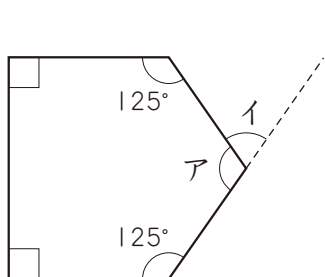
③



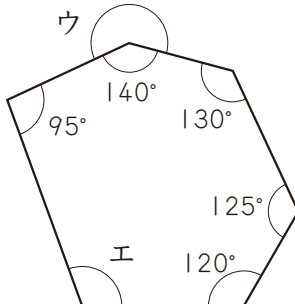
ア( )  
イ( )  
ウ( )  
エ( )  
オ( )  
カ( )

4 下のア～カの角度を求めましょう。(各5点 30点)

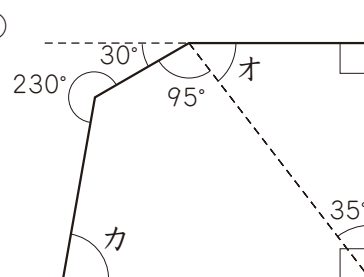
①



②



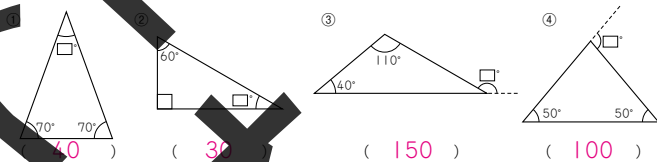
③



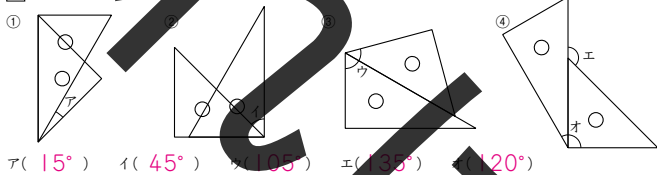
ア( ) イ( ) ウ( ) エ( ) オ( ) カ( )

算  
5年●5年生の実力を確認する——まどめのテスト  
力だめしテスト〈図形の角①〉月 日  
てん

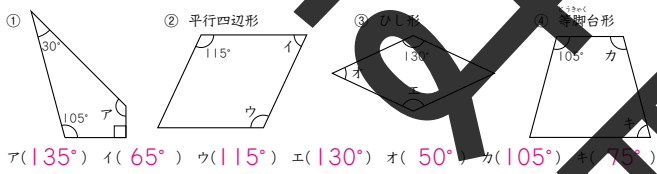
① □にあてはまる角度を計算して求めましょう。(各4点 16点)



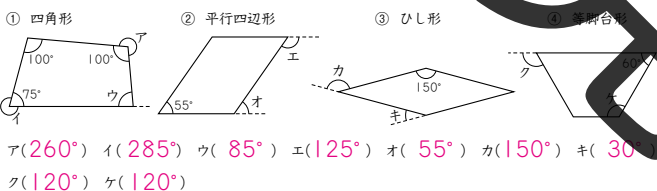
② 下の三角定規のつくる角ア～オの大きさを求めましょう。(各4点 20点)



③ ア～キの角度を求めましょう。(各4点 28点)



④ ア～ケの角度を求めましょう。(各4点 36点)



## — 解 説 —

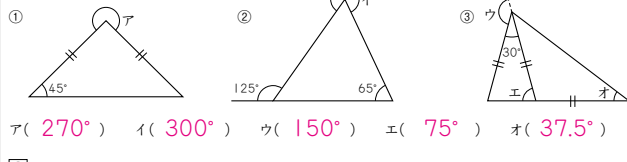
図形の角度を求める問題です。①は三角形の内角の和が $180^\circ$ ということを利用して角度を求めましょう。

②は三角定規を組み合わせたときにできる角度を求めます。三角定規は $45^\circ$ 、 $45^\circ$ 、 $90^\circ$ の直角二等辺三角形と $30^\circ$ 、 $60^\circ$ 、 $90^\circ$ の直角三角形の、2種類があります。この角度はしっかり覚えておきましょう。

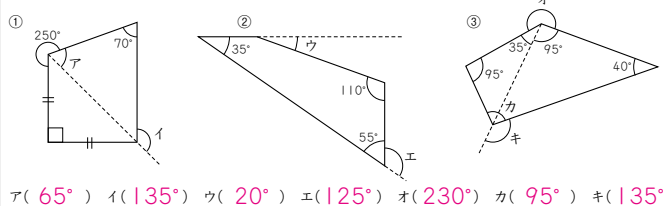
③と④は、四角形の内角の和が $360^\circ$ 、直線が $180^\circ$ ということを利用して、角度を求めましょう。平行四辺形とひし形の向かい合う角度は等しく、等脚台形は、底辺の両はしの角が等しいという性質も利用します。

算  
5年●5年生の実力を確認する——まどめのテスト  
力だめしテスト〈図形の角②〉月 日  
てん

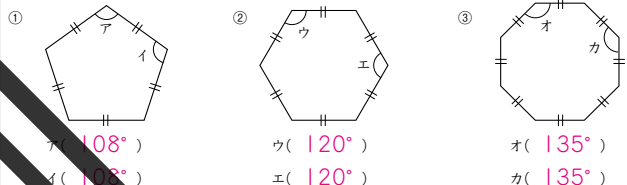
① ア～オの角度を求めましょう。(各3点 15点)



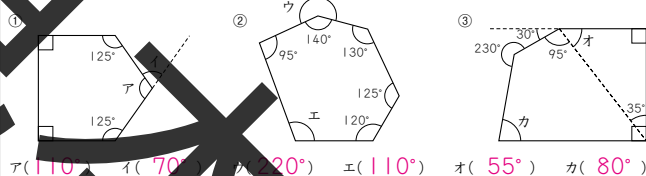
② ア～キの角度を求めましょう。(各4点 28点)



③ ア～カの角度を求めましょう。(1問9点 27点)



④ 下のア～カの角度を求めましょう。(各6点 30点)



## — 解 説 —

①と②は三角形と四角形の角度を求める発展問題です。線をひきながら、わかるところから角度を求めていきましょう。

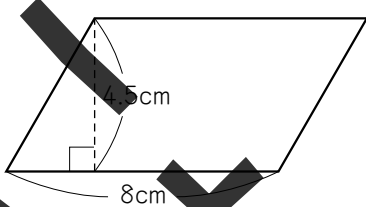
③は、正五角形、正六角形、正八角形の角度を求める問題です。 $n$ 角形の内角の和は $(n-2) \times 180$ で求めることができます。つまり、五角形は $540^\circ$ 、六角形は $720^\circ$ 、八角形は $1080^\circ$ になるので、それぞれの内角の和を角の数でわれば、1つ分の角度が求められます。

④は、四角形、五角形、六角形の内角の和を利用して角度を求めましょう。

## 力だめしテスト〈いろいろな四角形の面積①〉

1 次の平行四辺形の面積を求めましょう。(各10点 30点)

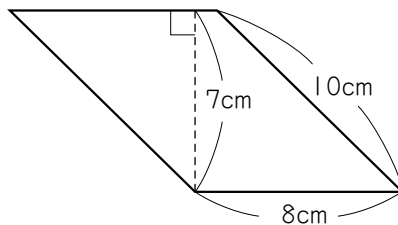
①



(式)

答え

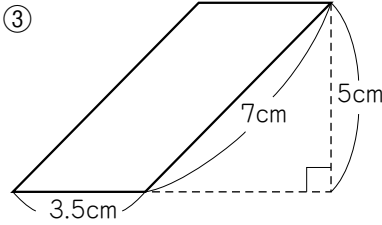
②



(式)

答え

③

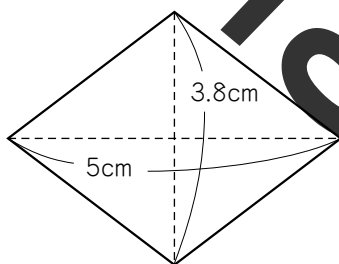


(式)

答え

2 次のひし形の面積は何 $\text{cm}^2$ でしょう。(各10点 30点)

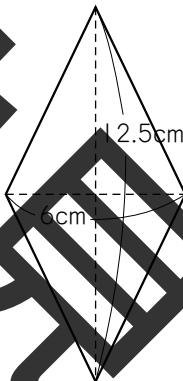
①



(式)

答え

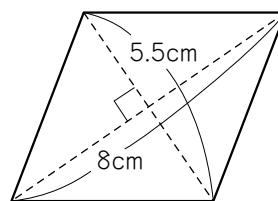
②



(式)

答え

③

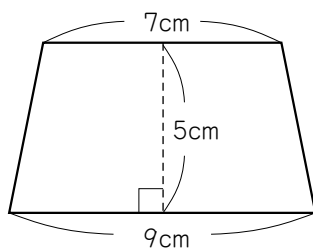


(式)

答え

3 次の台形の面積を求めましょう。(各10点 30点)

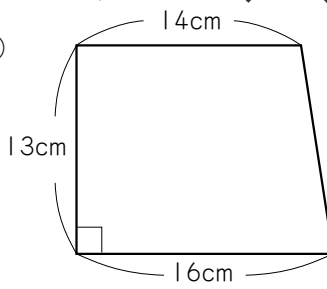
①



(式)

答え

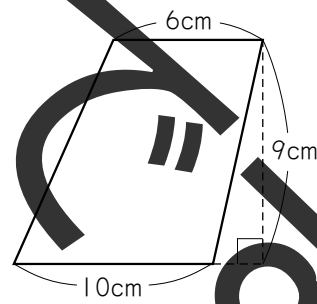
②



(式)

答え

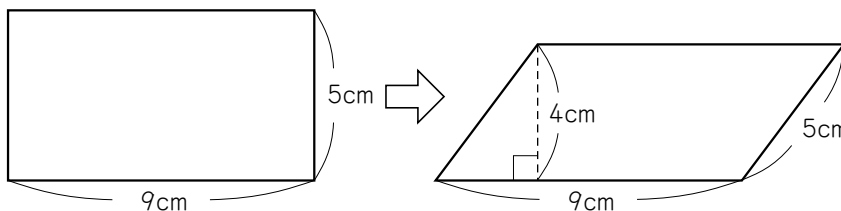
③



(式)

答え

4 長方形のはりがねのわくを図のように変えて平行四辺形にしました。面積はどれだけ少なくなったでしょう。(10点)



答え

算

5 年

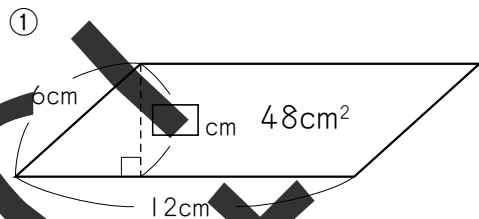
●5年生の実力を確認する—— まとめのテスト

月 日

てん

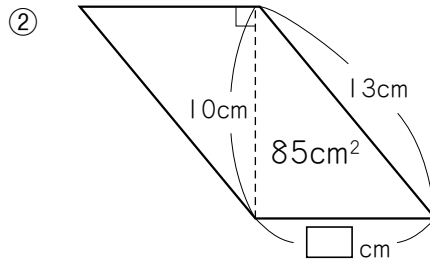
## 力だめしテスト〈いろいろな四角形の面積②〉

1 次の平行四辺形の□の長さは、何cmでしょう。(各10点 30点)



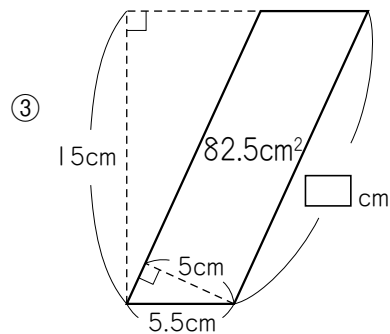
(式)

答え



(式)

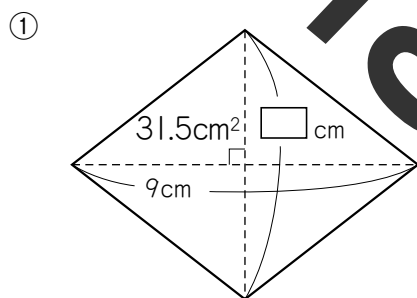
答え



(式)

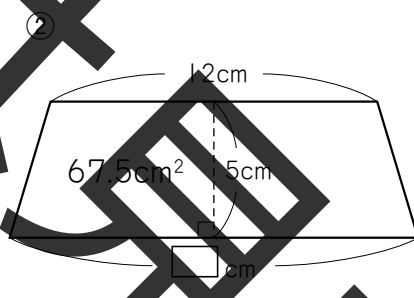
答え

2 次の図形の□の長さは何cmでしょう。(各10点 30点)



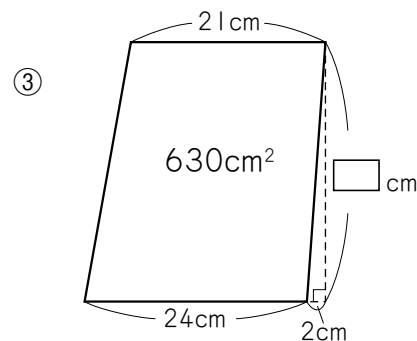
(式)

答え



(式)

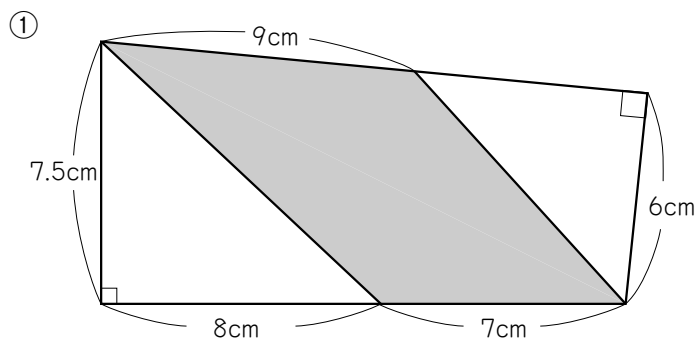
答え



(式)

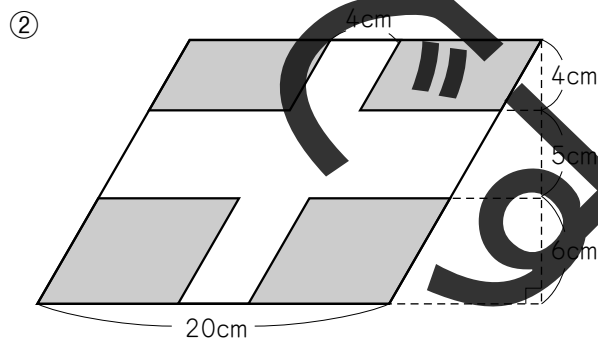
答え

3 次の図形の色がぬられた部分の面積を求めましょう。(各20点 40点)



(式)

答え



(式)

答え

算

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

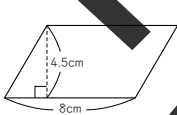
5年

力だめしテスト〈いろいろな四角形の面積①〉

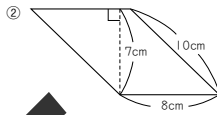
月 日

年

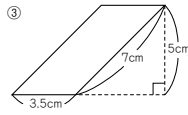
① 次の平行四辺形の面積を求めましょう。(各10点 30点)



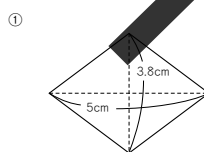
$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & 8 \times 4.5 = 36 \\ \text{答え} \quad & 36\text{cm}^2 \end{aligned}$$



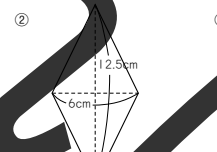
$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & 8 \times 7 = 56 \\ \text{答え} \quad & 56\text{cm}^2 \end{aligned}$$



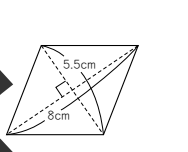
$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & 3.5 \times 5 = 17.5 \\ \text{答え} \quad & 17.5\text{cm}^2 \end{aligned}$$

② 次のひし形の面積は何cm<sup>2</sup>でしょう。(各10点 30点)

$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & 3.8 \times 5 \div 2 = 9.5 \\ \text{答え} \quad & 9.5\text{cm}^2 \end{aligned}$$

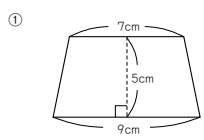


$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & 12.5 \times 6 \div 2 = 37.5 \\ \text{答え} \quad & 37.5\text{cm}^2 \end{aligned}$$

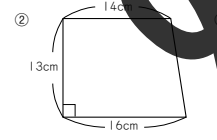


$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & 5.5 \times 8 \div 2 = 22 \\ \text{答え} \quad & 22\text{cm}^2 \end{aligned}$$

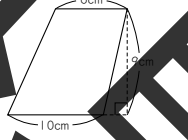
③ 次の台形の面積を求めましょう。(各10点 30点)



$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & (7+9) \times 5 \div 2 = 40 \\ \text{答え} \quad & 40\text{cm}^2 \end{aligned}$$

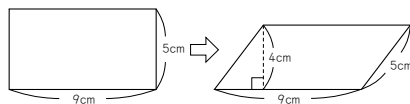


$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & (14+16) \times 13 \div 2 = 195 \\ \text{答え} \quad & 195\text{cm}^2 \end{aligned}$$



$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & (6+10) \times 9 \div 2 = 72 \\ \text{答え} \quad & 72\text{cm}^2 \end{aligned}$$

④ 長方形のはりがねのわくを図のように変えて平行四辺形にしました。面積はどれだけ少なくなりましたか。(10点)



$$\text{答え} \quad 9\text{cm}^2$$

## — 解 説 —

①の平行四辺形の面積は「底辺×高さ」で求められます。高さに対して、どの辺が底辺になるのかをよく考えて求めましょう。

②のひし形の面積は「対角線×対角線÷2」で求めましょう。ひし形も平行四辺形なので、底辺と高さが分かっている場合は、底辺×高さでも求められます。

③の台形の面積は「(上底+下底)×高さ÷2」の公式を使って求めましょう。

④は長方形から平行四辺形に変化しています。縦と横の長さは同じ長さですが、平行四辺形の面積は底辺と高さで求めるので、面積が変わります。

算

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

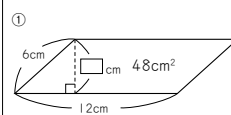
5年

力だめしテスト〈いろいろな四角形の面積②〉

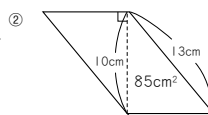
月 日

年

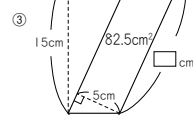
① 次の平行四辺形の□の長さは、何cmでしょう。(各10点 30点)



$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & 48 \div 12 = 4 \\ \text{答え} \quad & 4(\text{cm}) \end{aligned}$$

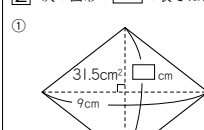


$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & 85 \div 10 = 8.5 \\ \text{答え} \quad & 8.5(\text{cm}) \end{aligned}$$

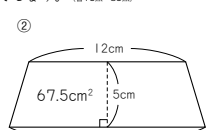


$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & 82.5 \div 5.5 = 16.5 \\ \text{答え} \quad & 16.5(\text{cm}) \end{aligned}$$

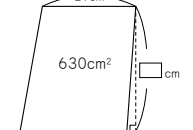
② 次の図形の□の長さは何cmでしょう。(各10点 30点)



$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & 31.5 \times 2 \div 9 = 7 \\ \text{答え} \quad & 7(\text{cm}) \end{aligned}$$

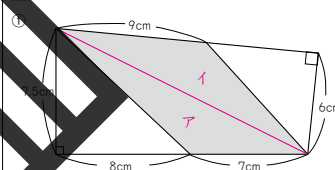


$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & 67.5 \times 2 \div 5 - 12 = 15 \\ \text{答え} \quad & 15(\text{cm}) \end{aligned}$$

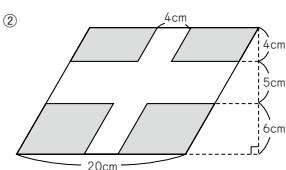


$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & 630 \times 2 \div (21+24) = 28 \\ \text{答え} \quad & 28(\text{cm}) \end{aligned}$$

③ 次の図形の色がぬられた部分の面積を求めましょう。(各20点 40点)



$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & \text{ア} \quad 7 \times 7.5 \div 2 = 26.25 \\ & \text{イ} \quad 9 \times 6 \div 2 = 27 \\ & \text{ア+イ} \quad 26.25 + 27 = 53.25 \\ \text{答え} \quad & 53.25\text{cm}^2 \end{aligned}$$



$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & (20-4) \times (4+6) = 160 \\ \text{答え} \quad & 160\text{cm}^2 \end{aligned}$$

## — 解 説 —

①は、すでに面積が分かっている平行四辺形から、底辺や高さを求める問題です。面積÷高さ＝底辺、面積÷底辺＝高さで求めることができます。

②は、ひし形と台形の面積から辺の長さを求める問題です。それぞれ面積の公式にあてはめて計算しましょう。特に台形の上底と下底の計算の順序に気をつけましょう。

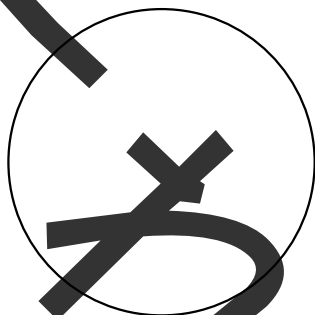
③の②は色のついた部分を、ついていない部分にすると、平行四辺形になります。底辺と高さの色のついていない部分をひいて、底辺×高さの計算をすると、色のついた部分の面積が求められます。



## 力だめしテスト〈多角形と円①〉

- 1 次の多角形を、円の中心から等分してかきましよう。また等分した1つ分の角度は何度になるで  
しろう。( )にかきましよう。(各10点 30点)

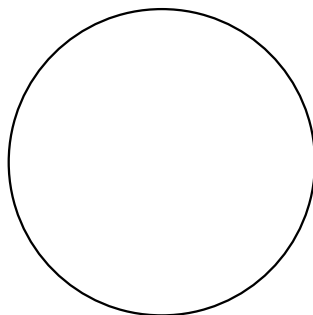
①



正五角形

1つ分の角度は( )

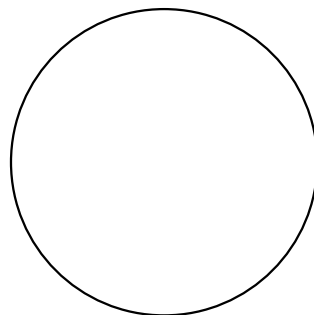
②



正六角形

1つ分の角度は( )

③

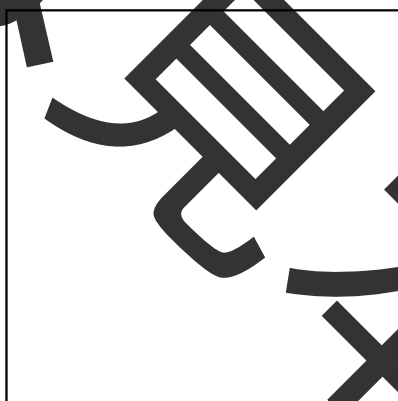
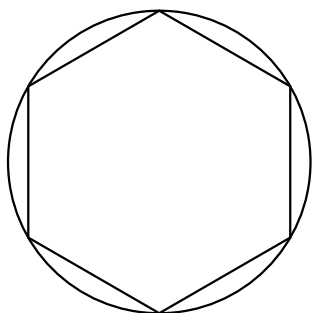


正十角形

1つ分の角度は( )

- 2 下の正六角形は、半径2cmの円の中にかかれています。次の問題に答えましよう。(各10点 30点)

- ① この図と同じ図を、<sup>じょうき</sup>定規とコンパスを使つてかきましよう。



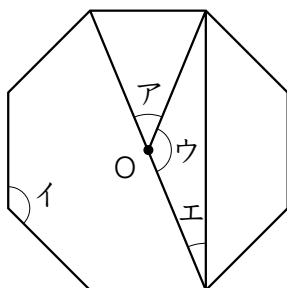
- ② 正六角形の6つの頂点<sup>ちやうてん</sup>から円の中心に線をひいたときにできる図形を答えましよう。

答え

- ③ 正六角形の1辺の長さを6cmにしようと思います。直径何cmの円をかけばよいでしろう。

答え

- 3 下の図のような正八角形があります、点Oは正八角形の中心です。角ア~エの角度を、計算で求め  
ましよう。(各10点 40点)



ア (式)

答え

イ (式)

答え

ウ (式)

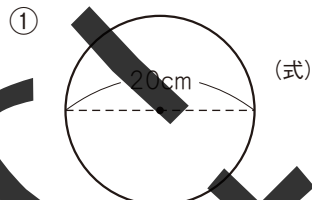
答え

エ (式)

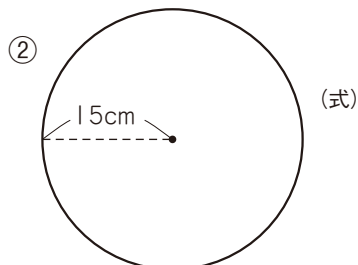
答え

## 力だめしテスト〈多角形と円②〉

1 次の円の円周の長さを求めましょう。(各12点 24点)

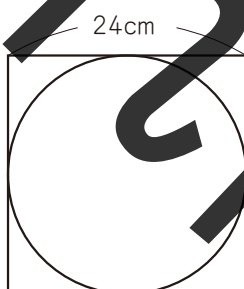


答え \_\_\_\_\_



答え \_\_\_\_\_

2 円が図のように正方形の中にぴったり入っています。次の問題に答えましょう。(各8点 16点)



① 円の半径は何cmでしょう。

答え \_\_\_\_\_

② この円の円周の長さを求めましょう。

(式)

答え \_\_\_\_\_

3 中心が同じ2つの円があります。外側の円の円周の長さを計算したら188.4cmで、内側の円の円周の長さは94.2cmでした。

(各12点 36点)

① 外側の円の直径は、何cmでしょう。

(式)

答え \_\_\_\_\_

② 内側の円の直径は、何cmでしょう。

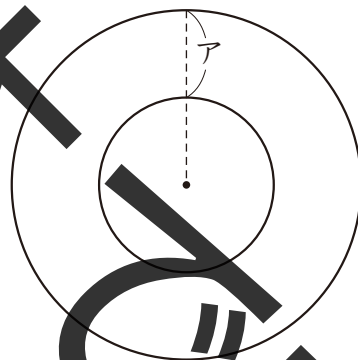
(式)

答え \_\_\_\_\_

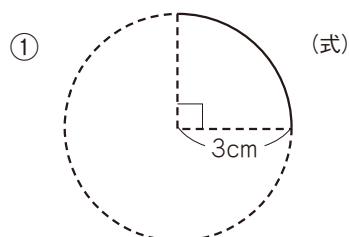
③ アの長さは何cmでしょう。

(式)

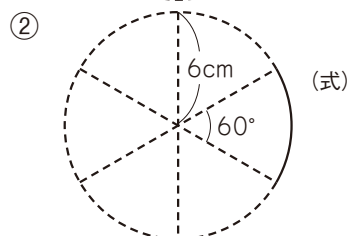
答え \_\_\_\_\_



4 次の図の、円周の一部の長さを答えましょう。(各12点 24点)



答え \_\_\_\_\_



答え \_\_\_\_\_

円周全体のうちの一部を「弧」というのじゃ。



算

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

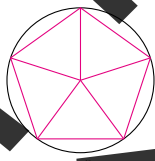
5 年

力だめしテスト〈多角形と円①〉

月 日  
年

- ① 次の多角形を、円の中心から等分してかきましよう。また等分した1つ分の角度は何度になるでしよう。( )にかきましよう。(各10点 30点)

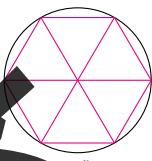
①



正五角形

1つ分の角度は(  $72^\circ$  )

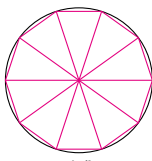
②



正六角形

1つ分の角度は(  $60^\circ$  )

③

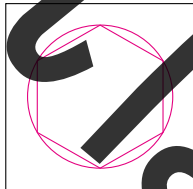
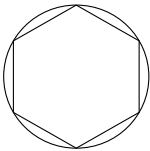


正十角形

1つ分の角度は(  $36^\circ$  )

- ② 下の正六角形は、半径2cmの円の中にかかれています。次の問題に答えましよう。(各10点 30点)

- ① この図と同じ図を、定規とコンパスを使ってかきましよう。



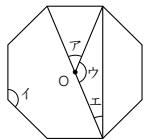
- ② 正六角形の6つの頂点から円の中心に線をひいたときに見える図形を答えましよう。

正三角形

- ③ 正六角形の1辺の長さを6cmにしようと思います。直径何cmの円をかけばよいでしよう。

12cm

- ③ 下の図のような正八角形があります。点Oは正八角形の中心です。角ア、イの角度を、計算で求めましよう。

ア (式)  $360 \div 8 = 45$ 答え  $45^\circ$ イ (式)  $(8-2) \times 180 \div 8 = 135$ 答え  $135^\circ$ ウ (式)  $45 \times 3 = 135$ 答え  $135^\circ$ エ (式)  $180 - 135 = 45$   
 $45 \div 2 = 22.5$ 答え  $22.5^\circ$ 

## — 解説 —

正多角形の問題です。①の正五角形は  $360^\circ \div 5 = 72^\circ$ 、正六角形は  $360^\circ \div 6 = 60^\circ$ 、正十角形は  $360^\circ \div 10 = 36^\circ$  を円の中心から等分して線でつなげましよう。

正六角形は円のまわりを半径の長さで区切ってもかくことができるので、②の①はコンパスで2cmずつ円のまわりを区切って、区切ったところをつなげたら完成です。③は、正六角形の1辺と円の半径の長さは同じなので、直径はその2倍で12cmになります。

③のイは、八角形の内角の和を8でわって、内角1つ分を求めます。ウは、アの3つ分の角度です。エはウの角度を  $180^\circ$  からひいた数を2でわれば、求められます。

算

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

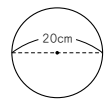
5 年

力だめしテスト〈多角形と円②〉

月 日  
年

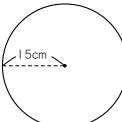
- ① 次の円の円周の長さを求めましよう。(各12点 24点)

①

(式)  $20 \times 3.14 = 62.8$ 

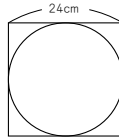
答え 62.8cm

②

(式)  $15 \times 2 \times 3.14 = 94.2$ 

答え 94.2cm

- ② 円が図のように正方形の中にぴったり入っています。次の問題に答えましよう。(各8点 16点)



- ① 円の半径は何cmでしよう。

12cm

- ② この円の円周の長さを求めましよう。

(式)  $24 \times 3.14 = 75.36$ 

答え 75.36cm

- ③ 中心が同じ2つの円があります。外側の円の円周の長さを計算したら188.4cmで、内側の円の円周の長さは94.2cmでした。(各12点 24点)

- ① 外側の円の直径は、何cmでしよう。

(式)  $188.4 \div 3.14 = 60$ 

答え 60cm

- ② 内側の円の直径は、何cmでしよう。

(式)  $94.2 \div 3.14 = 30$ 

答え 30cm

- ③ アの長は何cmでしよう。

(式)  $60 \div 2 - 30 \div 2 = 30 - 15 = 15$ 

答え 15cm

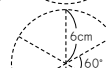
- ④ 次の図の、円周の一部の長さを答えましよう。(各12点 24点)

①

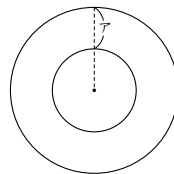
(式)  $3 \times 2 \times 3.14 \div 4 = 4.71$ 

答え 4.71cm

②

(式)  $6 \times 2 \times 3.14 \div 6 = 6.28$ 

答え 6.28cm



円周全体のうちの一部を「弧」というのじゃ。



## — 解説 —

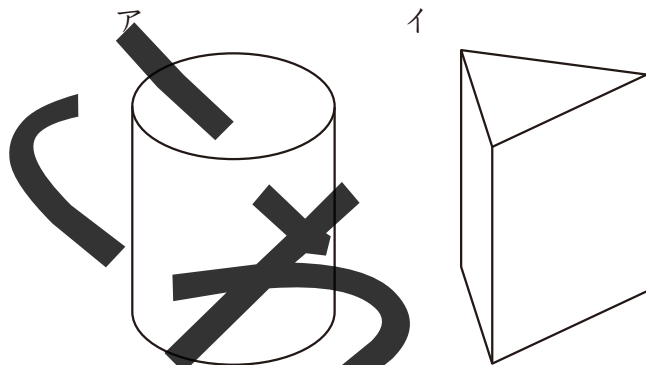
円の円周についての問題です。円周は直径×円周率で求めることができます。①の②は半径なので2倍にしてから、円周率の3.14をかけましよう。

②は正方形の中に円がぴったり入っているので、正方形の1辺と円の直径は同じ長さです。①は半径を求められているので、2でわりましよう。

④は円周の一部の長さを求める問題です。まずは円全体の円周を求め、求めるおうぎ形の中心の角度を見て、それが円周全体の何分の一かを考えます。①なら  $\frac{1}{4}$ 、②なら  $\frac{1}{6}$  です。

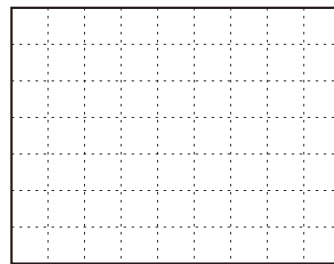
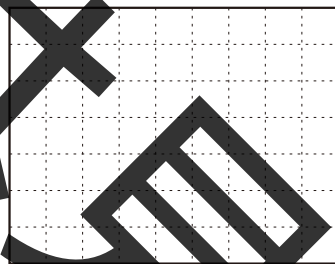
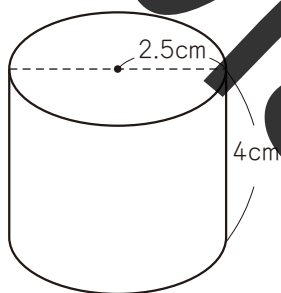
## 力だめしテスト〈角柱と円柱①〉

- 1 下の立体について、表の①～⑤にあてはまる言葉や数を書きましょう。(各10点 50点)

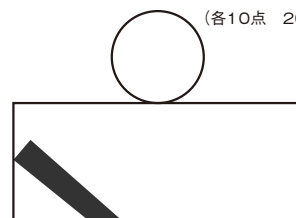


	ア	イ
立体の名前	①	三角柱
底面の形	②	三角形
底面の数	2	③
側面	曲面	④
側面の数	1	⑤

- 2 次の円柱を真正面と真上から見た図をかきましょう。方眼の1マスは1cmとします。(各5点 10点)

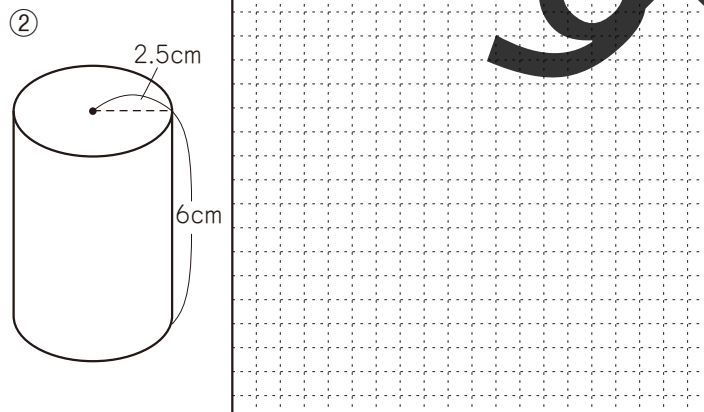
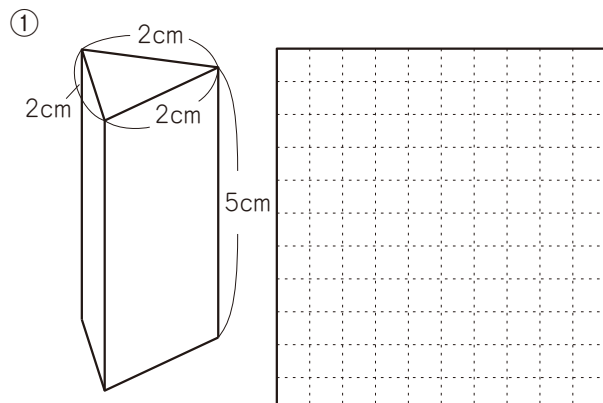


- 3 右下の図は半径が5cm、高さが13cmである円柱の展開図です。側面の長方形のたての長さ<sup>てんかいび</sup>と横<sup>えんしゅうりつ</sup>の長さを求めましょう。円周率は3.14とします。(各10点 20点)



答え

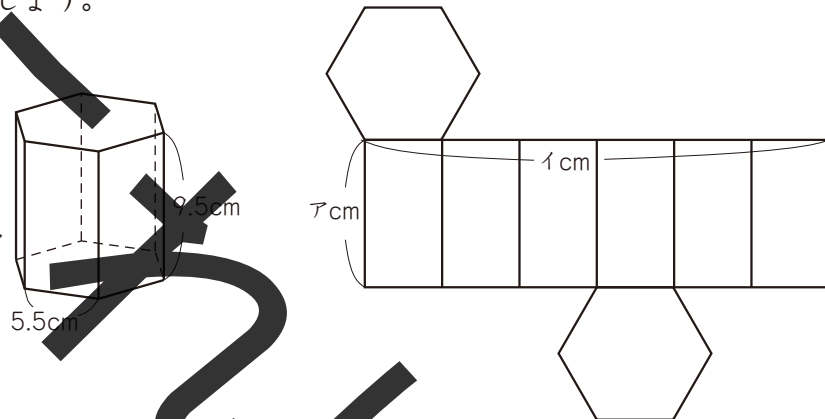
- 4 次の図の立体の展開図を書きなさい。円周率は3.14とし、方眼の1マスは1cmとします。円柱の横の長さは、 $\frac{1}{10}$ の位<sup>ししやごにゆう</sup>で四捨五入して、整数で求めましょう。(各10点 20点)



## 力だめしテスト〈角柱と円柱②〉

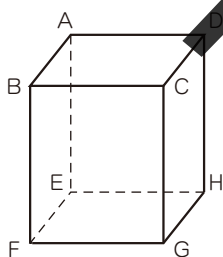
- 1 下の図は六角柱の見取り図と展開図です。底面が正六角形するとき、展開図のアとイの長さを答えましょう。

(各9点 18点)



答え ア  
イ

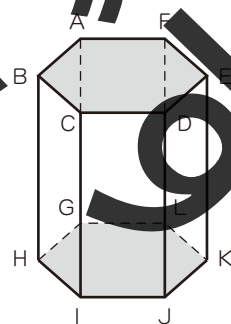
- 2 下の角柱について答えましょう。(各7点 42点)



- ① この角柱の底面はどんな形ですか。( )
- ② この角柱は何という角柱ですか。( )
- ③ 面ABCDに平行な面はどれでしょう。( )
- ④ 辺ABに垂直な辺はどれでしょう。すべて答えましょう。  
( )
- ⑤ 面ABFEに平行な面はどれでしょう。( )
- ⑥ 底面に垂直な面をすべて答えましょう。  
( )

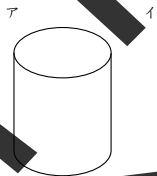
- 3 右の角柱について答えましょう。(各8点 40点)

- ① この角柱の底面はどんな形ですか。( )
- ② この角柱は何という角柱ですか。( )
- ③ 面ABCDEFに平行な面はどれでしょう。( )
- ④ 辺BHに平行な辺はどれでしょう。( )
- ⑤ 底面に垂直な面をすべて答えましょう。  
( )



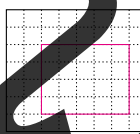
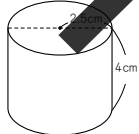
算  
5年●5年生の実力を確認する——まとめのテスト  
力だめしテスト〈角柱と円柱①〉月 日  
年 月 日

- ① 下の立体について、表の①～⑤にあてはまる言葉や数を書きましょう。(各10点 50点)



立体の名前	① 円柱	三角柱
底面の形	② 円	三角形
底面の数	2	③ 2
側面	曲面	④ 平面
側面の数	1	⑤ 3

- ② 次の円柱を真正面と真上から見た図をかきましょう。方眼の1マスは1cmとします。(各5点 10点)

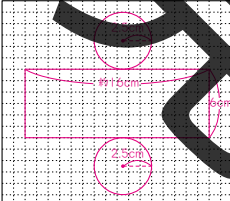
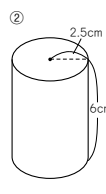
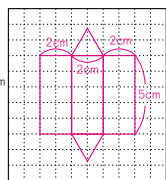
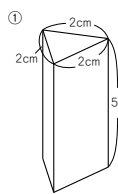


- ③ 右下の図は半径が5cm、高さが13cmである円柱の展開図です。側面の長方形のたての長さ
- <sup>たて</sup>
- と横
- <sup>よこ</sup>
- の長さを求めましょう。円周率は3.14とします。(各10点 20点)

$$\text{横} \cdots 5 \times 2 \times 3.14 = 31.4$$

答え たて13cm 横31.4cm

- ④ 次の図の立体の展開図を書きなさい。円周率は3.14とし、方眼の1マスは1cmとします。円柱の横
- <sup>よこ</sup>
- の長さは、
- $\frac{1}{10}$
- の位で四捨五入して、整数で求めましょう。(各10点 20点)



## — 解説 —

①は円柱と三角柱の特ちょうについて答える問題です。図をよく見てあてはまる言葉や数を書き、それぞれの特ちょうをつかみましょう。

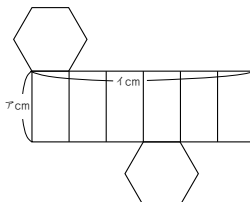
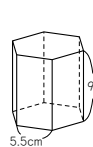
②は円柱を真正面と真上から見た図を書きます。円柱は上から見ると円ですが、横からみると長方形になります。

③の側面の長方形のたての長さは円柱の高さと等しく、横の長さは底面の円周と同じなので半径 $\times 2 \times 3.14$ で求めることができます。

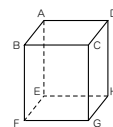
④円柱の側面(長方形)の横の長さも、底面の円周と同じ長さです。小数点以下を四捨五入しましょう。

算  
5年●5年生の実力を確認する——まとめのテスト  
力だめしテスト〈角柱と円柱②〉月 日  
年 月 日

- ① 下の図は六角柱の見取り図と展開図です。底面が正六角形
- <sup>てんかくけい</sup>
- のとき、展開図のアとイの長さを答えましょう。(各9点 18点)

答え ア 9.5(cm)  
イ 33(cm)

- ② 下の角柱について答えましょう。(各7点 42点)



- ① この角柱の底面はどんな形ですか。( 四角形 )  
 ② この角柱は何という角柱ですか。( 四角柱 )  
 ③ 面ABCDに平行な面はどれでしょう。( 面EFGH )

- ④ 辺ABに垂直な辺はどれでしょう。すべて答えましょう。

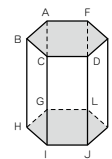
( 辺AD、辺AE、辺BC、辺BF )

- ⑤ 面ABFEに平行な面はどれでしょう。( 面DCGH )

- ⑥ 底面に垂直な面をすべて答えましょう。

( 面ABFE、面BCGF、面CDHG、面DAEH )

- ③ 下の角柱について答えましょう。(各8点 40点)



- ① この角柱の底面はどんな形ですか。( 六角形 )  
 ② この角柱は何という角柱ですか。( 六角柱 )  
 ③ 面ABCDEFに平行な面はどれでしょう。( 面GHIJKL )  
 ④ 辺BHに平行な辺はどれでしょう。( 辺AG、辺CI、辺DJ、辺EK、辺FL )  
 ⑤ 底面に垂直な面をすべて答えましょう。  
 ( 面ABHG、面BCIH、面CDJI、面DEKJ、面EFLK、面FAGL )

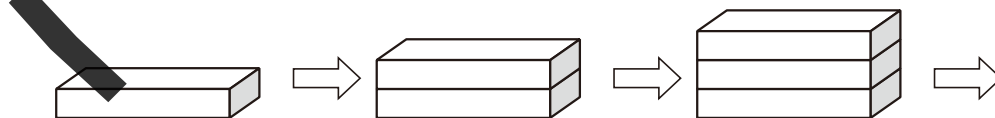
## — 解説 —

①は六角柱から、展開図のたてと横の長さを求める問題です。たての長さは、六角柱の高さと同じ長さで、横の長さは底面の六角形の1辺 $\times 6$ と同じ長さです。

②は四角柱、③は六角柱について、垂直な面や辺を答える問題です。立体図形の平行と垂直について、しっかり確認しておきましょう。特に六角柱の場合は、辺や面の数が増えるので、見落とさないようにしましょう。問題文での底面とは、角柱の上下の面のことです。この底面に垂直な面は四角柱なら4面、六角柱なら6面あります。

## 力だめしテスト〈2つの量の関係①〉

- 1 たて2cm、横6cm、高さ1cmの直方体をたてに積み上げていくときの、高さと体積の関係を調べます。次の問題に答えましょう。(①15点②10点 25点)



高さ (cm)	1	2	3	4	5	6	7	8
体積 (cm <sup>3</sup> )	12							

- ① 上の表のあいているところをうめ、完成させましょう。
- ② 上の表のように、一方の数量が2倍、3倍・・・になると、もう一方の数量も2倍、3倍・・・となる2つの量の関係を、何というでしょう。

答え \_\_\_\_\_

- 2 なつみさんには、同じたん生日で3才年上のお兄さんがいます。2人の年れいの関係を調べます。

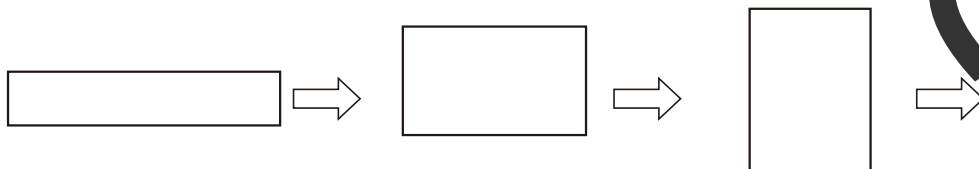
(①20点②10点 30点)

なつみ (才)	1							
兄 (才)								

- ① 2人の年れいを、上の表にまとめましょう。
- ② なつみさんの年を○、お兄さんの年を△として、式に表しました。正しい式を選びましょう。
- ア  $\triangle \div \bigcirc = 3$       イ  $\triangle - \bigcirc = 3$       ウ  $\triangle + \bigcirc = 3$

答え \_\_\_\_\_

- 3 まわりの長さが28cmの長方形があります。次の問いに答えましょう。(①30点②15点 45点)



たて (cm)	1	2	3	4	5	6	7	8
横 (cm)								

- ① この長方形のたてと横の長さを、上の表にまとめましょう。
- ② たての長さを○、横の長さを△として、式に表しました。正しい式を選びましょう。
- ア  $\triangle \times \bigcirc = 14$       イ  $\triangle - \bigcirc = 14$       ウ  $\triangle + \bigcirc = 14$

答え \_\_\_\_\_



## 力だめしテスト〈2つの量の関係②〉

- 1 1つ75円のおんぱんをかうときの、<sup>こすう</sup>個数と代金の関係を表にしました。次の問いに答えましよう。(各10点 30点)

おんぱん(個)	1	2	3	4	5	6
代金 (円)						

- ① 表のあいてるところにあてはまる数を書きましよう。  
② おんぱんの個数を○個、代金を△円として、式に表しましよう。

(式)

$$\triangle =$$

- ③ 代金が1200円のとて、買ったおんぱんの個数を求めましよう。

(式)

$$=$$

答え

$$=$$

- 2 1辺が2cmの正三角形を、下の図のように1つずつ増やしていくときの、まわりの長さのわり方を調べます。(各10点 40点)



- ① 正三角形の数とまわりの長さを下の表にまとめましよう。

正三角形の数 (個)	1	2	3	4	5	6	7
まわりの長さ(cm)							

- ② 正三角形の数が1つずつ増えるごとに、まわりの長さは何cmずつ増えるでしよう。

答え

$$=$$

- ③ 正三角形の数を○個、まわりの長さを△cmとして、式に表しましよう。

答え

$$\triangle =$$

- ④ 正三角形が50個のとてのまわりの長さを求めましよう。

(式)

$$=$$

答え

$$=$$

- 3 次の場面について、○と△の関係を式に表しましよう。

(各15点 30点)

- ① 1Lのガソリンで21km走る自動車の、ガソリンの量○Lと進む道のり△km

答え

$$\triangle =$$

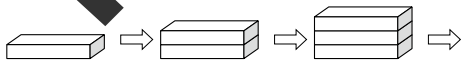
- ② 60さつあるノートを4さつずつ配ったときの、人数○人と残りのノートのさつ数△さつ

答え

$$\triangle =$$

算  
5 年●5年生の実力を確認する——まとめのテスト  
力だめしテスト〈2つの量の関係①〉月 日  
年

- ① たて2cm、横6cm、高さ1cmの直方体をたてに積み上げていくときの、高さと体積の関係を調べます。次の問いに答えましょう。(①15点②10点 25点)



高さ (cm)	1	2	3	4	5	6	7	8
体積 (cm <sup>3</sup> )	12	24	36	48	60	72	84	96

- ① 上の表のあいているところをうめ、完成させましょう。  
② 上の表のように、一方の数量が2倍、3倍…になると、もう一方の数量も2倍、3倍…となる2つの量の関係を、何というでしょう。

答え 比例の関係

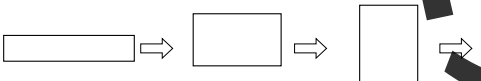
- ② なつみさんには、同じたん生日で3才年上のお兄さんがいます。2人の年れいの関係を調べます。(①20点②10点 30点)

なつみ (才)	1	2	3	4	5	6	7	8
兄 (才)	4	5	6	7	8	9	10	11

- ① 2人の年れいを、上の表にまどめましょう。  
② なつみさんの年を○、お兄さんの年を△として、式を表しました。正しい式を選びましょう。  
ア  $\Delta \div \bigcirc = 3$     イ  $\Delta - \bigcirc = 3$     ウ  $\Delta + \bigcirc = 3$

答え イ

- ③ まわりの長さが28cmの長方形があります。次の問いに答えましょう。(①30点②15点 45点)



たて (cm)	1	2	3	4	5	6	7	8
横 (cm)	13	12	11	10	9	8	7	6

- ① この長方形のたてと横の長さを、上の表にまどめましょう。  
② たての長さを○、横の長さを△として、式を表しました。正しい式を選びましょう。  
ア  $\Delta \times \bigcirc = 14$     イ  $\Delta - \bigcirc = 14$     ウ  $\Delta + \bigcirc = 14$

答え ウ

## — 解 説 —

2つの量の関係を表に表す問題です。①は2つの量について、一方の数が2倍、3倍…と増えると、もう一方も同じように2倍、3倍…と増えていく関係を、「比例の関係」といいます。

②は、お兄さんとなつみさんの年れいの差が3才なので、「差が一定の関係」となっています。式に表すと、 $\Delta - \bigcirc = 3$  となります。

③は、長方形の四辺の長さの合計が28cmなので、たてと横の長さの関係を考えるには、まず  $28 \div 2$  をします。たてと横の長さの和は必ず14cmになるので「和が一定の関係」といえます。式に表すと、 $\Delta + \bigcirc = 14$  です。

算  
5 年●5年生の実力を確認する——まとめのテスト  
力だめしテスト〈2つの量の関係②〉月 日  
年

- ① 1つ75円のあんぱんを買うときの、個数と代金の関係を表にしました。次の問いに答えましょう。(①10点 30点)

あんぱん (個)	1	2	3	4	5	6
代金 (円)	75	150	225	300	375	450

- ① 表のあいているところにあてはまる数を書きましょう。  
② あんぱんの個数を○個、代金を△円として、式を表しましょう。  
(式)  $\Delta = 75 \times \bigcirc$   
③ 代金が1200円の時、買ったあんぱんの個数を求めましょう。  
(式)  $1200 \div 75 = 16$

答え 16個

- ② 1辺が2cmの正三角形を、下の図のように1つずつ増やしていくときの、まわりの長さの変わり方を調べます。(①10点 30点)



- ① 正三角形の数とまわりの長さを下の表にまどめましょう。  
② 正三角形の数が1つずつ増えるごとに、まわりの長さは何cmずつ増えるでしょう。

正三角形の数 (個)	1	2	3	4	5	6	7
まわりの長さ (cm)	6	8	10	12	14	16	18

答え 2cm

- ③ 正三角形の数を○個、まわりの長さを△cmとして、式を表しましょう。

答え  $\Delta = (\bigcirc + 2) \times 2$ 

- ④ 正三角形が50個のときのまわりの長さを求めましょう。

(式)  $(50 + 2) \times 2 = 104$

答え 104cm

- ⑤ 次の場面について、○と△の関係を式に表しましょう。(①15点 30点)

- ① 1Lのガソリンで21km走る自動車の、ガソリンの量○Lと進む道のり△km

答え  $\Delta = 21 \times \bigcirc$ 

- ② 60さつあるノートが4さつずつ売ったときの、人数○人と残りのノートのさつ数△さつ

答え  $\Delta = 60 - 4 \times \bigcirc$ 

## — 解 説 —

2つの量の関係を、式に表す練習をしましょう。①は、あんぱんの個数が2個、3個…と増えていくと、代金も2倍、3倍と増えていくので、比例の関係であるといえます。比例する2つの量の式は、 $\Delta = \text{きまった数} \times \bigcirc$  となることを覚えておきましょう。

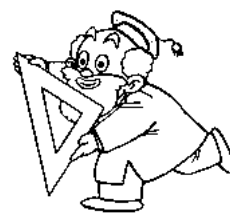
②は、正三角形が1つ増えるごとに、まわりの長さが2cmずつ増えていくことから、正三角形の数に2をたして、2cmをかけるとまわりの長さが求められることに気づきましょう。

③の①は比例関係で、②はもとのノートの数から配った数をひくと、残りのノートの数が分かる式をつくりましょう。

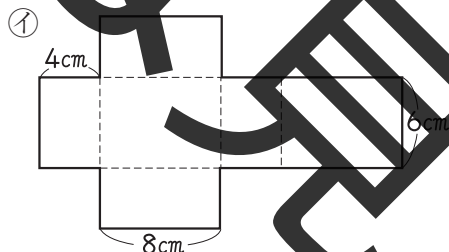
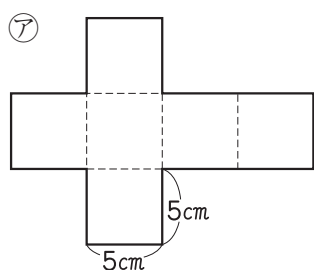
## 力だめしテスト〈直方体と立方体〉

1 次の□に、あてはまる数や言葉を書きましょう。(1つ5点・40点)

- ① 平らな面のことを、□といいます。
- ② 長方形だけや、長方形と正方形で囲まれた箱の形を、□といいます。
- ③ 正方形だけで囲まれた箱の形を、□といいます。
- ④ 直方体も立方体も、面の数は□つで、辺の数は□本あります。
- ⑤ □には、同じ長さの辺が4本ずつ、□組あります。
- ⑥ 頂点の数は、直方体も立方体も同じで、□つです。



2 下の展開図を見て、問題に答えましょう。



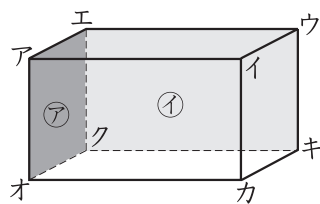
- ① アの展開図からできる箱の高さは、何cmでしょう。(10点)

答え

- ② イの展開図には、縦6cm、横8cmの長方形が何個あるでしょう。(10点)

答え

3 下の図の直方体について、次の問題に答えましょう。



- ① 面アに平行な面はどれでしょう。(5点)

答え

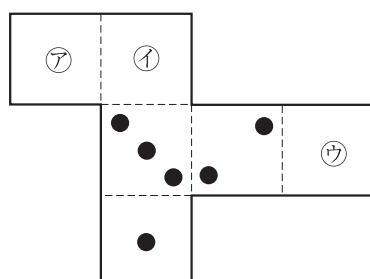
- ② 面イに平行な面はどれでしょう。(5点)

答え

- ③ 面アに平行な辺はどれでしょう。(10点)

答え

4 さいころの向かい合った面の目の数の和は、7になっています。



- ① 左の図のア、イ、ウの目の数は、それぞれいくつでしょう。(10点)

答え ア

イ

ウ

- ② さいころの面に垂直な面の目の数を、全部書きましょう。(10点)

答え

## 力だめしテスト〈直方体と立方体の体積〉

1 立方体について、次の問題に答えましょう。

- ① 1辺2cmの立方体の体積は、いくらでしょう。(式、答え各5点・10点)  
(式)

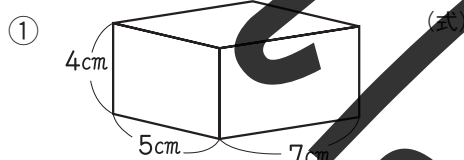
答え \_\_\_\_\_



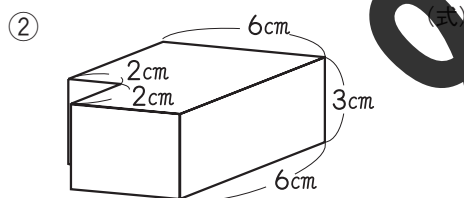
- ② どの辺の長さも2倍、3倍にすると、体積はそれぞれもとの立体の体積の何倍になるでしょう。(10点)

答え \_\_\_\_\_

2 下の図の、立体の体積を求めましょう。(式、答え各5点・20点)



答え \_\_\_\_\_



答え \_\_\_\_\_

- 3 体積が $315\text{cm}^3$ で、底面が7cmと9cmの直方体があります。この直方体の高さは、何cmでしょう。  
(式)

(式、答え各5点・10点)

答え \_\_\_\_\_

- 4 縦が2m、横が5m、高さが3mの直方体の体積は、何 $\text{m}^3$ でしょう。また、何 $\text{cm}^3$ でしょう。  
(式)

(式、答え各5点・10点)

答え \_\_\_\_\_

- 5 体積が $378\text{cm}^3$ の直方体があります。この直方体の縦を6cm、高さを9cmにすると、横は何cmになるでしょう。

(式、答え各10点・20点)

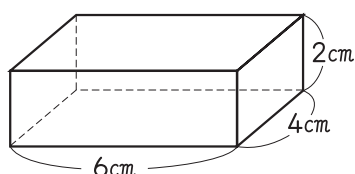
(式)

答え \_\_\_\_\_

- 6 下のようなブロックを使って、立方体をつくります。ブロックは、最低何個、必要でしょう。

(式)

(式、答え各10点・20点)



答え \_\_\_\_\_

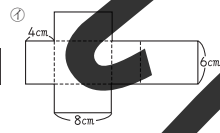
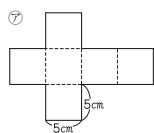
算  
5年●5年生の実力を確認する——まとめのテスト  
力だめしテスト〈直方体と立方体〉月 日  
でん

① 次の□に、あてはまる数や言葉を書きましょう。(175点・40点)

- ① 平らな面のこと、**平面**といいます。
- ② 長方形だけや、長方形と正方形で囲まれた箱の形を、**直方体**といいます。
- ③ 正方形だけで囲まれた箱の形を、**立方体**といいます。
- ④ 直方体も立方体も、面の数は**6**つで、辺の数は**12**本あります。
- ⑤ **直方体**には、同じ長さの辺がそれぞれ**3**組あります。
- ⑥ 頂点の数は、直方体も立方体も同じで、**8**つです。



② 下の展開図を見て、問題に答えましょう。



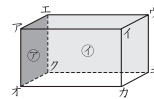
① ⑦の展開図からできる箱の高さは、何cmでしょう。(10点)

答え **5cm**

② ④の展開図には、縦6cm、横8cmの長方形が何個あるでしょう。(10点)

答え **2個**

③ 下の図の直方体について、次の問題に答えましょう。(10点)



① 面⑦に平行な面はどれでしょう。(5点)

答え **面イカキウ**

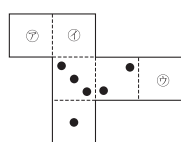
② 面①に平行な面はどれでしょう。(5点)

答え **面アイバイ**

③ 面⑦に平行な辺はどれでしょう。(10点)

答え **辺イカ、辺ウキ、辺イウ、辺カキ**

④ さいころの向かい合った面の目の数の和は、7になっています。



① 左の図の⑦、①、③の目の数は、それぞれいくつでしょう。(10点)

答え ⑦ **5** ① **6** ③ **4**

② ⑦の面に垂直な面の目の数を、全部書きましょう。(10点)

答え **1、2、5、6**

— 解 説 —

①は、直方体と立方体の問題です。直方体は、長方形だけや、正方形と長方形で囲まれた立体です。また、正方形だけで囲まれた立体を立方体といいます。直方体と立方体には、面が6つ、頂点が8つ、辺が12本あります。

②は、立方体と直方体の展開図です。展開図というのは、箱を辺にそってきり開いた図のことです。⑦は立方体の展開図なので、高さは1辺の長さと同じです。④は直方体の展開図です。直方体で平行な2つの面は、同じ大きさです。縦6cm、横8cmの長方形は、展開図の中に2つあり、それらの面は平行になっています。

③は、直方体の面と面、面と辺の関係を考えます。③は、面⑦に平行な面が面イカキウなので、面イカキウのまわりにある辺も、面⑦に平行になっています。

④の①は、向かい合う面を展開図から見つけましょう。面⑦と向かい合う面は、目が2の面です。面④と向かい合うのは、目が1の面です。面③が向かい合うのは、目が3の面です。

算  
5年●5年生の実力を確認する——まとめのテスト  
力だめしテスト〈直方体と立方体の体積〉月 日  
でん

① 立方体について、次の問題に答えましょう。

① 1辺2cmの立方体の体積は、いくらでしょう。(式、答え各5点・10点)

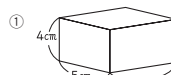
(式)  $2 \times 2 \times 2 = 8$

答え **8cm<sup>3</sup>**

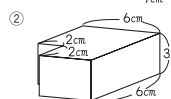
② どの辺の長さも2倍、3倍にすると、体積はそれぞれもとの立方体の体積の何倍になるでしょう。(10点)

答え **8倍、27倍になる**

② 下の図の、立体の体積を求めましょう。(式、答え各5点・20点)



(式)  $5 \times 7 \times 4 = 140$

答え **140cm<sup>3</sup>**

(式)  $6 \times 6 \times 3 = 108$   
 $2 \times 2 \times 3 = 12$   
 $108 + 12 = 120$

答え **96cm<sup>3</sup>**③ 体積が315cm<sup>3</sup>で、底面が7cmと9cmの直方体があります。この直方体の高さは、何cmでしょう。(式、答え各5点・10点)

(式)  $315 \div (7 \times 9) = 5$

答え **5cm**④ 縦が2m、横が5m、高さが3mの直方体の体積は、何m<sup>3</sup>でしょう。また、何cm<sup>3</sup>でしょう。(式、答え各5点・10点)

(式)  $2 \times 5 \times 3 = 30$

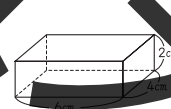
$30 \text{ m}^3 = 30000000 \text{ cm}^3$

答え **30m<sup>3</sup>、30000000cm<sup>3</sup>**⑤ 体積が378cm<sup>3</sup>の直方体があります。この直方体の縦を6cm、高さを9cmにすると、横は何cmになるでしょう。(式、答え各10点・20点)

(式)  $378 \div (6 \times 9) = 7$

答え **7cm**

⑥ 下のようなブロックを使って、立方体をつくります。ブロックは、最低何個、必要でしょう。



(式) 2、4、6の最小公倍数は12  
 $12 \div 2 = 6$   $12 \div 4 = 3$   $12 \div 6 = 2$   
 $6 \times 3 \times 2 = 36$

答え **36個**

— 解 説 —

①は、立方体の体積を求める問題です。立方体の体積は、1辺×1辺×1辺で求めます。

②の②は、はじめに縦6cm、横6cm、高さ3cmの直方体の体積を求めます。そのあと、かかっているかどの部分の縦2cm、横2cm、高さ3cmの直方体の体積をひけば、図の形の体積を求めることができます。

③は、直方体の体積を底面積でわると、高さを求めることができます。

④は、体積を立方メートルの単位と立方センチメートルの単位で答える問題です。1立方メートルは、1000000立方センチメートルです。

⑤は、③と同じ考え方で解くことができます。直方体の体積を、直方体の縦と高さでわると、横の長さを求めることができます。

⑥は、公倍数の考え方で解きます。立方体の1辺の長さはすべて同じなので、ブロックの縦と横と高さの最小公倍数を求めます。

## 力だめしテスト〈倍数と約数①〉

1 次の□に、あてはまる数や言葉を書きましょう。(1つ2点・30点)

① □、□、□、……は、3を1倍、2倍、3倍、……した数で、これを3の□といい  
ます。いくつかの整数の共通な倍数を、これらの整数の□といい、その中でいちば  
ん小さいものを□といいます。

② □、□、□、□、□、□は、12をわりきる整数で、これを12の□とい  
います。いくつかの整数の共通な約数を、これらの整数の□といい、その中でいち  
ばん大きいものを□といいます。

2 12と15の最小公倍数を求めましょう。(10点)

(考え方)

答え

3 12、18、24の最小公倍数を求めましょう。(10点)

(考え方)

答え

4 36と90の最大公約数を求めましょう。(10点)

(考え方)

答え

5 120、150、210の3つの数の最大公約数を求めましょう。(10点)

答え

6 ある駅では、電車は25分ごと、バスは15分ごとに発車しています。午前8時に、電車とバスが  
同時に発車しました。この次に同時に発車するのは、午前何時何分でしょう。(10点)

(考え方)

答え

7 274をわれば4余り、493をわれば7余るような数は、何個あるでしょう。(20点)

(考え方)

答え



## 力だめしテスト〈倍数と約数②〉

1 次の問題に答えましょう。(各5点・15点)

① 2でわりきれる整数のことを、何というでしょう。

答え \_\_\_\_\_

② 2でわりきれない整数のことを、何というでしょう。

答え \_\_\_\_\_

③ 0や1は、どちらに入るでしょう。

答え 0は \_\_\_\_\_、1は \_\_\_\_\_



2 整数を、0から順に下のように3つの組に分けていきます。次の4つの整数は、どの組に入るでしょう。〔 〕に、組の数字を書きましょう。(各5点・20点)

〔0〕の組…… {0 3 6 9 12 15 18 ……}

701…〔 〕 702…〔 〕

〔1〕の組…… {1 4 7 10 13 16 19 ……}

〔2〕の組…… {2 5 8 11 14 17 20 ……}

801…〔 〕 802…〔 〕

答え \_\_\_\_\_

3 ある年の5月1日は、水曜日でした。次の年の5月1日は、何曜日でしょう。ただし、次の年は、うるう年ではありません。

(式、答え各10点・20点)

(式)

答え \_\_\_\_\_

4 162の約数のうちで、9の倍数であるものをすべて求めましょう。(10点)

答え \_\_\_\_\_

5 次の整数を、最も小さいものから3個書きましょう。(各10点・20点)

① 7でわると、5余る整数。

答え \_\_\_\_\_

② 7でわると5余り、4でわると1余る整数。

答え \_\_\_\_\_

6 28の約数と、35の約数との関係を、下の図のようにかきました。㉗、㉘、㉙には、それぞれどんな数がありますか。その数を全部書きましょう。(15点)

(考え方)



答え ㉗ \_\_\_\_\_ ㉘ \_\_\_\_\_ ㉙ \_\_\_\_\_



算

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

月 日

5年

力だめしテスト〈倍数と約数①〉

こ

① 次の□に、あてはまる数や言葉を書きましょう。(1つ2点・30点)

3、6、9、……は、3を1倍、2倍、3倍、……した数で、これを3の **倍数** といいます。いくつかの整数の共通な倍数を、これらの整数の **公倍数** といい、その中でいちばん小さいものを **最小公倍数** といいます。

1、2、3、4、6、12は、12をわりきる整数で、これを12の **約数** といいます。いくつかの整数の共通な約数を、これらの整数の **公約数** といい、その中でいちばん大きいものを **最大公約数** といいます。

② 12と15の最小公倍数を求めましょう。(10点)

(考え方) 12の倍数は、12、24、36、48、60、…  
15の倍数は、15、30、45、60、…

答え 60

③ 12、18、24の最小公倍数を求めましょう。(10点)

(考え方) 12の倍数は、12、24、36、48、60、72、…  
18の倍数は、18、36、54、72、…  
24の倍数は、24、48、72、…

答え 72

④ 36と90の最大公約数を求めましょう。(10点)

(考え方) 36の約数は、1、2、3、4、6、9、12、18、36  
90の約数は、1、2、3、5、6、9、10、15、18、30、45、90

答え 18

⑤ 120、150、210の3つの数の最大公約数を求めましょう。(10点)

答え 30

⑥ ある駅では、電車は25分ごと、バスは15分ごとに発車しています。午前8時に、電車とバスが同時に発車しました。この次に同時に発車するのは、午前何時何分でしょう。(10点)

(考え方) 25と15の最小公倍数は75  
午前8時から75分後

答え 午前9時15分

⑦ 274をわれば4余り、493をわれば7余るような数は、何個あるでしょう。(20点)

(考え方)  $274 - 4 = 270$   $493 - 7 = 486$   
270と486の最大公約数は54  
余りが7だから、54の約数のうち  
7より大きい、9、18、27、54の4つ

答え 4個

— 解説 —

①は、倍数と約数の問題です。0は、倍数には入れません。3の倍数にも、4の倍数にもなる数を3と4の公倍数といいます。また、12をわりきることでできる整数を、12の約数といいます。12の約数には、1と12も入ります。8の約数にも12の約数にもなっている数を、8と12の公約数といいます。

②と③は、はじめに大きいほうの数の倍数を考え、その中から小さいほうの数の倍数を見つけるやり方が、わかりやすいでしょう。

④と⑤は、はじめに小さいほうの数の約数を考え、その中から大きいほうの数の約数を見つけます。⑤の3つの数の約数は、1、2、3、5、6、10、15、30になり、最大公約数は30です。

⑥は、公倍数を使って考えます。25と15の最小公倍数は75なので、75分後に同時に発車します。

⑦は余りのない形で考えます。はじめに、わられる数から余りをひいて、270と486の最大公約数を求めます。次に、最大公約数の約数の中から、7より大きい数を選びます。

算

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

月 日

5年

力だめしテスト〈倍数と約数②〉

こ

① 次の問題に答えましょう。(各5点・15点)

① 2でわりきれぬ整数のことを、何というでしょう。

答え 偶数

② 2でわりきれぬ整数のことを、何というでしょう。

答え 奇数

③ 0や1は、どちらに入るでしょう。

答え 0は 偶数、1は 奇数

④ 整数を、0から順に下のように3つの組に分けていきます。次の4つの整数は、どの組に入るでしょう。〔 〕に、組の数字を書きましょう。(各5点・20点)

〔0〕の組…… 0 3 6 9 12 15 18 …… 701…〔2〕 702…〔0〕  
〔1〕の組…… 1 4 7 10 13 16 19 ……  
〔2〕の組…… 2 5 8 11 14 17 20 ……

答え

801…〔0〕 802…〔1〕

⑤ ある年の5月1日は、水曜日でした。次の年の5月1日は、何曜日でしょう。ただし、次の年は、うるう年ではありません。(式、答え各10点・20点)

 $365 \div 7 = 52$  余り1

答え 木曜日

⑥ 162の約数のうちで、9の倍数であるものをすべて求めましょう。(10点)

答え 9、18、27、54、81、162

⑦ 次の整数を、最も小さいものから3個書きましょう。(各10点・30点)

① 7でわると、5余る整数。

答え 5、12、19

② 7でわると5余り、4でわると1余る整数。

答え 5、33、61

⑧ 28の約数と、35の約数との関係を、下の図のようにかきました。㉞、㉟、㊱には、それぞれどんな数がありますか。その数を全部書きましょう。(15点)

(考え方) 28の約数 1、2、4、7、14、28  
35の約数 1、5、7、35

㉞ 2、4、14、28 ㉟ 1、7 ㊱ 5、35

— 解説 —

①は、偶数と奇数の問題です。2でわりきれぬ数を偶数(ぐうすう)といいます。また、2でわりきれぬ数を奇数(きすう)といいます。0は、偶数です。

②は、3でわったときの余りの大きさでグループを分けています。〔0〕の組は、3でわりきれぬ数です。〔1〕の組は、3でわったときに1余る数です。〔2〕の組は、3でわったときに2余る数です。4つの数を3でわり、なかま分けをしましょう。

③は、1年を365日として計算します。365を7でわると1余るので、前の年に水曜日だったら、次の年には1日ずれて、木曜日になります。

④は、はじめに、162の約数を考えます。次に、その約数の中から9の倍数を見つけます。

⑤の①は、5を7でわった場合、答えが0で余りが5になるので、5も入ります。

⑥は、㉞が28と35の公約数を表しています。㉞には28の約数から公約数をのぞいた数が入ります。

算

5年

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

月 日

てん

## 力だめしテスト〈計算の見積もり〉



1 紙1000枚の厚さははかったら、82<sup>まい</sup>mmありました。(式、答え各4点・16点)

① この紙1枚の厚さは、何mmでしょう。

(式)

答え

② この紙10000枚の厚さは、何cmでしょう。

(式)

答え

2 次の□に、あてはまる数を書きましょう。(各4点・16点)

①  $320 \times 5400 = 32 \times 54 \times \square$

②  $26880 \div 8400 = 2688 \div 84 \div \square$

③  $6.56 \times 37000 = 656 \times 37 \times \square$

④  $170100 \div 270000 = 1701 \div 27 \div \square$

3 次の積や商を、上から2けたのがい数で求めましょう。(各4点・32点)

①  $283 \times 539$

②  $7253 \times 8392$

③  $97640 \times 3345$

④  $524000 \times 38000$

⑤  $7386 \div 324$

⑥  $38754 \div 687$

⑦  $374500 \div 600$

⑧  $927000 \div 4600$

4 6年生156人が、バスで遠足に行きます。貸し切りバスの料金は、1台96000円で、4台あります。1人あたりいくら集めるとよいでしょう。上から2けたのがい数で求めましょう。

(式)

(式、答え各6点・12点)

答え

5  $127.3m^2$ の広さの家を建てるのに、 $1m^2$ について153000円の費用がかかります。この家を建てるには、いくらかかるでしょう。上から2けたのがい算で求めましょう。

(式)

(式、答え各6点・12点)

答え

6 わが国の面積は $377864km^2$ 、2000年の人口は約126070000人です。 $1km^2$ についての人口を、上から3けたのがい数で求めましょう。

(式)

(式、答え各6点・12点)

答え

- 1 右の表は、5人の身長です。130cmをこえる高さだけを  
ならず考え方で、5人の平均を求めましょう。

(式)

名前	A	B	C	D	E
身長(cm)	132	139	134	135	133

(式、答え各5点・10点)

答え

- 2 みのもる君は、3週間で、のべ15時間45分勉強しました。1日平均何分勉強したことになるで  
しょう。

(式)

(式、答え各5点・10点)

答え

- 3 毎日8時間ずつ働いて、20人の人が30日で仕上げる仕事があります。この仕事を毎日10時間  
ずつ40人の人が働くと、何日で仕上がるでしょう。

(式)

(式、答え各5点・10点)

答え

- 4 たかお君の漢字の4回のテストの平均点は、76点でした。3回の結果は、74点、78点、73点で  
す。もう1回のテストは、何点だったでしょう。

(式)

(式、答え各5点・10点)

答え

- 5 さち子さんの家族は、父、母、兄の4人家族です。家族全員の年齢の平均は28才ですが、さち子  
さんを除くと、年齢の平均は34才になります。さち子さんは、何才でしょう。

(式)

(式、答え各10点・20点)

答え

- 6 今までの5回の算数のテストの平均が、78点でした。平均点を80点にするには、6回目のテスト  
で何点とればよいでしょう。

(式)

(式、答え各10点・20点)

答え

- 7 下の表は、㊦から㊩まで5人の身長と体重を調べたものです。春子さんの身長は、5人の平均よ  
り低く、体重はちょうど平均です。春子さんは、下の表の㊦から㊩のどれでしょう。

(式)

(式、答え各10点・20点)

	身長(cm)	体重(kg)
㊦	138	41.3
㊧	132	36.7
㊨	141	42.3
㊩	143	44.9
㊪	135	41.3

答え

算  
5年●5年生の実力を確認する——まとめのテスト  
力だめしテスト〈計算の見積もり〉月 日  
てん

- ① 紙1000枚の厚さをはかったら、82mmありました。(式、答え各4点・16点)

① この紙1枚の厚さは、何mmでしょう。

(式)  $82 \div 1000 = 0.082$

答え 0.082mm



- ② この紙10000枚の厚さは、何cmでしょう。

(式)  $0.082 \times 10000 = 820$   $820mm = 82cm$

答え 82cm

- ② 次の□に、あてはまる数を答えましょう。(各4点・32点)

①  $320 \times 5400 = 32 \times 54 \times \boxed{1000}$   $26880 \div 8400 = 2688 \div 84 \div \boxed{10}$

③  $6.56 \times 37000 = 656 \times 37 \times \boxed{10}$   $170100 \div 270000 = 1701 \div 27 \div \boxed{100}$

- ③ 次の積や商を、上から2けたのがい数で求めましょう。(各4点・32点)

①  $283 \times 539$  約150000 ②  $7253 \times 8392$  約61000000

$280 \times 540 = 151200$   $7300 \times 8400 = 61320000$

③  $97640 \times 3345$  約328000000 ④  $824000 \times 38000$  約20000000000

$98000 \times 3300 = 323400000$   $520000 \times 38000 = 19760000000$

⑤  $7386 \div 324$  約23 ⑥  $38754 \div 687$  約56

$7400 \div 320 = 23.1\cdots$   $39000 \div 690 = 56.5\cdots$

⑦  $374500 \div 600$  約620 ⑧  $927000 \div 4600$  約200

$370000 \div 600 = 616.\cdots$   $930000 \div 4600 = 202.\cdots$

- ④ 6年生156人が、バスで遠足に行きます。貸し切りバスの料金は、1台96000円で、4台いります。1人あたりいくら集めるとよいでしょう。上から2けたのがい数で求めましょう。(式、答え各4点・12点)

(式)  $96000 \times 4 = 384000$   $380000 \div 160 = 2375$  答え 約2400円

- ⑤ 127.3m
- <sup>2</sup>
- の広さの家を建てるのに、1m
- <sup>2</sup>
- について1530000円の費用がかかります。この家を建てるには、いくらかかるでしょう。上から2けたのがい数で求めましょう。(式、答え各4点・12点)

(式)  $150000 \times 130 = 19500000$  答え 約2000万円

- ⑥ わが国の面積は377864km
- <sup>2</sup>
- 、2000年の人口は約126070000人です。1km
- <sup>2</sup>
- についての人口を、上から3けたのがい数で求めましょう。(式、答え各4点・12点)

(式)  $126000000 \div 378000 = 333.3\cdots$  答え 約333人

## — 解 説 —

①の②は、別解答として、次のような考え方もあります。10000枚は1000枚の10倍なので、1000枚分の厚さの82mmを10倍すれば、10000枚分の厚さを求めることができます。

②は、けた数の多い数字の計算を簡単にする方法です。0がついている計算は、0をとって計算し、あとから0をもどすほうが簡単になります。

③は、「上から2けたのがい数」とあるので、左側から数えて3番目の数を四捨五入します。たとえば、②7253を上から2けたのがい数にするときは、左から3番目の位置にある、十の位を見ます。この位の数字は5なので、四捨五入すると7300となります。同じ考え方でほかの数字を上から2けたのがい数にしてから、計算しましょう。答えも、上から2けたのがい数に直しましょう。

④は、バス4台分の料金を出したあと、1人あたりの費用を求めます。1人あたりの料金は2375円になりますが、上から2けたのがい数で求めるので、左から3番目の位の数字を四捨五入して、がい数にします。

算  
5年●5年生の実力を確認する——まとめのテスト  
力だめしテスト〈平均〉月 日  
てん

- ① 右の表は、5人の身長です。130cmをこえる高さだけをなす考え方で、5人の平均を求めましょう。

名前	A	B	C	D	E
身長(cm)	132	139	134	135	133

(式、答え各5点・10点)

(式)  $(2 + 9 + 4 + 5 + 3) \div 5 = 4.6$

$130 + 4.6 = 134.6$

答え 134.6cm

- ② みのる君は、3週間で、のべ15時間45分勉強しました。1日平均何分勉強したことになるでしょう。(式、答え各5点・10点)

(式)  $15時間45分 = 945分$   $3週間 = 21日$

$945 \div 21 = 45$

答え 45分間

- ③ 毎日8時間ずつ働いて、20人の人が30日で仕上げる仕事があります。この仕事を毎日10時間ずつ40人の人が働くと、何日で仕上がるでしょう。(式、答え各5点・10点)

(式)  $(8 \times 30 \times 20) \div (10 \times 40) = 4800 \div 400 = 12$

12日

- ④ たかお君の漢字の4回のテストの平均点は、76点でした。3回の結果は、74点、78点、73点です。もう1回のテストは、何点だったでしょう。(式、答え各5点・10点)

(式)  $76 \times 4 - (74 + 78 + 73) = 304 - 225 = 79$

答え 79点

- ⑤ さち子さんの家族は、父、母、兄の4人家族です。家族全員の年齢の平均は28才ですが、さち子さんを除くと、年齢の平均は34才になります。さち子さんは、何才でしょう。(式、答え各10点・20点)

(式)  $28 \times 4 - 34 \times 3 = 112 - 102 = 10$

答え 10才

- ⑥ 今までの5回の算数のテストの平均が、78点でした。平均点を80点にするには、6回目のテストは何点とればよいでしょう。(式、答え各10点・20点)

(式)  $80 \times 6 - 78 \times 5 = 480 - 390 = 90$

答え 90点

- ⑦ 下の表は、㉑から㉔まで5人の身長と体重を調べたものです。春子さんの身長は、5人の平均より低く、体重はちょうど平均です。春子さんは、下の表の㉑から㉔のどれでしょう。(式、答え各10点・20点)

	身長(cm)	体重(kg)
㉑	138	41.3
㉒	132	36.7
㉓	141	42.3
㉔	143	44.9
㉕	135	41.3

(式)  $(138 + 132 + 141 + 143 + 135) \div 5 = 137.8$

$(41.3 + 36.7 + 42.3 + 44.9 + 41.3) \div 5 = 41.3$

体重41.3kgは、㉑と㉕

137.8cmより低いのは、㉑

答え ㉑

## — 解 説 —

①は、5人の身長から、一の位の数字をとりだして合計し、5でわります。そのあと、130にその数をたせば、平均を求めることができます。

②は、のべ時間を日数でわると、1日の勉強時間の平均を求めることができます。15時間45分を945分に直したり、3週間で21日間に直すところがポイントです。

④は、はじめに、4回分のテストの合計点を出します。そこから、3回分の合計点をひくと、残りのテストの点がわかります。

⑥は、6回分のテストの平均点を80点にしたいので、80に6をかけると、6回分のテストの合計点を求めることができます。その数から5回分のテストの合計点をひけば、6回目のテストの点数がわかります。

⑦は、はじめに、5人分の体重の平均と身長の平均を求めます。次に、体重が平均と同じで、身長が平均より低い人を見つけます。

## 力だめしテスト③〈分数のたし算・ひき算①〉

1 次の分数を約分しましょう。(各4点・16点)

①  $\frac{9}{12}$

②  $\frac{20}{25}$

③  $\frac{56}{98}$

④  $\frac{132}{143}$

2 次の分数を通分しましょう。(各4点・8点)

①  $\left(\frac{3}{8}, \frac{4}{5}\right)$

②  $\left(\frac{5}{6}, \frac{7}{10}\right)$

3 分子と分母の和が60で、約分すると $\frac{2}{3}$ になる分数を求めましょう。(式、答え各5点・10点)  
(式)

答え \_\_\_\_\_

4 ある分数の分子に1を加えると $\frac{2}{3}$ になり、分子から1をひくと $\frac{1}{2}$ になります。この分数を求めましょう。  
(考え方)

(10点)

答え \_\_\_\_\_

5 次の計算をしましょう。(各4点・32点)

①  $\frac{1}{4} + \frac{7}{16}$

②  $\frac{2}{3} + \frac{1}{4}$

③  $\frac{5}{8} + \frac{5}{6}$

④  $\frac{9}{10} + \frac{4}{15}$

⑤  $\frac{4}{5} - \frac{3}{7}$

⑥  $\frac{11}{12} - \frac{7}{18}$

⑦  $\frac{7}{10} - \frac{4}{15}$

⑧  $\frac{7}{8} - \frac{5}{12}$

6  $\frac{1}{3}$  kgのかごに、 $\frac{5}{8}$  kgのりんごをのせます。全体では、何kgになるでしょう。(式、答え各6点・12点)  
(式)

答え \_\_\_\_\_

7 ジュースが $\frac{3}{4}$  Lあります。このジュースを $\frac{3}{7}$  L飲むと、何L残るでしょう。(式、答え各6点・12点)  
(式)

答え \_\_\_\_\_

## 力だめしテスト〈分数のたし算・ひき算 ②〉

1 次の計算をしましょう。(各6点・60点)

①  $\frac{1}{3} + \frac{2}{5}$

②  $\frac{9}{10} + \frac{3}{5}$

③  $\frac{5}{6} - \frac{3}{8}$

④  $\frac{3}{4} - \frac{2}{7}$

⑤  $\frac{3}{4} - \frac{1}{3} + \frac{1}{6}$

⑥  $\frac{1}{6} + \frac{1}{2} - \frac{2}{3}$

⑦  $\frac{1}{2} + \frac{3}{4} - \frac{5}{6}$

⑧  $\frac{5}{6} - \frac{1}{4} - \frac{1}{3}$

⑨  $1 - \frac{1}{2} + \frac{1}{4} - \frac{1}{8}$

⑩  $\frac{4}{5} - \frac{2}{3} + \frac{3}{4} - \frac{1}{2}$

2  $\frac{4}{5}$ 、 $\frac{7}{9}$ 、 $\frac{9}{11}$ 、 $\frac{13}{15}$ のうちで、最も大きい数と最も小さい数との差を、最も簡単な分数で答えましょう。

(式)

(式、答え各5点・10点)

答え

3 ある分数に $\frac{3}{7}$ をたすのを、まちがえて $\frac{3}{7}$ をひいたので、 $\frac{1}{3}$ になりました。正しい答えを求めましょう。

(式)

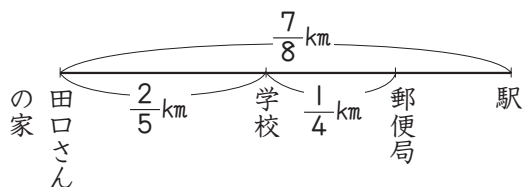
(式、答え各5点・10点)

答え

4 田口さんの家から駅まで行くとちゅうに、学校と郵便局があって、その道のりは下の図のとおりです。郵便局から駅までの道のりは、何kmありますか。

(式)

(式、答え各5点・10点)



答え

5 次の□に、あてはまる数を書きましょう。(10点)

(考え方)

$$\frac{10}{5 + \square} = \frac{1}{2} + \frac{1}{3}$$



算

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

月 日

5年

力だめしテスト③ &lt;分数のたし算・ひき算①&gt;

こ

① 次の分数を約分しましょう。(各4点・16点)

①  $\frac{9}{12} = \frac{3}{4}$

②  $\frac{20}{25} = \frac{4}{5}$

③  $\frac{56}{98} = \frac{4}{7}$

④  $\frac{132}{143} = \frac{12}{13}$

② 次の分数を通分しましょう。(各4点・8点)

①  $\left(\frac{3}{8}, \frac{4}{5}\right) = \left(\frac{15}{40}, \frac{32}{40}\right)$

②  $\left(\frac{5}{6}, \frac{7}{10}\right) = \left(\frac{25}{30}, \frac{21}{30}\right)$

③ 分子と分母の和が60で、約分すると $\frac{2}{3}$ になる分数を求めましょう。(式、答え各5点・10点)

(式)  $60 \div (2+3) = 12$

$2 \times 12 = 24, 3 \times 12 = 36$

答え  $\frac{24}{36}$ ④ ある分数の分子に1を加えると $\frac{2}{3}$ になり、分子から1をひくと $\frac{1}{2}$ になります。この分数を求めましょう。(10点)

(考え方)  $\frac{2}{3} = \frac{4}{6} = \frac{6}{9} = \frac{8}{12}$

$\frac{1}{2} = \frac{3}{6} = \frac{4}{8} = \frac{5}{10} = \frac{6}{12} = \frac{7}{14}$

答え  $\frac{7}{12}$ 

⑤ 次の計算をしましょう。(各4点・32点)

①  $\frac{1}{4} + \frac{7}{16} = \frac{4}{16} + \frac{7}{16} = \frac{11}{16}$

②  $\frac{2}{3} + \frac{1}{4} = \frac{8}{12} + \frac{3}{12} = \frac{11}{12}$

③  $\frac{5}{8} + \frac{5}{6} = \frac{15}{24} + \frac{20}{24} = \frac{35}{24} = 1\frac{11}{24}$

④  $\frac{9}{10} + \frac{4}{15} = \frac{27}{30} + \frac{8}{30} = \frac{35}{30} = \frac{7}{6} = 1\frac{1}{6}$

⑤  $\frac{4}{5} - \frac{3}{7} = \frac{28}{35} - \frac{15}{35} = \frac{13}{35}$

⑥  $\frac{11}{12} - \frac{7}{18} = \frac{33}{36} - \frac{14}{36} = \frac{19}{36}$

⑦  $\frac{7}{10} - \frac{4}{15} = \frac{21}{30} - \frac{8}{30} = \frac{13}{30}$

⑧  $\frac{7}{8} - \frac{5}{12} = \frac{21}{24} - \frac{10}{24} = \frac{11}{24}$

⑥  $\frac{1}{3}$  kgのかごに、 $\frac{5}{8}$  kgのりんごをのせます。全体では、何kgになるでしょう。(式、答え各5点・10点)

(式)  $\frac{1}{3} + \frac{5}{8} = \frac{8}{24} + \frac{15}{24} = \frac{23}{24}$

答え  $\frac{23}{24}$  kg⑦ ジュースが $\frac{3}{4}$  Lあります。このジュースを $\frac{3}{7}$  L飲むと、何L残るでしょう。(式、答え各6点・12点)

(式)  $\frac{3}{4} - \frac{3}{7} = \frac{21}{28} - \frac{12}{28} = \frac{9}{28}$

答え  $\frac{9}{28}$  L

## — 解説 —

①は、約分です。分数の分子と分母を同じ数でわって、分母の小さい分数にすることを「約分する」といいます。分数を約分するためには、分母と分子を公約数でわります。

②は、通分です。分母のちがう分数を、分母が同じ分数に直すことを「通分する」といいます。分数を通分するためには、分母の公倍数を見つけ、その数を分母とする分数に直します。

⑤は、分数のたし算とひき算です。分母のちがう分数のたし算とひき算は、通分してから計算します。③は、分母が24の分数に直します。⑥は、分母が36の分数に直します。

⑥は、全体の重さを求めるので、たし算の式になります。分母のちがう分数が問題文に出てきても、考え方は、今までに習った文章題と同じです。

⑦は、残りを求めるので、ひき算の式になります。分母が28の分数に直して、計算します。

算

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

月 日

5年

力だめしテスト④ &lt;分数のたし算・ひき算②&gt;

こ

① 次の計算をしましょう。(各6点・60点)

①  $\frac{1}{3} + \frac{2}{5} = \frac{5}{15} + \frac{6}{15} = \frac{11}{15}$

②  $\frac{9}{10} + \frac{3}{5} = \frac{9}{10} + \frac{6}{10} = \frac{15}{10} = \frac{3}{2} = 1\frac{1}{2}$

③  $\frac{5}{6} - \frac{3}{8} = \frac{20}{24} - \frac{9}{24} = \frac{11}{24}$

④  $\frac{3}{4} - \frac{2}{7} = \frac{21}{28} - \frac{8}{28} = \frac{13}{28}$

⑤  $\frac{3}{4} - \frac{1}{3} + \frac{1}{6} = \frac{9}{12} - \frac{4}{12} + \frac{2}{12} = \frac{7}{12}$

⑥  $\frac{1}{6} + \frac{1}{2} - \frac{2}{3} = \frac{1}{6} + \frac{3}{6} - \frac{4}{6} = 0$

⑦  $\frac{1}{2} + \frac{3}{4} - \frac{5}{6} = \frac{6}{12} + \frac{9}{12} - \frac{10}{12} = \frac{5}{12}$

⑧  $\frac{5}{6} - \frac{1}{4} - \frac{1}{3} = \frac{10}{12} - \frac{3}{12} - \frac{4}{12} = \frac{3}{12} = \frac{1}{4}$

⑨  $1 - \frac{1}{2} + \frac{1}{4} - \frac{1}{8} = \frac{8}{8} - \frac{4}{8} + \frac{2}{8} - \frac{1}{8} = \frac{5}{8}$

⑩  $\frac{4}{5} - \frac{2}{3} + \frac{3}{4} - \frac{1}{2} = \frac{48}{60} - \frac{40}{60} + \frac{45}{60} - \frac{30}{60} = \frac{23}{60}$

②  $\frac{4}{5}, \frac{7}{9}, \frac{9}{11}, \frac{13}{15}$ のうちで、最も大きい数と最も小さい数との差を、最も簡単な分数で答えましょう。(式、答え各5点・10点)

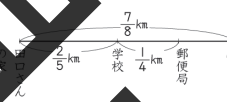
(式)  $\frac{4}{5} = 0.8, \frac{7}{9} = 0.77..., \frac{9}{11} = 0.81..., \frac{13}{15} = 0.86...$

答え  $\frac{4}{45}$ ③ ある分数に $\frac{3}{7}$ をたすのを、まちがえて $\frac{3}{7}$ をひいたので、 $\frac{1}{3}$ になりました。正しい答えを求めましょう。(式、答え各5点・10点)

(式)  $\frac{1}{3} + \frac{3}{7} + \frac{3}{7} = \frac{7}{21} + \frac{9}{21} + \frac{9}{21} = \frac{25}{21} = 1\frac{4}{21}$

答え  $1\frac{4}{21}$ 

④ 田中さんの家から駅まで行くとちゅうに、学校と郵便局があって、その道のりは下の図のとおりです。郵便局から駅までの道のりは、何kmありますか。(式、答え各5点・10点)



$\frac{7}{8} - \frac{2}{5} - \frac{1}{4} = \frac{35}{40} - \frac{16}{40} - \frac{10}{40} = \frac{9}{40}$

答え  $\frac{9}{40}$  km

⑤ 次の□に、あてはまる数を書きましょう。(10点)

(考え方)  $\frac{10}{\square} = \frac{1}{2} + \frac{1}{3}$

$\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{3}{6} + \frac{2}{6} = \frac{5}{6} = \frac{10}{12} = \frac{10}{\square}$

## — 解説 —

①は、通分してから、計算しましょう。⑤～⑩は、3つ以上の分数の計算ですが、通分のやり方は、①～④と同じです。3つの数の公倍数を見つけるときは、いちばん大きい数の倍数から考えていくと、簡単にできます。

⑨は、8を分母とする分数に通分できます。式の左にある1を $\frac{8}{8}$ と置きかえると、計算できます。

②は、はじめに、4つの分数の大きさくらべをします。分数を小数に直すほうが、大きさをくらべやすくなります。いちばん大きい数といちばん小さい数がわかったら、次はその2つの分数を通分して、ひき算をします。

③はある数を求め、それに $\frac{3}{7}$ をたすと、正しい答えが求められることをおさえましょう。

④は、 $\frac{7}{8}$  kmから、 $\frac{2}{5}$  kmと、 $\frac{1}{4}$  kmをひきます。ここに出てくる3つの分数は、40を分母とする分数に通分できます。

⑤は、はじめに、 $\frac{1}{2}$ と $\frac{1}{3}$ をたします。次に、その答えを、分子が10になる分数に直します。分子が10の分数の分母から5をひくと、□に合う数がわかります。



## 力だめしテスト〈速さ・道のり・時間①〉

Ⅰ ①～⑤の文の□に、あてはまる数や言葉を書きましょう。(□1つ2点、全問正解で+2点・60点)

① 「速さ」を求める式は、速さ＝□÷□です。例えば、3時間で180kmを走り切った車があるとして、この場合、車の時速を求める式は、□(km)÷3(時間)＝□(km/時)となり、答えは時速□kmとなります。

② 「道のり」を求める式は、道のり＝□×□です。例えば、時速50kmで3時間走り続けた車があるとして、時速50kmとは、1時間に50km進むということなので、進む道のりを求める式は□(km/時)×3(時間)＝□(km)となり、答えは□kmとなります。

③ ある道のりをある一定の速さで進み切るとき、かかる「時間」を求める式は、時間＝□÷□です。例えば150kmの道のりを時速50kmの車で走り続けた時、走り切るのにかかる時間を求める式は、□(km)÷50(km/時)＝□(時間)となり、答えは3時間となります。

④ 「速さ」の表し方には、1時間に進む道のり(kmやmなど)を表す□、1分間に進む道のり(kmやmなど)を表す□、1秒間に進む道のり(kmやmなど)を表す□の3つがあります。

⑤ ある人が1時間かけて3.6kmの道のりを歩いたとき、この人の歩く速さは□3.6kmです。3.6kmは□mなので、1時間あたりの速さを□□mと表すこともできます。時速を60でわると、1時間＝60分なので、□を求めることができます。この人の歩く速さは□m/時なので、□にすると□m/分と表すことができます。時速を3600でわると、1時間＝60分＝3600秒なので、□を求めることができます。この人の歩く速さは□m/時なので、□にすると□m/秒と表すことができます。

Ⅱ 次の表の□にあてはまる、計算記号と数を答えましょう。(1問4点・40点)

変える単位	計算方法	変える単位	計算方法
時速→分速	時速○÷60	km→m	○km×1000
分速→秒速	分速○□	m→cm	○m□
時速→秒速	時速○□	km→cm	○km□
秒速→分速	秒速○□	m→km	○m□
分速→時速	分速○□	cm→m	○cm□
秒速→時速	秒速○□	cm→km	○cm□

## 力だめしテスト〈速さ・道のり・時間②〉

Ⅰ ①～③の問題に答えましょう。(式、答え各5点・30点)

- ① 100kmの道のりを2時間で走り切った自動車の、時速は何kmでしょう。

(式)

答え

- ② 時速65kmで走り続ける自動車が3時間で進む道のりは何kmでしょう。

(式)

答え

- ③ 分速80mで歩く人が3.2kmを歩き切るのに、何分かかるでしょう。

(式)

答え

Ⅱ 時間や長さの単位に注意して、①～③の問題に答えましょう。

- ① 時速52kmで走り続ける自動車と、分速0.8kmで走り続けるトラックとでは、どちらが速いでしょう。

(式、答え各10点・20点)

(式)

答え

- ② 135kmの道のりを1時間半で走るA特急と、分速1300mで走るB特急があります。時速はどちらが何km/時速いでしょう。

(式、答え各10点・20点)

(式 1) (A特急の時速)

(式 2) (B特急の時速)

(式 3) (速さの差)

答え

- ③ 120kmの道のりを、走り始めからと中まで時速55kmで走り続けましたが、と中から目的地まで道がこんでいて、時速20kmで30分間走りました。目的地に着くまで何時間何分かかったでしょう。

(式)

(式、答え各15点・30点)

答え

算  
5 年

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

力だめしテスト〈速さ・道のり・時間①〉

月 日  
年

① ①～⑤の文の□に、あてはまる数や言葉を書きましょう。(□1つ2点、全問正解で+2点・60点)

① 「速さ」を求める式は、速さ＝ $\frac{\text{道のり}}{\text{時間}}$ です。例えば、3時間で180kmを走り切った車があるとします。この場合、車の時速を求める式は、 $\frac{180(\text{km})}{3(\text{時間})} = 60(\text{km}/\text{時})$ となり、答えは時速60kmとなります。

② 「道のり」を求める式は、道のり＝ $\text{速さ} \times \text{時間}$ です。例えば、時速50kmで3時間走り続けるとします。時速50kmとは、1時間に50km進むということなので、進む道のりを求める式は、 $50(\text{km}/\text{時}) \times 3(\text{時間}) = 150(\text{km})$ となり、答えは150kmとなります。

③ ある道のりをある一定の速さで進む切るとき、かかる「時間」を求める式は、時間＝ $\frac{\text{道のり}}{\text{速さ}}$ です。例えば150kmの道のりを時速50kmの車で走り続けた時、走り切るのにかかる時間を求める式は、 $\frac{150(\text{km})}{50(\text{km}/\text{時})} = 3(\text{時間})$ となり、答えは3時間となります。

④ 「速さ」の表し方には、1時間に進む道のり(kmやmなど)を表す「時速」、1分間に進む道のり(kmやmなど)を表す「分速」、1秒間に進む道のり(kmやmなど)を表す「秒速」の3つがあります。

⑤ ある人が1時間かけて3.6kmの道のりを歩いたとき、この人の歩く速さは「時速3.6km」です。3.6kmは3600mなので、1時間あたりの速さを「時速3600m」を表すこともできます。時速を60で割ると、1時間＝60分なので、「分速」を求めることができます。この人の歩く速さは3600m/時なので、「分速」にすると60m/分と表すことができます。時速を3600で割ると、1時間＝60分＝3600秒なので、「秒速」を求めることができます。この人の歩く速さは3600m/時なので、「秒速」にすると1m/秒と表すことができます。

② 次の表の□にあてはまる、計算記号と数を答えましょう。(1問4点・40点)

変える単位	計算方法	変える単位	計算方法
時速→分速	時速○ $\div 60$	km→m	○km $\times 1000$
分速→秒速	分速○ $\div 60$	m→cm	○m $\times 100$
時速→秒速	時速○ $\div 3600$	km→cm	○km $\times 100000$
秒速→分速	秒速○ $\times 60$	m→km	○m $\div 1000$
分速→時速	分速○ $\times 60$	cm→m	○cm $\div 100$
秒速→時速	秒速○ $\times 3600$	cm→km	○cm $\div 100000$

## — 解 説 —

①の①～⑤の文章は「速さ・道のり・時間」を求める公式についてまとめたものです。文章ごと暗記してしましましょう。また「速さ＝道のり÷時間」の関係だけ覚えていても、そこから道のり＝速さ×時間、時間＝道のり÷速さ、と式を展開することもできます。もうひとつ大切な用語は「時速・分速・秒速」と「長さの単位」です。さらに「時速○kmは、分速何mになるか」といった問題にも、きまりにそってすらすら答えられるように練習しておきましょう。

②は速さの単位の変え方や、長さの単位の変え方を表にまとめたものです。この表の内容も、しっかりマスターしておきましょう。

算  
5 年

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

力だめしテスト〈速さ・道のり・時間②〉

月 日  
年

① ①～③の問題に答えましょう。(式、答え各5点・30点)

① 100kmの道のりを2時間で走り切った自動車の、時速は何kmでしょう。  
(式)  $100(\text{km}) \div 2(\text{時間}) = 50(\text{km}/\text{時})$  答え 50km/時(時速50km)

② 時速65kmで走り続ける自動車が3時間で進む道のりは何kmでしょう。  
(式)  $65(\text{km}/\text{時}) \times 3(\text{時間}) = 195(\text{km})$  答え 195km

③ 分速80mで歩く人が3.2kmを歩き切るのに、何分かかりますでしょう。  
(式)  $3.2(\text{km}) \times 1000 \div 80(\text{m}/\text{分}) = 40(\text{分})$  答え 40分

② 時間や長さの単位に注意して、①～③の問題に答えましょう。

① 時速52kmで走り続ける自動車と、分速0.8kmで走り続けるトラックとでは、どちらが速いでしょう。  
(式、答え各10点・20点)

(式) (時速にそろえてくらべた場合)  
トラックの時速＝ $0.8(\text{km}/\text{分}) \times 60(\text{倍}) = 48(\text{km}/\text{時})$   
52km/時 > 48km/時なので、自動車が速い。  
答え 自動車

② 135kmの道のりを1時間半で走るA特急と、分速1300mで走るB特急があります。時速はどちらが何km/時速いでしょう。  
(式1) (A特急の時速) (式2) (B特急の時速) (式3) (速さの差)

$135(\text{km}) \div 1.5(\text{時間}) = 90(\text{km}/\text{時})$   $1300(\text{m}) \times 60(\text{分}) \div 1000 = 78(\text{km}/\text{時})$   
 $90(\text{km}/\text{時}) > 78(\text{km}/\text{時})$ なので、  
 $90(\text{km}/\text{時}) - 78(\text{km}/\text{時}) = 12(\text{km}/\text{時})$   
答え A特急が、12km/時速い

③ 120kmの道のりを、走り始めからと中まで時速55kmで走り続けましたが、と中から目的地まで道がこんでいて、時速20kmで30分間走りました。目的地に着くまで何時間何分かかったでしょう。  
(式、答え各15点・30点)

$20(\text{km}/\text{時}) \times 0.5(\text{時間}) = 10(\text{km})$   $120(\text{km}) - 10(\text{km}) = 110(\text{km})$   
 $110(\text{km}) \div 55(\text{km}/\text{時}) = 2(\text{時間})$  2時間+30分＝2時間30分  
答え 2時間30分

## — 解 説 —

①の①～③の文章題は、「速さ・道のり・時間」の基本問題です。それぞれを求める公式にあてはめて考えましょう。③では「mとkm」の2つの単位が出てきます。こうした場合は単位をそろえて式をたてることが大切です。3.2kmを3200mに直して計算するほうが簡単です。

②の①②は、ちがう2つの乗り物の速さを比べる問題です。それぞれの速さを求めて比べたり、ひき算することで答えが求められます。③では、と中から「時速20kmで30分間走った」ことに注目し、その道のりを求めます。全体の道のりからその道のりをひけば、時速55kmで走った道のりがわかりますね。

## 力だめしテスト〈単位量あたり・速さ〉

- 1 右の表は、<sup>エイ</sup>A町と<sup>ビー</sup>B町の面積と人口みつ度（ $1\text{km}^2$ あたり何人の人が住んでいるかを表す数）を示したものです。

	面積( $\text{km}^2$ )	人口みつ度
A町	72	64
B町	53	117

- ① A町の人口を求めましょう。(式、答え各5点・10点)  
(式)

答え

- ② A町とB町は合せて、新しい町になります。新しい町の人口みつ度を求めましょう。小数第1位を四捨五入して求めましょう。  
(式)

(式、答え各5点・10点)

答え

- 2 自動車が1時間36分で $76.8\text{km}$ 進みました。このときの自動車の速さは、時速何 $\text{km}$ でしょう。  
(式)

(式、答え各10点・20点)

答え

- 3 <sup>かたみち</sup>片道 $9\text{km}$ の道を、行きは時速 $3\text{km}$ 、帰りは時速 $4.5\text{km}$ で歩くと、往復の平均時速は、何 $\text{km}$ でしょう。  
(式)

(式、答え各10点・20点)



答え

- 4 時速 $54\text{km}$ の自動車で4分間走ると、走ったきよりは、何 $\text{m}$ でしょう。(式、答え各5点・10点)  
(式)

答え

- 5 時速 $4.6\text{km}$ で歩く人は、18分で何 $\text{m}$ 歩くでしょう。(式、答え各5点・10点)  
(式)

答え

- 6 分速 $70\text{m}$ で歩く人が、 $12.6\text{km}$ 歩くには、何時間かかるでしょう。(式、答え各5点・10点)  
(式)

答え

- 7  $2.1\text{km}$ の道のりを、秒速 $14\text{m}$ の自動車に進むと、何分何秒かかるでしょう。(式、答え各5点・10点)  
(式)

答え

算  
5 年

●5年生の実力を確認する——まとめのテスト

力だめしテスト〈単位量あたり・速さ〉

月 日

てん

- 1 右の表は、A町とB町の面積と人口みつ度（1km<sup>2</sup>あたり何人の人が住んでいるかを表す数）を示したものです。

	面積(km <sup>2</sup> )	人口みつ度
A町	72	64
B町	53	117

- ① A町の人口を求めましょう。(式、答え各5点・10点)

(式)

$$64 \times 72 = 4608$$

答え 4608人

- ② A町とB町は合べいて、新しい町に なります。新しい町の人口みつ度を求めましょう。小数第1位を四捨五入して求めましょう。(式、答え各5点・10点)

(式)

$$B町の人口 117 \times 53 = 6201$$

$$人口みつ度 (4608 + 6201) \div (72 + 53) = 86.4 \cdots \text{約} 86 \text{人}$$

答え 約86人

- ③ 自動車が1時間36分で76.8km進みました。このときの自動車の速さは、時速何kmでしょう。(式、答え各10点・20点)

(式)

$$1 \text{時間} 36 \text{分} = 1 \frac{36}{60} \text{時間} = 1.6 \text{時間}$$

$$76.8 \div 1.6 = 48$$

答え 48km

- ④ 片道9kmの道を、行きは時速4.5kmで歩くと、往復の平均時速は、何kmでしょう。(式、答え各10点・20点)

(式)

$$行きの時間 9 \div 4.5 = 2 \quad 帰りの時間 9 \div 4.5 = 2$$

$$平均時速 (9 \times 2) \div (2 + 2) = 18 \div 4 = 4.5$$

答え 4.5km



- ⑤ 時速54kmの自動車で4分間走ると、走ったきよりは、何mでしょう。(式、答え各10点・20点)

(式)

$$54 \times 1000 \div 60 \times 4 = 3600$$

答え 3600m

- ⑥ 時速4.6kmで歩く人は、18分で何m歩くでしょう。(式、答え各5点・10点)

(式)

$$18 \text{分} = 0.3 \text{時間}$$

$$4.6 \times 1000 \times 0.3 = 1380$$

答え 1380m

- ⑦ 分速70mで歩く人が、12.6km歩くには、何時間かかるでしょう。(式、答え各5点・10点)

(式)

$$12.6 \times 1000 \div 70 \div 60 = 3$$

答え 3時間

- ⑧ 2.1kmの道のりを、秒速14mの自動車で進むと、何分何秒かかるでしょう。(式、答え各5点・10点)

(式)

$$2.1 \times 1000 \div 14 = 150$$

$$150 \text{秒} = 2 \text{分} 30 \text{秒}$$

答え 2分30秒

## — 解 説 —

①の①は、人口みつ度に面積をかければ、人口を求めることができます。

②は、時速を求めるときは、距離を時間でわります。1時間36分が1.6時間になるところが、ポイントです。

④は、時速54kmの自動車が4分間走った距離を求めるので、時速を分速に直して4倍するやり方と、4分を $\frac{4}{60}$ 時間（ $\frac{1}{15}$ 時間）に直して距離を求めるやり方があります。

⑤は、時速4.6kmを分速に直して18倍するやり方と、18分を時間におきかえて距離を求めるやり方があります。4.6kmを4600mに直しておくと、計算が簡単になります。

⑦は、分速をもとにして何分かかるかを求めてから、時間に直しています。また、分速70mを時速に直すと、時速4.2kmです。12.6kmを4.2でわって、答えを出すやり方もあります。